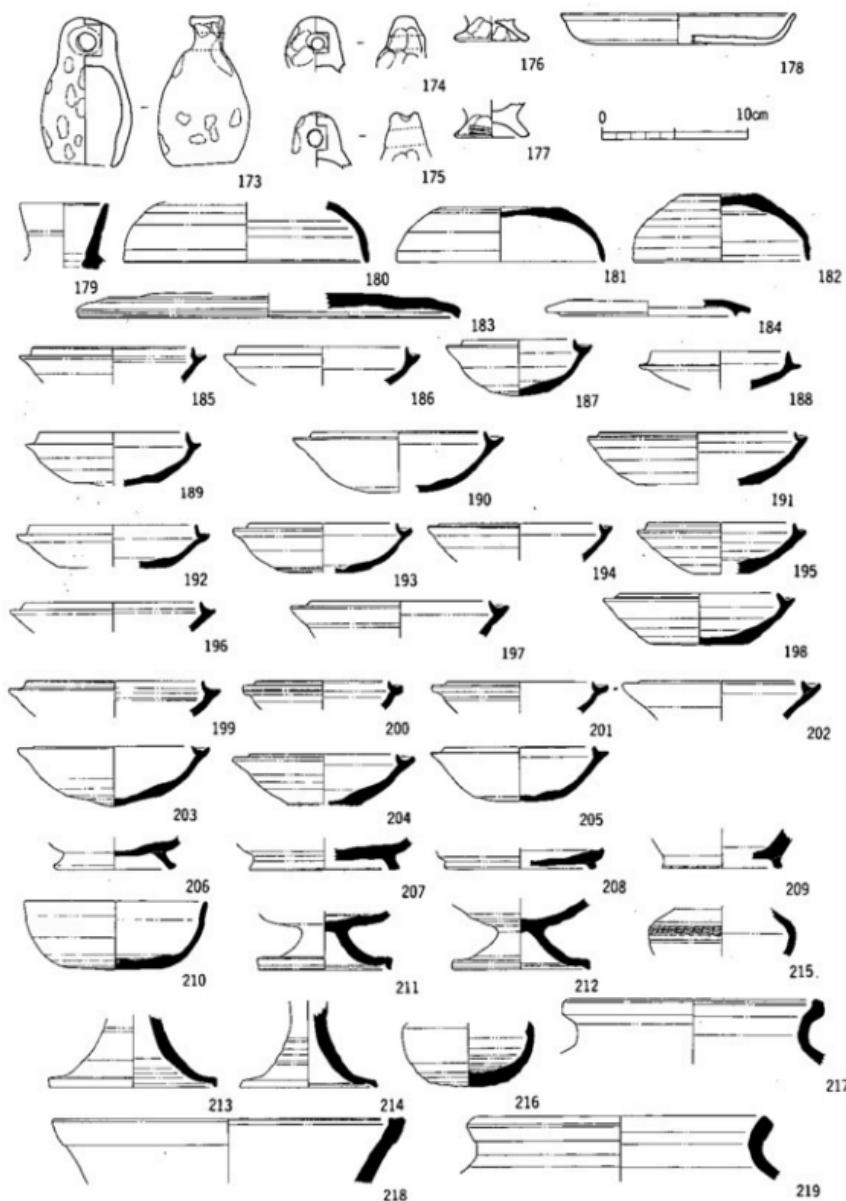


第252図 第4層出土遺物実測図(8)



第253図 第4層出土遺物実測図(9)

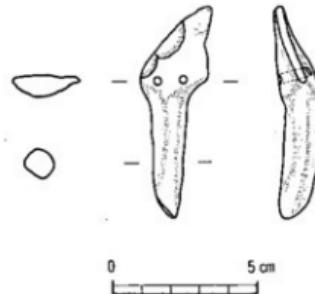
176, 177は製塩土器の脚台部である。

(2) 土製品 (第252図169~172, 第253図173~175, 第254図)

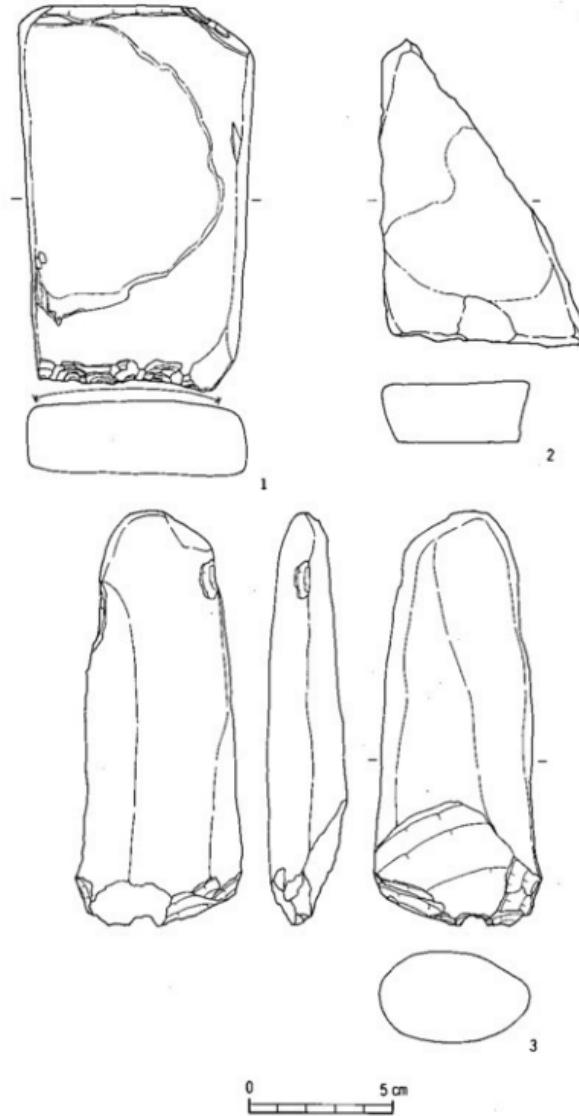
169~172は支脚形土製品と考えられるが、形態は統て異なる。170, 172は上面が傾斜することから複数を用いることによって容器を固定したことは容易に推測できる。しかしながら171は両端が共に水平な円筒形であるために単品で用いられたものであろう。169については上部欠損のために使用形態を復元することは難しいがやや傾きを有する点から170, 172に類する形態が考えられる。

飯蛸壺形土製品3点を図化した。いずれも釣手部に一孔を穿ったいわゆる「釣鐘形」の形態であるが、175の釣手部上端部は凹面化しており、溝状を呈している。釣鐘形の飯蛸壺形土製品の使用形態については、上端部の穿孔に紐掛けをおこなったことが穿孔周辺の摩耗から明らかである。したがってこの溝状部分がロープワークに用いられたことも想像に難くない。なおこの形態の差異を時期差とすることは現状では不可能である。^(註1)

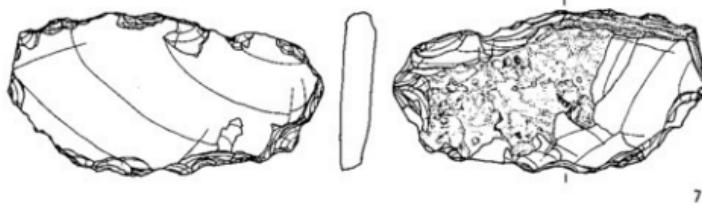
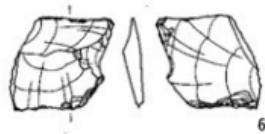
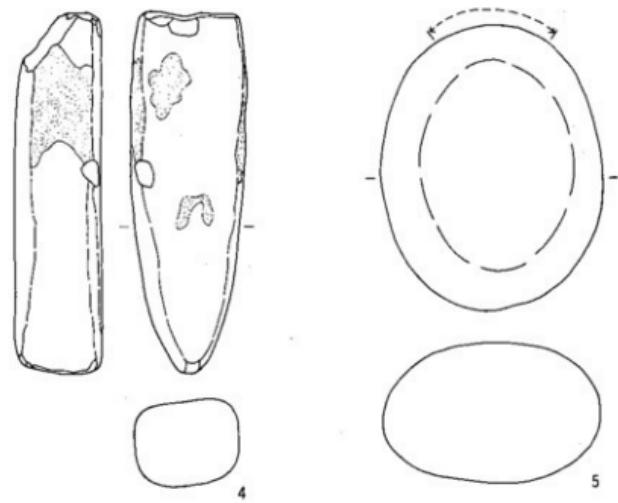
第254図は最大径1.2cmの先端部が細い棒状部分と幅2.4cm以上の扁平な部分から成る土製品である。両部分の接点に径0.2cmの孔が2個並行して穿たれている。



第254図 第4層出土不明遺物実測図



第255図 第4層出土石器実測図(1)



0 5 cm

第256図 第4層出土石器実測図(2)

(3) 石器 (第255, 256図)

砥石(1)は全面を加工して方形の板状の形態に成形する。作業面は広い2面と考えられ、長軸方向の使用痕がみられる。

砥石(2)は側面2面に未成形の自然面を残す。広い2面に長軸方向の使用痕がみられる。

磨製石斧が2点出土している。

3の原形は蛤刃の形態と考えられるが、刃部の大部分を欠損している。しかしながら破損後も剝離調整を施すことにより新たに製品として使用したことが判る。この二次的な刃部の摩耗は著しい。基部の側縁部に微小ではあるが、凹面化した部位が認められる。これは石斧柄の装着により生じた紐擦れの痕跡と考えられる。

4の柱状石斧は中央構造線の断層崖において産出される結晶片岩を原材料としている。全面に長軸方向の使用痕が認められるが、特に刃部の摩耗が著しく、その銳利さを留めていない。さらに基部に敲打の痕跡が明瞭な点からくさびとしての使途も考えられよう。基部側縁部に装着時の紐擦れの痕跡が残る。

5は砂岩の円礫を成形した磨石である。製作あるいは使用による造岩鉱物の噴出が全面に認められる。側縁部の一端部に敲打痕が残るが、これは磨る使途とともに潰す使途が存在したことを見付けるものである。例えは堅果類の調理などに用いられたものと考えられる。

削器と考えられる資料が1点(6)出土している。両側面から剝離調整を施すことにより刃部を形成する。破損以前においては長方形の形態の器形が想定されることから小型の石包丁の可能性を有する遺物である。

7は外湾刃タイプの磨製石包丁を模した打製石包丁である。片面に荒い自然面を残す。抉りはない。

(4) 鉄製品 (第243図2~10)

2は鎌身部にくびれを有する銅鎌を模した形態の鐵鎌である。鎌身部は厚さ7mmを測り、先端部が丸く成形されているために銳利さを欠く。この点から殺傷力は決して高くないことが判る。基部には矢柄の木質部が遺存する。

3は使途不明の遺物である。径0.9cm、長さ3.7cmの棒状部分の両端部が扁平に肥厚する形態であり、特に一端が円形に成形される。肉眼観察のみでは両端部に特殊な造作が存在するか否かを判断することは不可能である。

4、5はヤリガンナである。4は刃部が二等辺三角形を呈する形態であり、中心軸に直交する方向に弱い湾曲を有する。茎部は長方形の断面形態である。5は刃部の湾曲および反を有しない形態である。

6は先端部が尖る棒状の遺物であるが、製品の使途については全く判らない。あるいは残存部分が茎部または基部であり、先端部を欠くものであろうか。

7, 9についても使途不明である。7は断面形態が長方形の板状の遺物であり、9は端部が屈曲する形態である。

8, 10は鉄鎌の茎部と考えられる。8は鎌身部の一部が遺存しており、先端部の広がる形態であることが判る。

(5) 銅製品 (第257図)

銅鏡 2面が出土している。

1は外区と極一部の内区が遺存する。外区は平縁の形態であり、幅3.2cm、最大の厚さ0.6cmを測る。断面形態は台形状を呈するが、内区との境部分の傾斜が縁辺部に比して緩い。外区に施された文様は2条の鋸歯文帯間に2条の平行波文帯を有する複波鋸歯文様である。内区は厚さ0.15cmを測り、鏡の中心から放射状に櫛歯文様が施される。なお、復元される直径は約18.6cmである。また、外区の切断部分が両面共に精緻である点から人為的に打欠かれたことも考えられよう。

ところで、当資料については内区の文様帯が全く遺存しないために鏡の形式を明確にすることができないが、平縁の外区に複波鋸歯文が施文される例としては後漢以降の方格規矩鏡に多くを認めることができる。^(註2)

2の遺存状態は極めて悪く、外帯と中帯の一部を残すのみである。外帯は明らかに平行しない複数の弧文が施され、いわゆる重弧文を形成する。中帯は放射状に間隔の広い櫛歯文が施され、その内部に無文帯が構成されている。

これらの特徴から中帯の無文帯を花文の一部と認定することにより内行花文鏡に類する資料と考えられる。

復元径は16cmを超える。

(6) 土師器 (第253図178)

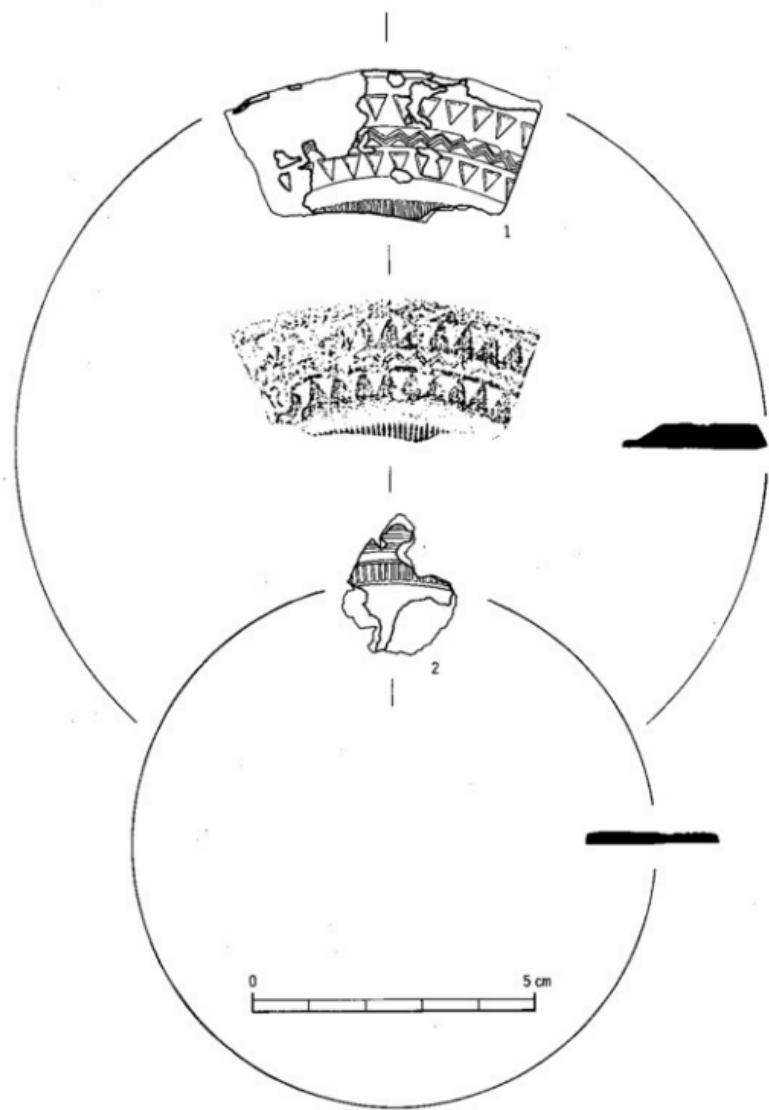
178は赤色に発色する土師器の杯である。口縁端部は内面に沈線を施すことによりやや玉縁状に仕上げる。造作は特に内面において丁寧であり、ヘラミガキ調整後ナデ調整を施す。奈良県平城京跡S K870およびS K2113出土の資料に酷似する器形がみられることから8世紀後半頃の遺物と考えられる。^(註3)

(7) 須恵器 (第253図179~219)

179は提瓶あるいは平瓶の口頸部と考えられる資料である。

蓋杯

180~182はII型式第4~6段階の遺物に類する形態の杯蓋であるが、180については頂部を回転ヘラケズリ調整によって仕上げるが、他は未調整またはナデ調整を施すのみである。この点に製作手段の簡略化がみられる。183は器高は低いが、復元径が26cmを超える大型の器形であり、端部をやや外反気味に屈曲する形態である。8世紀中頃の時期に比定できよう。^(註4) 185は特に器高が低い。端部内面に小型のかえしを有するが、既にかえしの機能は消失化の傾向にあると考えられる。



第257図 第4層出土銅鏡実測図

III型式第3段階の遺物に類するであろう。

杯身は径10cm前後の小型品が多い。185, 186, 188, 192についてはほぼ直立するかえしを有するが、その他は短く内傾した形態であることから2種類に大別することが可能であると考えている。しかしながらこの形態差を時期差といえるには情報不足の感が強く、性急すぎるであろう。そこで、ここでは共に180~182の蓋杯同様II型式第4~6段階頃の遺物として柔軟な時期幅を与えておきたい。

206~208は高台を有する杯身であるが、杯部については大部分を失っている。206の高台は器壁が薄く、外方へ広く開く形態である。207はやや外方へ開く高台を有する。その器壁は厚く成形されており、安定感のある造作である。208の高台は断面形態が方形を呈し、やや外方へ開く。ただし、高さは低く、小型である。

高杯

214がやや長脚であるのに対して他は短脚の形態である。211にみる様に脚端部を下方に折り返すことにより突出した形態とすることからII型式第6段階の資料と考えたい。

翫

215, 216は翫の脚部の一部と考えられる。

壺

217~219は大型の壺の口縁部である。

(註)

- 1 大山真充他『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報(Ⅱ)下川津遺跡Ⅱ』、1987年。によると同遺跡において検出された飯蛸壺焼成土塙より出土した8世紀前半の飯蛸壺形土製品は全て釣手部に溝を有することが判る。したがって173, 174の形態は8世紀前半までには使用されなくなることも考えられる。
- 2 樋口隆康『古鏡』、1979年。なお、本資料については樋口隆康氏(前京都大学)の御教示が得られたので、お礼申しあげたい。
- 3 奈良国立文化財研究所考古第2調査室『平城宮内出土土器標準資料』(プリント)、1974年。
- 4 平城京跡SK2101出土遺物(750年頃)に類似する資料をみることができる。奈良国立文化財研究所考古第2調査室、1947年。

3. 第4層包藏の自然砾群伴出遺物（第258図）

11-G区の第4層中において検出された円砾群中より一括出土した弥生土器群について報告する。

壺形土器

1は二重口縁の形態であり、口縁部はやや肥厚気味に立ち上がる。3は大型の器形が考えられよう。

壺形土器

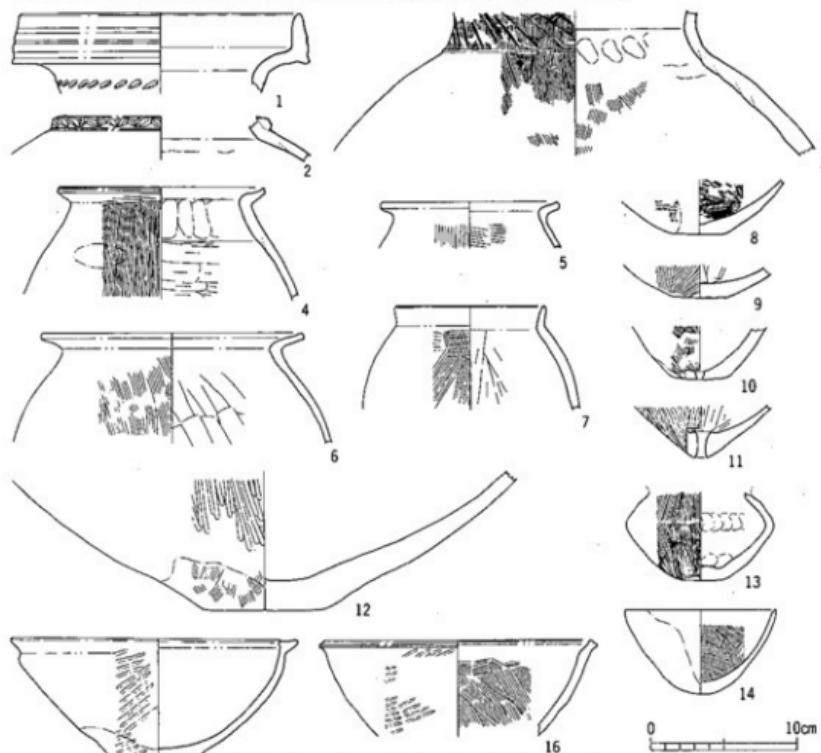
4～6の口縁部はく字に外反し、上端部が、やや突出するために受け口状を呈する。いずれも肩の張らない胴部形態が考えられる。7はほぼ直立する短い口縁部を有する。

鉢形土器

15は口縁端部を水平気味に広く肥厚する。16については胴部形態は15に似るが、口縁端部はナデ調整を施すことにより若干肥厚する。

その他の器種

壺形土器の底部が2点出土しており、10は平底、11は尖底の器形である。



15 第258図 11-G区自然砾群包藏遺物実測図

4. 第3層出土遺物

(1) 弥生土器 (第261図1~19)

壺形土器

1~5はやや外傾する頸部と水平気味に開口する口縁部を有するが、なかでも2、4の口縁部の屈曲はほぼ直角に近い。端部は上下に肥厚し、端面を凹面化した後に刻目、凹線文を施す。

6、7は二重口縁の形態である。

高杯形土器

14は口縁端部を外部へ拡張することにより水平な面を形成する。屈曲部以下の部位に比して口縁部が極めて短い形態である。

鉢形土器

大型品1点を図化したが、口径に比して器高の小さい浅い器形である。

その他の器種

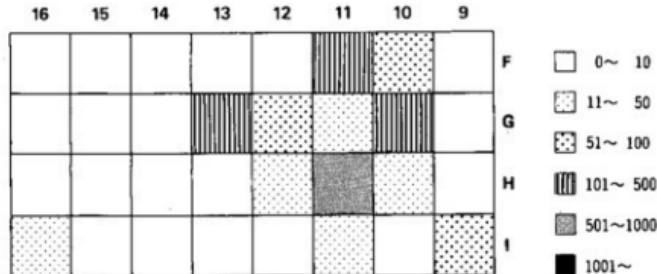
17は小型の変形土器である。頸部に焼成前に穿たれた1個の孔を有することから、紐掛けを行なって使用したことが想像できる。しかしながら焼成後に底部に穿孔を施したことによってこの遺物の容器としての機能は失われている。この点についてはもちろん単孔式瓶形土器として用いられたことも考えられようが、果して焼成後の穿孔による瓶形土器の作製は存在するのであろうか。また遺物が小型品であることも実用的ではないことを意図しているものと思われる。しかしながらこれらの点については解決し得ていない。

18は鉢形土器の小型品である。短い頸部を有する。

19は珠算玉形の胴部を有する小型の壺形土器である。外面はヘラミガキ調整により丁寧な仕上げが施されている。

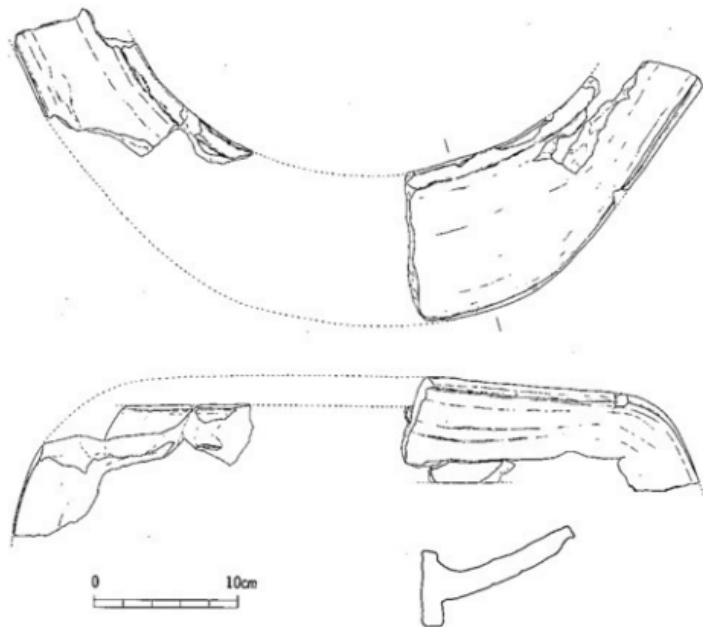
(2) 土製品 (第260図、第262図21, 22)

釣鐘形の飯蛸壺形土製品2点が出土している。いずれも釣手部上端部に溝を有する形態である。

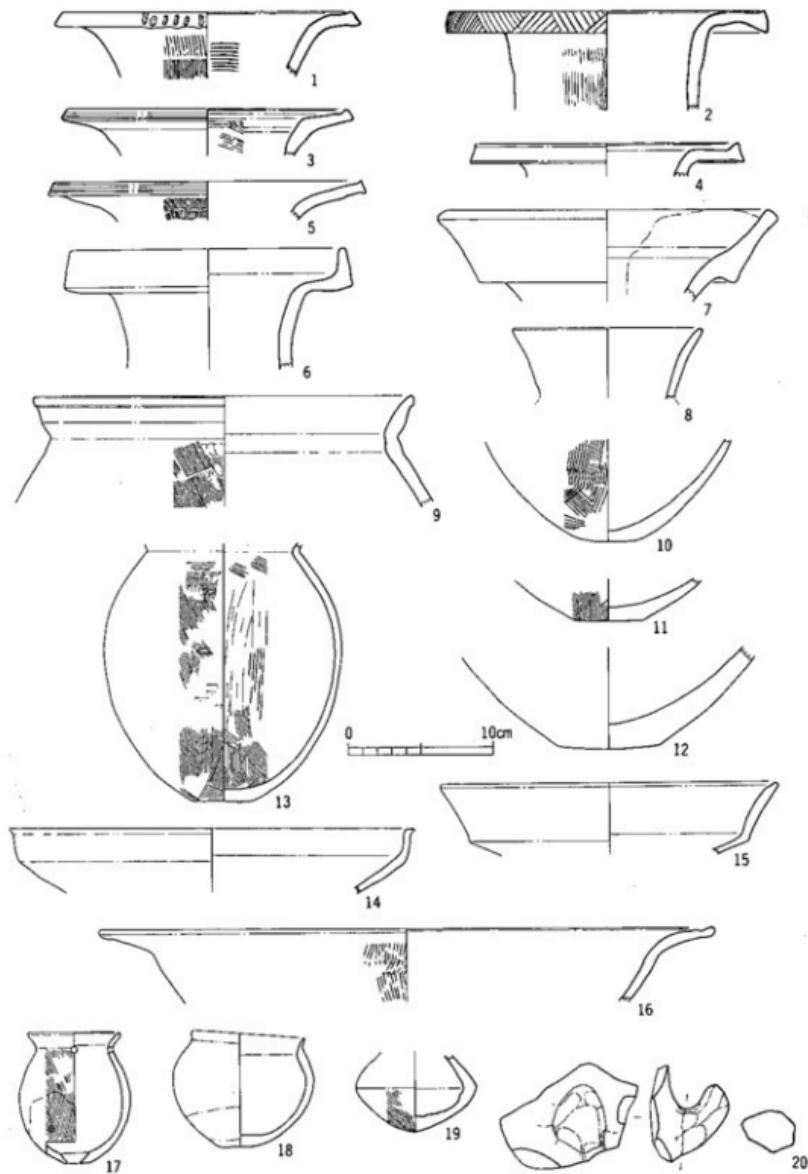


第259図 第3層弥生土器地区別分布図

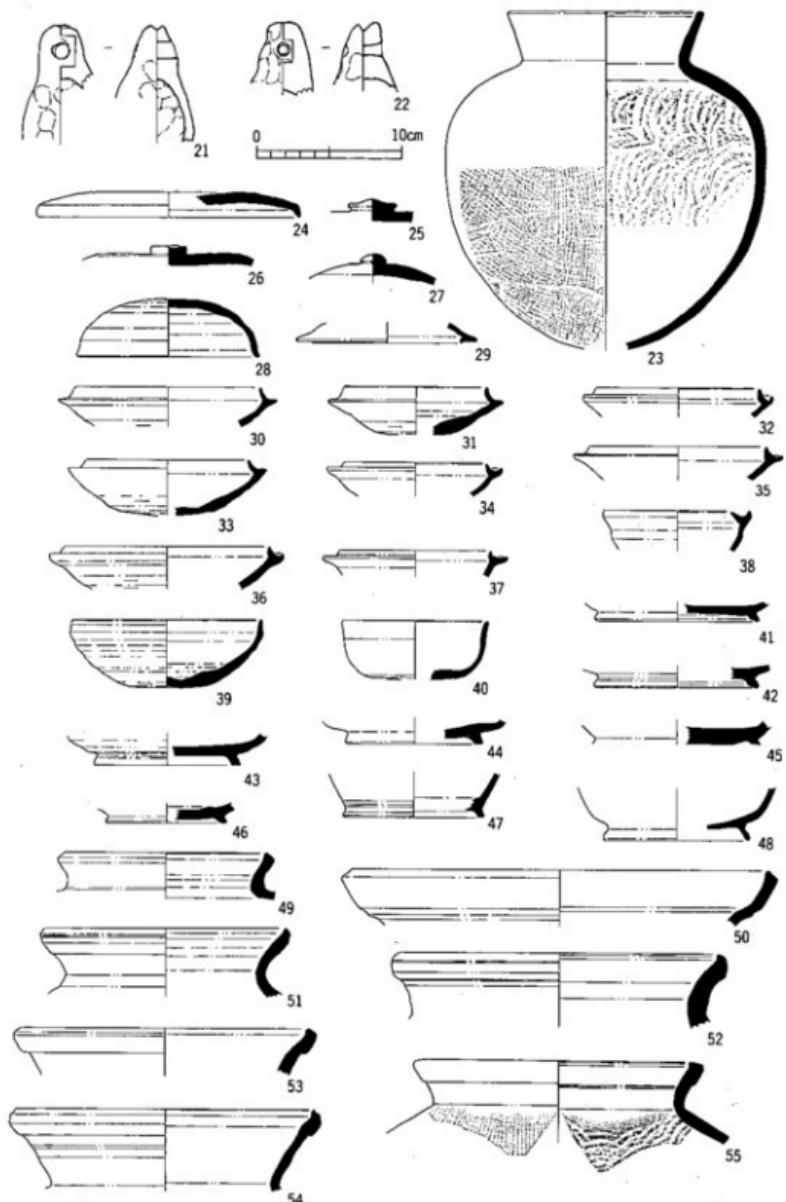
移動式の竈（第260図）が出土している。全面のひさし状の部位と炊き口、煮沸容器を固定する部位の一部が遺存するのみであるために原形を復元することは難しいが、ひさし状部位の最高部が本体の上端部を超える規模である点が特徴である。ところで、上端部の復元径は約38cmを測ることから大型の容器の煮沸に用いられたことが推測できる。しかしながら、煮沸容器としての釜、甌などの器種とのセット関係を把握する資料は得られなかった。本資料は時期の明確な遺物を伴っていないために時期を特定することは不可能である。



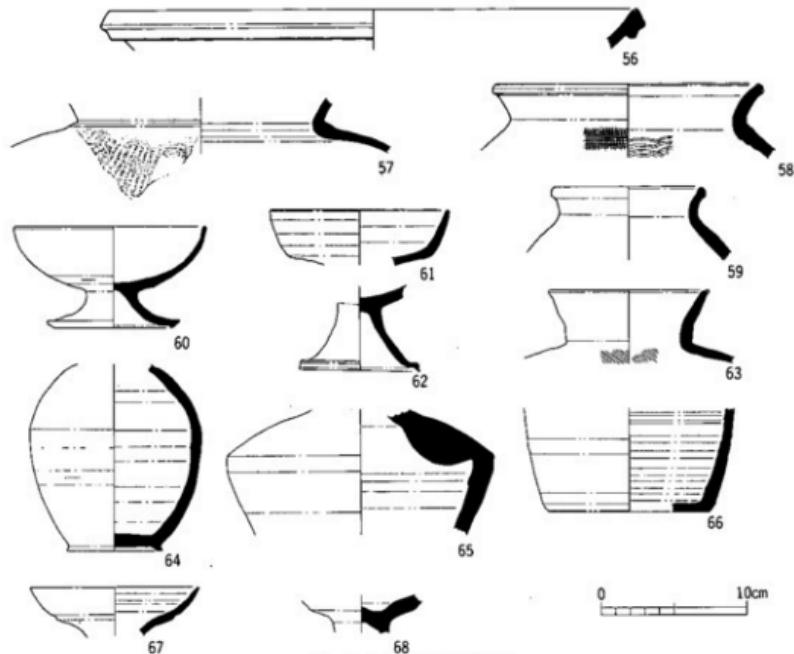
第260図 第3層出土竈実測図



第261図 第3層出土遺物実測図(1)



第262図 第3層出土遺物実測図(2)



第263図 第3層出土遺物実測図(3)

(3) 石器 (第265図)

砥石(1)は厚さ3.4cm前後の板状の形態であり、両側面を作業面としている。

2は直刃を有する長方形の形態の抉入り打製石包丁である。側縁部について両面から剥離調整を施すことにより刃部を形成しているが、既に摩耗が著しい。さらに背部についても原石から剥片を採取する段階において鋭利なエッジが形成されており、しかも細かい剥離調整が施されているために刃部としての利用も十分可能であると考えられる。

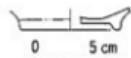
(4) 鉄製品 (第243図 1, 14)

1は使途は不明であるが、円形の断面形態を有し、先端部ほど細い成形である。先端部の屈曲は実用によって生じたものと考えられる。

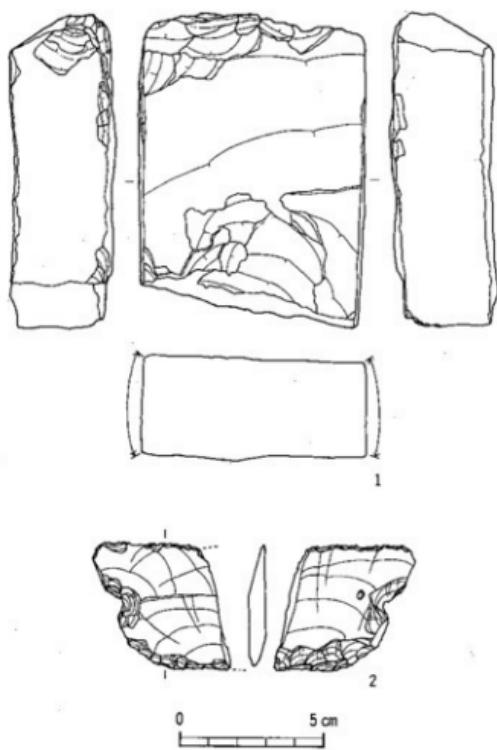
なお出土層序は明らかでないが、本調査開始当初の試掘調査により出土した鉄鎌1点(14)を報告しておきたい。先端部と基部を欠くが、身部に湾曲が認められる。

(5) 黒色土器 (第264図)

楕円形の器形である。著しく摩耗しているために高台部が原形を保っているか否かは判然としないが、現存する高台部の断面形態は稜線の不明瞭な逆台形状を底する。



第264図 第3層出土
黒色土器実測図



第265図 第3層出土石器実測図

(6) 須恵器 (第263図23~58)

蓋杯

杯蓋24は末端部を折り返す形態である。8世紀中頃の年代が与えられよう。25~27の宝珠つまみは既に機能を失い、形骸化の過程にあると考えられる。29のかえしについても小型化しており、その実用性は弱い。

杯身30~40は口径10cm前後の浅い器形である。かえしが内傾する点と小型化する点が特徴である。II型式第6段階の遺物である。

41~46は高台部を有する杯である。高台部はやや外部へ開く形態を呈する。

48は椀形の器形が考えられる。

壺

23, 49~58は大型の器形である。特に遺存状態の良好な23は肩の張る球体状の形態を呈する。また53~56の口縁部は端部を肥厚して方形に成形する。59は玉縁状の口縁部を有する短頸壺である。

60は杯部に屈曲部を有しない器形である。脚部は短い形態であり、端部を内部へ折り返す。

長頸壺

64は長胴の形態を呈し、小型の高台部を有する。65は肩の張る器形である。

甌

67は受け口状に開口する口頭部である。

68については使途が判然としない。

第7節 小 結

1. 検出遺構の時期考察

本項では特に本文中において言及することのなかった竪穴住居跡、集石墓、壺棺墓の構築あるいは廃絶（埋没）の時期について明らかにすることを試みる。また文末において掘立柱建物跡の時期比定について再度触れたい。

まず最初の課題について結論を先に述べると既に筆者が竪穴住居跡と集石墓の伴出遺物の報告に際して「弥生土器」の名称を用いた様に基本的には前3者の遺構の伴出遺物が弥生時代後期に製作されたことを想定している。さらに他地域との関連における時期比定を要求された場合には、「畿内第5様式の新しい段階」もしくは「上田町I式^(註1)前後の型式」^(註2)に併行する遺物が多いのではないかとうかと考えてることにまで踏み込むことが現状では可能であると考えている。もちろんこの発言の無責任さについては当然批判されるべきではあるが、以下にこの問題が発生する原因について触れることにより、同時期の遺構の時期決定の難しさについて認識する。

上記の問題点が起因する第一の要因としては、香川県下における弥生時代の土器による編年研究が著しく停滞している現実があげられよう。なかでも近年弥生時代前期あるいは中期後半から後期前半に至る時期についてはやまとまった資料が蓄積されつつあると言えるが、後期後半頃に比定できる良好な資料の発見についての情報を聞く機会には恵まれていない。したがって1966年に提唱された「第七様式原式」^(註3)の概念を無視し難い状況であると考えられる。さらにこの問題に拍車をかけているのが弥生時代以降の土器編年が確固としていない点と資料報告者の多くがいわゆる「庄内式」に翻弄されている問題であろう。とりわけ後者の点については「庄内式」に対して個々の報告者が任意の理解を行なっているために收拾がつかない実態がある。この問題は既に都出比呂志氏によって指摘されており、現在の香川県における同型式に併行する土器の研究は氏の見解当時の段階を超えていない様に思われる。以上の点を打破しない限り本遺跡の個々の遺構について相対的な年代を与えることは困難であり、筆者も本報告においてこれらを解決することを怠ったことが事実である。

そこで上記の現実に基づき、各遺構の時期比定を行なう際に留意すべき点について以下に略述しておきたい。

竪穴住居跡については床面に遺された遺物のみを廃絶時期を示す資料として用いることにする。しかしながらSB01～04については良好な資料が遺存しないために床面から離れた位置において出土した遺物をも埋没過程にあった時期を示す資料として準用する。

SB01の第94図9～12より小型の鉢形土器に平底と丸底の形態が共存していたことが判る。埋

土の下位出土の壺形土器（第94図3）は坂出市高屋遺跡に類例をみることができる。S B02出土の高杯形土器（第94図16）の脚端部には凹線文が施されており弥生時代中期後半以降の技術的系譜が考えられる。S B03については第94図20の壺形土器がほぼ完存していたがその位置付けを行なうことはできていない。ただし当遺構の埋没後にその上位にS X04（旧河道）が形成されたことから先後関係は明白である。ところでS X04出土の壺形土器2点（第196図4、5）は長胴の形態であり、平底を有している。さらに胴部外面はタキ目調整後にハケ目調整を施すことにより前者の痕跡を消すことを意図していることが判る。なおこの形態と成形・調整技法は後期前半頃に位置付けられる畿内西ノ辻I式の壺形土器にみることができる。S B05には複数の異なる系譜の壺形土器が遺存しているが、第99図5と6～8の2者が特筆される。前者はやや球形を呈する胴部と複合口縁部を有する。後者はS B01の埋土中に包蔵されていた遺物（第94図3）に同一の器形である。しかしながら両者に共通する技法上の特徴は胴部内面にヘラ削り調整を行なう点である。また出土した壺あるいは壺形土器の底部は平底が主体である。さらに高杯形土器の杯部は屈曲部以上の部位が屈曲部以下の部位に比して短い形態であるが、この形態は明らかに弥生土器の特徴である。

次に集石墓の伴出遺物について構築時期を特定するために必要な要素を抽出する。検討資料としては主体部あるいは墳丘直下に穿たれた土竈の内部に埋没していた遺物と封土の下位に包蔵されていた遺物を主として使用する。これは同遺構が墳丘を有することから地表面下に完全に埋没することが漸時的であったことが推測でき、しかも統ての遺構の上位に後世の包含層が存在するために封土上位の石材の間隙から出土した遺物には構築後の遺物が混入していると考えられるためである。

S T11の主体部の壺形土器2点（第107図4、10）のうち後者の内面にはヘラ削り調整の痕跡が認められる。壺および壺形土器の底部は平底の形態が主体である。S T12についてはまず封土中に包蔵されていた壺形土器に加飾された資料が多い点が特徴である。また土竈内部より出土した壺形土器（第111図24）の口縁端部には凹線文が施されている。さらに壺形土器（第112図36～41）は胴部内面にヘラ削り調整を施し、口縁端部を横位にナデることにより上端部を「つまみ上げ」気味に成形している。この成形・調整技法は畿内上田町I式の資料の特徴とされている。土竈伴出遺物（第113図66）は前述のS B01、05においても伴出している。底部の形態については完全な丸底の資料は見出せないが、やや丸底を呈する資料が存在することが判る。なお第115図112～115の高杯形土器の形態は高松市葛谷遺跡の遺物に類例を多くみることができる。その他の同器形についても屈曲部以下の部位が屈曲部以上の部位を凌駕する点に弥生土器の特徴を指摘できよう。S T13伴出の壺形土器には口縁端部に凹線文を施した資料がみられる（第120図2、4～7、12、13、25）。第122図57～64、74、75の壺形土器は口縁端部を横位にナデて、上端部を「つまみ上げ」

る形態である。さらに複合口縁を有する器形(第123図90~95)が共伴する。底部の形態については依然平底が主体であるが、下胴部から底部にかけての変化点が不明瞭な資料を封土中にみることができる(第124図115~117, 120, 121)。封土中位に包蔵されていた高杯形土器の小片(第124図125)はS T12の資料(第115図112~115)と同形態と考えられる。S T14の壺形土器の特徴は長頸の器形(第128図10, 11)と複合口縁の器形(第128図12~21, 24)が少なからずみられる点と言えよう。また直立あるいは外反する長い口縁部を有し、肩部に突帯を貼付する大型の器形(第129図49, 第130図50~54)が多く出土しているが、この形態は壺棺墓の棺身として用いられている(S T03, 06, 07, 10)ことが判る。壺形土器は胴部外面にタタキ目調整を施した後に、細い原体によるハケ目調整を丁寧に施している。底部は完全な丸底の形態をみることはできない。高杯形土器については杯部の屈曲部以上の部位が屈曲部以下の部位に比して短い形態である(第134図127, 128, 130)。S T15の構築時期を検討する手がかりは少ないが、S B04の上位に所在することから前者が後出する事が判る。S T16伴出の壺形土器には長頸の形態(第142図1~3)が存在しているが、畿内においては長頸壺形土器は弥生時代前半以降は用いられなかった器種であるとされている。^(註8) 壺形土器は複合口縁の形態が特徴である。外面は細いハケ目調整、内面はヘラ削り調整が施される。S T17は壺形土器に球形気味の胴部形態を呈する資料(第147図17, 第148図18, 19, 22~24)が存在することから他の遺構に比して、やや後出したのではなかろうか。ただし、本遺構伴出資料と「庄内式」あるいは「布留式」との併行関係の検討が時期焦躁である点については前述した。S T18の第1号主体部内に遺存していた壺形土器には口縁端部に凹線文を施した資料(第151図5, 6, 18, 第152図28)とヘラ鋸鋸歯文の施文および円形浮文の貼付により加飾した資料(第151図15)をみることができる。さらに第153図45~49の壺形土器は口縁上端部を「つまみ上げ」た形態を呈する。第1号主体部伴出の高杯形土器(第156図104)の形態は寒川町森広遺跡群出土資料に同様の器形が存在することが知られている。S T19の壺形土器(第162図6, 7)は胴部内面にヘラ削り調整を施す特徴を有する。

さて壺棺墓の構築時期を検討する上でS T02, 03, 04, 08によって構成される第1群とS T01, 05, 06, 07の第2群の存在を無視することはできないであろう。すなわち同一のグループを構成する遺構については、相互の存在を意識することが可能な程度の近接した時期に構築されたことが考えられるのである。この仮説に立脚して第1群に用いられた壺形土器についてみると3種類の形態が共存していたことが判る。S T02とS T04の棺身(第169図2, 第174図)は最大径が胴部中位に位置するために、やや球形を呈する形態であり、S T03とS T08の棺身(第171図2, 第184図)には肩の張る器形が用いられている。ただしS T08の資料は長胴の形態である。またS T08の棺蓋として用いられた壺形土器(第185図)は最大径が上胴部に位置しながらも、肩の張らない器形である。

一方第2群の棺材として用いられた大形の壺形土器はいずれも最大径を上胴部に有し、やや肩

の張る器形であることと完全な平底の形態である点において酷似していることからほぼ同時期に作製された資料であることが想定できよう。したがって第2群の伴出遺物の形態上の特徴に留意することにより上記の仮説の裏付けを行なうことが可能であることが判明した。

ところで両群の相対的時期比定については、S T04およびS T07より伴出した壺形土器の胴部の内面にヘラ削り調整が施される事実から畿内上田町I式に比定される資料に類すると考えており、前述の集石墓の構築時期と大差がないとの結論に至ったのである。なおグループを構成しないS T09とS T10の構築時期については前者の棺身の壺形土器の形態が第2群の資料に類し、後者の棺蓋に用いられた鉢形土器がS T05の棺蓋の資料と形態的に合致する点から第1、2群の構築時期との時間的な隔たりはないことが判る。

最後に掘立柱建物跡（S B06～10）の構築・廃絶時期について改めて記述するが、構築時期については柱材の設置と同時に埋没あるいは埋設したと特定できる遺物が伴出してないためにこれを比定することは不可能である。廃絶時期についても遺存状態の良好な遺物を伴出しない点と複数の時期に比定できる遺物が共存する点などから結論付けることが極めて難しい。唯一S B07についてのみ6世紀後半に至るまで機能していたことが推測されるのみであり、他の4棟についてはS B07との先後関係は判然としない。ただしS B06、08についてはS X13（胞衣埋納遺構）との関連において平安時代初期に営まれた可能性を示唆することができた。

2. 埋葬遺構の考察

① 弥生時代の埋葬遺構の形態分類研究略史

弥生時代の埋葬遺構についての研究は、まず九州地方の資料の整理に端を発したが、その後、中国地方、畿内、関東地方などにおいても特異な墓制が知られることとなり、それと並行してこれらを弥生時代の社会のなかに位置付けようとする作業が活発化したのである。

特に考古学的研究方法の第一段階である形態上の特徴による分類作業に携わった研究者は多く藤田等、^(註10)森貞次郎、^(註11)近藤義郎、^(註12)甲元真之、^(註13)西谷正、^(註14)都出比呂志氏らの業績は先駆的なものである。なかでも近年都出氏が種々の埋葬遺構について、それらを構成する細かい要素にまで着目することにより、形態分類の適用範囲を拡大した点は、従前の研究においてはみられなかった手段として注目したい。しかしながら、大概的な分類方法と遺構の呼称方法においては、いずれも大差のあるものではなく、その意味では、弥生時代の墓制については既に分類し尽くされた感が強い。

そこで、本稿においては現在知り得る墓制を整理し、稻木遺跡の埋葬遺構、とりわけ集石墓の意義付けの序としたい。

まず、藤田氏は1966年、当時知られていた資料を1塚棺墓、2土壤墓、3箱式石棺墓、4支石墓、5木棺墓、6配石墓、7その他の埋葬跡に類別した。この分類方法、呼称法が総括的な研究の第一歩と考えられる。さらに岡山県において弥生時代から古墳時代の過渡期の埋葬遺構である

橋築遺跡の調査に携わった近藤氏は1977年に墳丘墓の概念を提唱したのである。しかしながら、前述の様にその後各地において新資料が知られるに至った。このため1979年の甲元氏の論考には上記の7形態に加えて方形周溝墓と方形台状墓の呼称が新たに登場したのである。なお1980年に西谷氏が日本の弥生時代の墓制と朝鮮半島の無文土器時代の墓制とを比較することにより、両地域間の交流の実態を追求した成果は新資料の類別という役割は果たせなかったものの、埋葬形態の系譜の研究として特筆すべきであると考えている。

不十分な研究歴史ではあるが、以上により今日に至るまでの弥生時代の墓制の類別研究の大略を知ることができると考えている。

② 集石墓について

(1) 形態の特徴

稻木遺跡において確認された9基の集石墓に共通する形態上の特徴は、平面形態が不整形な円形もしくは方形を呈する点と低い墳丘を有する点である。ただし、前記の点については必ずしも全ての墳丘の遺存状態が良好とは言えず、しかも後世の攪乱と削平により石材の散逸が著しいために明確な平面形態は決定し難い事実が存在している。

しかしながら、この条件下においてS T14の南辺部および西辺部に供獻されていた鉢形土器は原形復元のために貴重な情報をもたらしたと考えられる。既に本文中に報告したが、S T14伴出の5個体分の完存する鉢形土器は4個体が墳丘の南辺部に東西方向にほぼ直線的な列を形成して配置しており、他の1個体が西辺部に遺存している。すなわちこれらの配置は南西隅部を頂点としたL字形を呈している。これは墳丘の原形が方形を呈していたことを裏付けていると考えられる。もちろんこれに類する資料は他の遺構においては確認されていないために特殊な要素である可能性は否めないが、方形の形態に構築された遺構が存在していたことは間違いない。

第二の墳丘を有する点については、封土と基盤土壤を分離することが全く困難であることから他所から土砂を運搬したとは考えられない。遺構の構築地点において周囲の土砂を搔き集めたものであろう。

ところで、弥生時代の種々の埋葬遺構例において集石墓の有する最大の遺構要素がこの墳丘を伴う点であると考えられる。既に墳丘を有する埋葬遺構としては方形周溝墓、墳丘墓、台状墓などが知られているが、これらは主体部を構築するために基盤層を整形し、あるいは土盛を行なうのである。すなわち、主体部を地表面よりも高所に営むことを目的としていることが考えられる。

ところが、集石墓は主体部の営造後に封土が形成されるために基盤層直上面における形状についてはS T20~22にみる土塙墓と何ら異ならない。この点から封土は、埋葬遺構の存在の標示を目的として形成され、墳丘を有する点と墳丘の存在による遺跡地内の空間の独占により、土塙墓、壺棺墓とは異なる性格の遺構として現出したと考えられる。遺構の性格が被葬者の個性を決定する際の手掛かりとなることは言うまでもない。

筆者は集石墓の墳丘に与えられた意識と同一の目的を内在する埋葬遺構としては、支石墓の大型の石材と配石墓を構成する石材などがあると考えている。

さらに墳丘が有する性格にはいわゆる墓前祭祀（ここでは墓上祭祀と呼ぶべきか）の場としての役割が想定できる。この点については(3)伴出遺物の特徴の項において詳述したい。

(2) 構造の特徴

上部構造である封土は、特にその上面に自然石の円礫を多量に集積する点を特徴とするが、墳丘中央部にみられる石材が大型である点を除き、石材の配置に規則性は認められない。また、後出する古墳に設けられる墳壠の外護列石と同一の目的を有する石材も存在していない。したがってこれらの特徴から墳丘の構築に際しては特異な技術あるいは企画性が用いられることがなかつたことが判る。ただし封土中に包蔵される石材に比して墳丘上面に被覆される石材の量が圧倒的である事実は、円礫を利用して墳丘を構築すると同時に外表面を保護する蓋石様の施設としての意図が考えられる。

またST12, 13の墳頂部に最大規模の石材を設置される点については本文中において標石としての用途の可能性があることを指摘したが、弥生時代の墓制において標石を有する遺構は支石墓に例がみられるのみである。しかしながら支石墓に標石を要するのは、主体部が地表面下に埋没するためにその存在を視覚に訴える必要性があることに起因していると考えることが自然であろう。ところが集石墓は既に墳丘を有する点において視覚的なアピールを満たしていると言える。しかも個々の遺存状態はともかく、全ての遺構にこの種の石材が認められなかったことから、標石としての性格はもとより、存在の有無が遺構の特殊性を意図することも念頭にいれておく必要があろう。

ST11～13, 16, 18については封土を除去した後に、基盤層上面において土塙が検出されている。しかしながらST12検出の不整形な長梢円形の土塙については、検出位置が南部の墳壠下である点から埋葬施設としての主体部であるとは考え難い。一方、他の4基が有する土塙は全て墳頂部直下に穿たれることから主体部と考えることが妥当であろう。ただし形態、規模は個々に異なっており、とりわけST18の第1号主体部が最大規模を測る。また、これらの主体部は基盤層を穿ただけの簡素な形態であり、壁面および床面には全く他の施設を有しない。

主体部は埋土中に夥しい量の自然石を包蔵しているが、とりわけその上位に密集して堆積した状態が認められる。これらは遺体の腐食に伴い封土中より沈下したものが大部分を占めていると考えられるが、一部は遺体の埋納に用いられたものであろう。したがって土塙の上位から検出された砾群については、蓋石様の性格を持ち合わせるのではないか。

なお、基盤層直上には主体部としての土塙および性格不明の土塙以外に施設を有しておらず、方形周溝墓の周溝にみる埋葬施設と外部を区画する施設が設けられることがない。

(3) 伴出遺物の特徴

墳丘上面と封土内部より多量の弥生土器片が出土している。しかも大部分が遺存状態の良好な細片であることから、これらは墳丘の構築時に封土中および石材の間隙に人為的に投棄され、混入したことが考えられる。特に墳丘上面において採取される遺物量が封土中に包蔵されるそれを卓越している。

墳丘上面より出土した遺物について注目すべき点の第一は S T14, 16, 17の墳頂部および墳裾部において検出された土器群の存在である。これらの群を形成する遺物には原形に復することの可能なものがあり、さらに原位置を保っている。したがって遺構の構築時には、完形の遺物を埋設したこと、あるいは他所または出土位置において破壊した後に遺物を集積したことが考えられよう。この点については既に第3節-3-⑤-4 件出遺物概要の項に報告したが、S T14南西辺部に埋設されていた5点の鉢形土器の遺存状態とは明確に異なる事実から、破壊した遺物を集積して「供献」したものと結論付けた。^(註16)

日常生活に不可欠な遺物を破壊することにより、実用性を抹消する意識は、土器棺として用いられた壺形土器の頸部以上の部位を打ち欠くこと、あるいは土器の胴・底部に焼成後の穿孔を施す意識に共通すると考えている。これらの意識は S T11の墳頂部に倒立状態で埋設されていた頸部以上の部位を欠いた壺形土器、S T12の墳丘上面より出土した大型の壺形土器の口縁部などにも認めることができる。さらには多量に出土する弥生土器片についても、人為的に破壊した後に混入したと考えられるのではなかろうか。

第二に S T14の5点の完存する鉢形土器について考えてみたい。これらは全て口縁部を上にして南辺部および西辺部に埋設されている。もちろん墳丘構築時には露見していたことは疑う余地はない。ところが土器内部に内容物が遺存していないことから実用に供せられたものか否かは明らかにできなかった。しかしながらその配置がほぼ直線的なL字形を呈していることから墳裾を明示する目的を有していたことは想像に難くない。さらにその使途についてはいわゆる墓前における何らかの儀式に用いられたとすることが可能である。ただし、この仮説は実体を有しないために安易な憶測の域を越えないものであることを明言しなければならない。

ここで主体部に包蔵される遺物が希少である点について触れておきたい。主体部の調査により採取された遺物は少量の弥生土器片のみである。これらは遺体の埋葬時において土砂とともに混入したと考えられ、副葬遺物として埋納されたものではない。これは特に畿内における弥生時代の埋葬遺構が副葬品を有しない事実に共通する。

最後に伴出遺物の内容について検討を加える必要があろう。最多数を占める遺物は壺・甕・高杯・鉢形土器、支脚形土器などの普通的な弥生土器であるが、他に非日常的性格を有するいわゆるミニチュアの模造土器、器台形土器などが混在している。また製塙土器を包蔵する遺構をも存在する。さらにこれらの土器類と土製品類に加えて少量の石器、石製品、鉄製品が伴出しており、なかでも S T18の墳丘上面より出土した管玉は集石墓伴出の石製装身具類としては唯一の資料で

ある。すなわち伴出する遺物の内容については日常的な生活遺物を主にするが、非日常的あるいは非実用的な遺物をも若干混入していることが判る。しかも前者のなかにも製塩土器にみる特殊な使途を有する資料が見出せる。

ところで本報告資料は弥生時代後期の埋葬遺構に日常的な遺物、とりわけ弥生土器の普遍的器種を相当量伴出する例として類例は多くない。また後出する出現期の古墳に副葬される遺物が非実用品と考えられる儀器類および特殊品を主とすることからも明らかに両者の間には副葬についての意識の隔絶を認めることができる。

③ 善通寺市域の弥生時代後期の埋葬遺構例

本稿では4稻木遺跡C地区の位置の考察に至る予備段階として、稻木遺跡に近接して立地する同時期の埋葬遺構例の整理を行ないたい。しかしながら現善通寺市域において同遺構の調査例は少ない。また筆者の怠慢により、既に滅失した遺跡についての情報の収集、および未報告資料の調査はほとんど実施していないことをあらかじめ断っておく必要があろう。また第1章第3節2周辺の遺跡の項において詳述した遺跡については一部重複する。

(1) 石川遺跡

善通寺市内に在住しておられ、当遺跡の資料を採集・保管されている盛岡俊秀氏よりの聞き取り調査の結果、かつて土器棺と考えられる大型の壺形土器が出土していたことが判った。この遺物については現在同氏の手元がないために、筆者は実見し得なかったが、氏の所有されるその他の弥生土器の大部分が後期に属することから、この土器棺墓についても同時期に営まれた可能性が強い。ただし不時の発見によるために遺構に関する記録類は一切存在していない。

(2) 稲木遺跡D地区

前述の県道改良工事に伴う発掘調査により、弥生時代終末期の小型の竪穴式石室様の遺構1基と壺形棺墓1基、および埋葬遺構の可能性を有する周溝を穿った遺構1基が検出されている。特に小型竪穴式石室様の遺構は長楕円形の土塙内に人頭大の自然円礫を積上げて側壁を築き、遺体の頭部に当たると考えられる短側壁面にのみ安山岩の板石を直立させている。床面の規模は長径182cm、短径62cmを測る。また検出時において既に側壁面の上位が覗見したために、蓋石の存否および上部構造の有無については全く不明である。

なお本遺構出現に至る社会的背景については明らかにされていないが、稻木遺跡C地区に隣接して所在する遺跡でありながら、両者に異なる埋葬形態が存在していたことに注目しなければならないであろう。

(3) 九頭神遺跡

昭和62年度の調査により弥生時代後期末頃に構築された箱式石棺墓1基と小児壺形棺墓2基が検出されている。さらに不整長方形の平面形態を呈する集石遺構が調査されており、調査を担当された笹川龍一氏は墓様の性格を与えておられる。この遺構については前述の3基の遺構よりも若

千通りの時期の遺物を伴出するが、やはり弥生時代後期に構築されたことが判る。これらの埋葬遺構のなかでも特に注目したいのが箱式石棺墓と集石遺構である。前者は検出時において既に蓋石の大部分を失っていたために、上部構造の詳細は不明である。側壁の材としては安山岩の板石と砂岩の円礫が用いられており、短側壁が円礫のみで構築されているのに対して、長側壁には両者が混用されている。この点から安山岩の不足を円礫で補ったことが推測できるが、周辺地域において同形態を有する遺構の存在は知られていない。後者は稻木遺跡の集石墓あるいは集石遺構に酷似した遺構と考えられる。基盤層上面に自然石の円礫と弥生土器片を多量に集積するが、その周囲および直下には他の遺構を伴わない。

現善通寺市域に分布する弥生時代後期の埋葬遺構を伴った遺跡のなかで、箱式石棺墓と土器棺墓が共存する遺跡としては後述する仙遊遺跡が知られている。しかしながら両遺跡ともに調査範囲に制限があるために遺跡の構造については未解決と言わなければならぬ。

(4) 旧練兵場遺跡

遺跡の全体像が明らかでないことは既に紹介したが、従前から箱式石棺墓と土器棺墓に用いられたと考えられる大型の壺形土器が多数出土している。しかも広範囲に及ぶことから当地域における埋葬遺構を伴った遺跡としては最大規模を有するのではないかろうか。

(5) 仙遊遺跡

箱式石棺墓 1 基と小児壺棺墓 3 基が調査されたが、後者のうち 2 基は破壊が著しいために資料化されていない。箱式石棺墓は安山岩の板石を用いて床面、側壁面、蓋石を構築しており、内径が長径 166cm、短径 48cm の規模を有する。使用された石材の多くには人面文、直弧文系の文様などの種々の文様が線刻されていた。また SK-01 と呼称される壺棺墓の底部には焼成後の穿孔が 2箇所に認められている。この穿孔の意図について笹川氏は葬送儀礼の性格を与えておられる。

(6) 彼ノ宗遺跡

弥生時代後期から同終末期に至る小児壺棺墓の変遷がとらえられている。とりわけ終末期の堅穴住居跡群との位置関係より、当該時期における小児の共同墓地形成の可能性が提示されている。ただし集落に近接して墓地が営まれている点については稻木遺跡 C 地区の構造に共通する要素と考えられよう。

ところで、棺身に用いられた壺形土器は全て頸部以上を打ち欠いていることが判る。さらに棺蓋は鉢形土器あるいは上腕部を破棄した壺・壺形土器が転用されている事実から、この埋葬手段は当時の普遍的な形態であったことが改めて推察できよう。

3. 遺跡の構造について

① 集落の構造について

(1) 住居跡の配置の問題

集落と埋葬施設が営まれた地形は南北方向に軸を有する東西幅約130mの舌状の微高地である。したがってSB01~04の4基の堅穴住居跡はこの微高地上の西半部を占地していることが判る。また県道西白方善通寺線の改良工事に伴う事前調査により、本遺跡は北方約200mの範囲を超えないことが判明したためSB05に隣接する住居跡が存在していると仮定しても、その数は希少であると考えられる。すなわち本遺跡の集落の主体は微高地の西半部に存在することは否定できないであろう。

そこで住居の立地の要因について考察してみたい。その第一は微高地東部に乱流する河川（現金倉川を含む）が存在していた点である。この点については本遺跡以東の現金倉川に至るまでの地域において地割に規格性が認められない事実を一つの傍証資料とすることができるのではないかろうか。現存する地割の成立時期を比定する根拠は全く存在しないが、堤防などの人工施設の設置直前に至るまでは、河川は氾濫を繰り返していたことが推測できる。さらに本調査時に実施したトレンチ調査においても9ライン以東の調査区は表土直下に河川堆積物と考えられる疊混じりの砂層を確認している。したがって住居の構築に際しては、冠水の危険性が高い東半部を避けて西半部を選択したのであろう。

第二は生産手段の基盤である可耕地の問題である。既に当時の人々が鉄製農具の使用によって扁状地の耕作化に成功したことについて述べたが、依然生産域の主体は水田化に適した海岸平野であったことが想像できる。しかも本遺跡の東方は河川の氾濫により冠水し易く、砂礫の堆積が著しいために安定した耕地とは考えられない。そこで北西方に広がるシルト層から成る海岸平野部（B地区）に生産域の存在を想定することができよう。すなわち居住域を生産域に連続して設けるためには微高地の西半部を占地しなければならなかつたのである。

(2) 住居形態の問題

5基の住居跡についても個々の規模と形態に差異が認められる。そこで本項ではこれらの差異の起因する要素について述べる。

まずSB01~03は相互に規模と平面形態上の画一性がみられる。したがって既にモデルが存在しており、規格的に構築されたことが推測できるのである。ところがSB04、05の平面形態と規模は前3者のそれらとは明らかに異なっている。特にSB04が小型の規模を有している点とSB05が大型の長方形の平面形態を呈する点が最大の特徴と言えよう。規模の差異については、取りも直さず居住人員数の差異と考えられるが、両遺構の所在地が居住域の中心部から隔離した位置にあることから、異質な人員構成が存在していたことも想定し得るであろう。しかしながら、この点を伴出遺物から具体的に解明するには至らなかった。

次にSB01、05においてベッド状遺構が検出された。この点により同一集落内にベッド状遺構の有無による構造の異なる2者が共存していたことが判る。構造上の差異は使途の差異の反映であると考えられるが、これを明らかにする資料は得られていない。

ところでSB01のベッド状遺構は北壁面部のみに、SB05は北壁面部を除く3壁面部について設けられている。しかも後者が基盤層を穿って構築されているのに対して、前者は基盤層と異質な土壌を用いていることから異なる技術によっていることが判る。

② 墓地の構造について

(1) 埋葬遺構の配置の問題

本項においてはとりわけ特異な配置にある集石墓と壺棺墓について検討し、土塙墓については構築時期を比定することが難しいために論外とする。

既に両遺構の分布状況は本文中に略述した通りであり、まず集石墓についてはA～Cの3グループに大別することができる。ただし、個々のグループの成立要因とグループ相互の関連については本項では触れない。

ところで、集石墓と住居跡の配置の問題は後者が前者を取り囲む位置関係にあることを予察したが、巨視的な観点に立脚すると集石墓は遺跡の東半部を占地していることが判る。すなわち集石墓の構築位置は河川に近接する非耕地であったことが推測できよう。この点は後出する古墳時代前期の古墳が、当時の経済基盤であったと考えられている水稻栽培に影響を及ぼすことを避けたがために、尾根あるいは丘陵上に营造されたとする説に従うならば合理的に解説を加えることが可能である。一方、弥生時代の墓制の研究者によても配石墓と呼称される小型の自然石塊を用いて構築された埋葬遺構の营造空間としては海岸の砂丘上などが選択されている事実が明らかにされており^(註17)、やはり非耕地の利用が考えられるのである。

次に壺棺墓の配置にみられる意図を明らかにしておく。ST09, 10を除いて2グループが存在することは一目瞭然であるが、特に第2群(ST01, 05, 06, 07)の存在が特徴的である。それはSB04との関連である。すなわち3基(ST01の正確な出土位置は不明。)は明らかにSB04の存在を意識して近接した位置に設けられたと考えられるのである。さらに棺材に転用されている壺形土器の容量が小規模であることから、いずれも小児あるいは幼児の埋葬に用いられたことが推測される。そこで、これらの事実から想起される事例としては縄文時代中期中葉の中部、西関東地方に初源をみることができる埋甕と幼児壺棺墓がある。これらは死産児あるいは幼逝した小児の埋葬に用いられ、住居の入口床面下などの人の出入りの多いところに埋設することにより、早く子供の魂が再び母親の胎内に宿ることを祈念した民俗事例に共通する意識の表われと考えられている。^(註18)したがってST05, 06, 07についても同様の意図により当該地に配置されたと考えができるのではなかろうか。

(2) 埋葬形態の問題

本文中および前項において埋葬遺構の形態と配置からみたグルーピングについて触れたが、個々のグループの成立背景を明らかにすることはあえて避けた。そこで本項では集石墓という特異な埋葬形態出現の社会的な背景について検討するとともに、上記の問題についても可能な限り

言及しようと思う。

まず集石墓構築の意図を明確にしておく必要があるであろう。当遺構の構造における最大の特徴が墳丘を有する点であることは前述の通りである。すなわち埋葬後においても遺構が地上に存在することにより視覚的にアピールすることが可能になり、さらには空間を占有することから被葬者個人あるいは被葬者が生前属していた家族および集団の存在は後世へ物心両面の影響を及ぼすことが可能である。この点においては古墳の營造意図に同様ではなかろうか。

さて上記の意図に基づいて、本遺跡に居住していた人々が集石墓を構築したと仮定するならば、周辺地域に営まれた埋葬遺構の性格とは明らかに異質であると言えよう。もちろんこの事実のみによって、本遺跡の特殊性についてまで言及することは極めて困難である。そこで以下に本遺跡が周辺の遺跡群に比して卓越する事実を2点記述して当時の社会における特殊な位置付けの一端に触れてみたい。

第一は鉄製農耕具、武器を保持する点である。すなわち耕地を拡大することにより生産力が増大するとともに、戦闘による版図の拡大も可能である。

第二に銅鏡が出土している点があげられる。その入手経路が明らかでない以上、鏡を保持することイコール所有者が特異な性格を有する者という図式は性急過ぎるであろうが、本遺跡の居住者が宝器的性格の強い遺物を入手し得る立場にあったことは疑う余地はない。

したがって、ここで乱暴な発言が許されるならば、周辺地域の集落に対して優位な位置にあるがために特異な埋葬形態を用いたことが推測できる。

ところで集石墓の配置にグループ性が認められる点について明確な回答を与える根拠は存在していないが、一集落（集団）内における小集団（家族）的な集合と考えることが妥当ではなかろうか。ただし、同一家族内においても幼児、小児あるいは若年の人物については壇棺墓として埋葬されていることから集石墓の被葬者は特定個人であったことが考えられる。

また個々の形態と規模の面からはグループ相互の関係を明らかにすることはできない。しかしながらS T18（Cグループ）にのみ管玉の伴出がみられたことから、集団内においてより優位な人物の埋葬が行なわれた可能性が考えられる。

4. 稲木遺跡C地区の位置

稻木遺跡C地区の主体は弥生時代後期後半頃の集落と墓地である。そこで本稿では、同時期の現善通寺市域における本遺跡の存在意義と位置について展望する。

最初に遺跡の立地条件をめぐる問題から考察してみたい。既に報告した様に本遺跡は扇状地の扇端部を占地している。この点は弥生時代前期の遺跡の立地条件に共通する事実であるが、前期の人々が鉄製農耕具を有しないがために、可耕地を広い海岸平野に求めたであろうと推察されるのに対して、本遺跡に居住した人々は小海進による海岸平野の減少という環境変化に迫られなが

らも、鉄製農耕具を入手し得たことから扇状地内部への集落の展開が可能になったことを仮想している。この仮説は周囲の同時期の遺跡の大部分が完全に扇状地上に営まれている事実によって傍証可能であると考えている。

ただし、本遺跡を完全に冠水の危険度の低い扇状地内部に営み得なかった理由については、まず伏流水が利用できること、そして河川と近接するために安定した耕作地の確保を目的とした場合には海岸平野から離れ難かったことなどがあげられよう。

すなわち扇状地内部に立地する遺跡に比すると、はるかに河水の被害を被り易く、絶えず危険と背中合わせの立地条件であるが、水利に恵まれていなかった弥生時代後期後半頃においては、最も容易に水利を得ることが可能であった立地条件であると言えるのではなかろうか。

次に出土遺構を観点として検討してみよう。特筆すべき遺構は9基の集石墓である。既に本節2-③に概観した様に現善通寺市域においては類似する資料は検出されていない。さらに周辺地域においても類例を知り得ない。したがって、本資料は極めて特殊な埋葬形態と考えることができる。ただし、稻木遺跡D地区の資料にみる様に、従前から知られている墓制とは明らかに異なる資料が増加していることが事実である。しかも個々の出現要因あるいは系譜などについてはまだ未だ未知な点が多い。本例についても上記の点について解決するには至らなかったが、類似資料が愛媛県川之江市大江東宮石遺跡と徳島県三好郡足代東原遺跡において確認されていることだけを紹介しておきたい。

また、出現要因については、氾濫原に遺構を構築する以上、自然石を用いる手段は自然な行為と考えることもできよう。しかしながら、現状では本資料については一遺跡内においてその特殊性から存在理由を検討することは可能であるが、遺跡外の周辺社会の中に位置付けることはまだまだ難しいことを報告しておく。

5. 集落の変遷

発掘調査により、本遺跡において初めて集落が形成されたのが弥生時代後期後半頃であり、その後古墳時代後期あるいは平安時代初期に至って再び集落が営まれていたことが判明した。ただし正確に後2者の時期に比定することの可能な住居遺構が存在しないことは本節1において報告した通りである。

上記以外の時期については奈良時代後半頃と古代以降の遺物が数点出土したのみであり、考古学的研究方法によっては全く空白時期と言わざるを得ない。しかしながら通説に従うならば、本遺跡地は旧多度郡に属しており、現地形からもいわゆる方格地割による土地区画が施されたことが推測できるのである。したがって条里制施行以後においても、集落以外の目的により土地利用が行なわれていいことは十分考えられる。しかしながら、この点については文献調査を怠ったために明らかにできていない。同様なことは中世以降の土地利用の問題についても言える。調査開始

時において既に水田と化していた事実のみを報告し得たに止まっており、近世・近代の様相は解明するに至らなかった。筆者の怠慢として大いに攻められるべき点であると反省している。

以下に時代別の集落の変遷を検討する。

① 弥生時代

本遺跡の主体を構成する時期であるが、前期から後期前半頃までの遺構は未検出であり、後期後半頃に至って突如として集落と墓地が出現する。この要因としては小海進により可耕地である海岸平野が減少したために扇状地の開墾の必要に迫られたことを第1章第3節において推測した。さらに本遺跡において出土した鉄製農耕具の使用の必要性についても同土壤の掘削に不可欠である点を指摘しておいた。

特に鉄製農工具の使用の開始事実は、耕地の拡大以外に、砂礫により形成された基盤層における竪穴住居の掘削、あるいは埋葬施設の構築用具として最適の利器と考えられよう。すなわち本遺跡の集落の出現条件について地形的要因と鉄製品の使用の有機的関連を再度提示しておきたい。

確実に同時期の遺構と考えられる主なものは竪穴住居跡5基、集石墓9基、壺棺墓10基である。これらの集落構造については本節3において触れたため、繰り返すことは避ける。

② 古墳時代

弥生時代後期後半頃の集落が廃絶した後、古墳時代後期に至るまでは人間の活動の痕跡をみるとすることはできない。この点については弥生時代の遺構を被覆する堆積層が厚く、しかも砂礫層を各所にレンズ状に包蔵する事実から洪水などの自然の営力により居住地としては適さない条件下にあったことが考えられる。

当該時期の特筆すべき遺構はS X07, 08である。炉跡の可能性を指摘したが、居住遺構を伴っていないかった。

ところで、古墳時代後期以降に埋没したと考えられる掘立柱建物跡が5棟検出されているが、同時期の遺物を伴出した遺構はS B07のみである。したがって集落の存否について明確にする資料は存在しない。

③ 平安時代

平安時代（初期）の年代観はS X13（胞衣埋納遺構）伴出の銅鏡の鋳造年代に拠っている。同遺構については既に水野氏の研究成果を紹介したが、単独では存在しない性格を有する点から近接して所在する掘立柱建物跡2棟（S B06, 08）が共存していた可能性を示唆した。

④ 空白時期の問題

最後に本遺跡における空白時期の土地利用の解明の手掛かりとして、調査の契機となった条里遺構の問題について若干触れておきたい。

現善通寺市域に方格の地割が現存することは從前より良く知られており、本調査の開始時期においてもこの地割がいわゆる条里制の土地区画に基づくものではないか確認すること目的の第

一に掲げて着手したことが事実である。

ところが、巨視的には方格に規格された現地割についても、ミクロな視点に立脚すると細かい地割の乱れを認めることができる。そこで後者の視点から本遺跡周辺の微地形を観察すると、土讃線軌道敷以西においては整然とした方格の地割が存在するが、軌道敷以東および現七王工業用地以北においては規格性を有する土地区画を認めることができない。そこで現存する土地区画の初現が考古学的あるいは文献史学的研究方法によって明らかにできていない以上、即断は危険であるが、本遺跡の軌道敷以東の地区（C地区の主体を成す地区）については方格地割が形成されなかった可能性を考えてみたい。発掘調査によっても土地区画の存在を想起させる規格的な配置の遺構を検出していない事実が存在している。

以下に全くの推察を述べて筆をおくことにする。河川（現金倉川を含む）の流路が一定でなかった時期においては本遺跡地を区画することは不適当であったのではなかろうか。

(註)

- 盛岡秀人氏により提唱された弥生時代後期後半I～III期に相当すると考えられる。盛岡秀人「畿内第V様式の編年細分と大師山遺跡出土土器の占める位置」網干善教他『関西大学文学部考古学研究第5冊・河内長野大師山』、1977年。
- 本稿に用いた「上田町式」と「西ノ辻式」の型式名は都出比呂志氏の編年観に拠っている。都出、1974年。
- 潮見浩・藤田等「中国・四国」和島誠一他『日本の考古学』III、1966年。
- 真鍋昌宏氏は上田町I式に併行する高屋(期)の前段階に牟礼町原遺跡の資料を位置付けている。真鍋昌宏「弥生後期末～古墳前期土器編年について」秋山他、1982年。
- 氏の指摘は以下の通りである。「(略)明らかに第五様式とすべき土器を土師器と扱うような論文や報告書も目につくようになってきた。この混乱は(略)地域の異なる土器をいきなり比較することからくるものである。」都出、1974年。
- 真鍋、1982年。において要Cに分類される遺物である。
- 小西・萬田・松野他、1984年。
- 井藤曉子他『池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書』第2分冊土器編、1979年。
- 廣瀬常雄「日本の古代遺跡8香川」、1983年。に遺物実測図が掲載されている。
- 藤田等「埋葬」和島他、1966年。
- 森貞次郎「埋葬」大場磐雄他「新版考古学講座」第4巻、1979年。
- 近藤義郎「古墳以前の墳丘墓—埴築遺跡をめぐってー」「岡山大学法文学部学術紀要」38史学編、1977年。
- 甲元真之「弥生時代の墓制」大冢初重他「日本考古学を学ぶ」(3)、1979年。
- 西谷正「日朝原始墳墓の諸問題」井上光貞他「東アジア世界における日本古代史講座」第1巻、1980年。
- 都出比呂志「墳墓」佐原真他「岩波講座日本考古学」第4巻、1986年。
- 例え岩崎卓也氏は「埴輪起源論ノート」和歌森太郎他「日本文化史学への提言」、1975年。において、岡山県地方の先秦時代後期の埋葬遺構にみられる「供獻土器」については墓前祭における「神人共食」の儀式に用いられたことを指摘している。
- 藤田、1966年。
- 渡辺誠「埋葬の変遷」江坂輝彌他「古代史発掘2縄文土器と貝塚」、1973年。

19. 石川士郎「川之江市大江・東宮石遺跡発掘報告書」『愛媛考古学』第7号、1984年。同遺跡は金生川河口の幅50m、長さ600mの海岸砂丘上に立地しており、埋葬遺構と考えられる配石遺構が4基検出されている。なお、同資料については石川士郎氏（川之江市松柏公民館）より多大の御教示が得られたのでお礼申しあげるものである。
20. 菅原康夫・小笠原賢「足代遺跡（東原地区C調査区）現地説明会資料（No1）」、1982年。同『足代東原遺跡現地説明会資料B-2調査区を中心として（No2）』、1982年。同遺跡は吉野川北岸の河岸段丘上に形成された扇状地形の扇尖部に宮まれている。総数35基の積石墓が検出されており、弥生時代末から古墳時代初頭（前期）にかけての構築年代観が与えられている。

第26表 穫穴住居跡伴出遺物觀察表(1)

擇因 番号	成形 および 固定 の痕跡								胎 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭 部		調 部		底 部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第94回 1	縦く横ナ ダ。	横ナデ。	横ナデ。						長石含む。 $\frac{1}{4}$ 強存。	埋土中位。				
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	埋土上位。				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	斜ハケ目 (細)。		碧母細片 多量含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	埋土下位。				
4		斜板ナデ。	縦ハケ目。			横指ナデ。	右上リタ タキ目後、 横ナデ。		砂粒を含 まず精緻。 $\frac{1}{4}$ 存。	床面直上。				
5		斜板ナデ。	縦ハケ 目。					横指ナデ。 摂ハケ目。 粗緻。	口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	埋土上位。				
6								横ナデ。	横ナデ。 長石含む。 底部完存。	埋土中位。				
7								斜板ナデ。 縦ハケ目。	長石、石 英含む。 底部完存。	〃				
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗(ナ ダか)。	斜ハケ目。		石英含む。 口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	〃				
9						横板ナデ。	縦、右上 リタタキ 目後、横 ナデ。		長石、石 英含む。 口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	床面直上。				
10						斜ハケ目 (瓶状原 体)。	縦指ナデ。		長石、石 英含む。 元存。	〃				
11						横板ナデ。	縱板ナデ。 板ナデ (瓶状)。	斜ヘラ削 り。	長石、石 英含む。 完存。	〃				
12						斜板ナデ。	摩耗。		砂粒を含 まず精緻。 $\frac{2}{3}$ 存。	口縁部				
13		斜ナデ。	横ナデ。	横、斜ハ ケ目後、横 ナデ。	縦ハケ目 後、横ナ デ。				長石、石 英含む。 縦群。	埋土中位。				
14								斜板ナデ (瓶状原 体)。	縦、斜ハ ケ目。 長石、石 英含む。 底部完存。	埋土上位。				
15								摩耗。	右上リタ タキ目 (摩耗)。	大粒長石、 石英含む。 底部完存。 縦群。				
17	横ナデ後、 ヘラ搾壓 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。						長石、石 英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	埋土中位。				
18				縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。 横ナデ。				長石、石 英含む。 頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	埋土下位。				
19		摩耗。	横ナデ。			摩耗。	板ナデ (赤託)。		長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	埋土上位。				
20	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	縦ハケ目 後、横ナ デ。			縦板ナデ。	縦、左上 リタタキ 目後、縦 ハケ目。		長石含む。 完存。	床面直上。				
21		斜ハケ目。	横ナデ。			斜板ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	板ナデ (瓶状)。	長石、石 英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	埋土。				

第27表 穴住居跡伴出遺物観察表(2)

種別 番号	成形および調整の痕跡										地 土	遺 存 度	出土位置			
	口縁部	口縁部		瓶 部		胴 部		底 部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第94回 22		横、斜板 ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	縱ナデ。	斜板ナデ。	斜ナデ。	長石、石 英含む。	ほぼ完存。	埋土上位。				
23		斜ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ (指頭痕 残す。)	縱ナデ。	斜ナデ (指頭痕 残す。)	長石含む。	胴部、底 部完存。	?				
24		横ナデ。	横ナデ。			縱、横ナ デ。	縱、横ナ デ。	縱、斜ナ デ (指頭痕 残す。)	縱、斜ナ デ (指頭痕 残す。)	長石少見 含む。	胴部、底 部完存。	?				
25								縱ナデ。	横ナデ。	長石、石 英含む。	脚台完存。	埋土。				
26								横ナデ。	横ナデ。	長石、石 英含む。	底部完存。	?				
27								縱ナデ (指頭痕 残す。)	縱ナデ。	石英含む。	底部完存。	埋土上位。				
28								斜板ナデ。	横タキ 目。	石英含む。	底部完存。	炉跡。				
第96回 1		横ナデ。	横ナデ (指頭痕 残す。)	横ナデ。	横ナデ。	縱ハケ目 後、縫ヘ ラミガキ。				長石含む。 粘結。	1/8存。	埋土。				
2	横ナデ。	(立上り) 横ナデ。	[立上り 化、ハラミ 化、一部破 損。]	横ナデ (一部破 損ナデ。)	横ナデ。	縫ハケ目、 縫ヘラミ ガキ後、 横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。		長石、石 英少見含 む。	1/3存。	床面直上。				
3	横ナデ。	横ハケ目。	縫ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、石 英含む。	1/6存。	埋土。				
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	右上り、 左上り、 横タタキ 目。			長石、石 英含む。	1/4存。	?				
5										雪母微細 片多量含 む。粘結。	1/8存。	?				
6								縫、横ナ デ。	横、斜ナ デ。	長石、石 英含む。	底部2/3存。	?				
7						斜、横指 ナデ。	斜、板ナ デ。	横指ナデ。	横板ナデ。	長石含む。	2/4存。	?				
8		斜指ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜指ナデ (指頭痕 残す。)	斜ハケ目。	斜指ナデ (指頭痕 残す。)	長石、石 英含む。	1/4存。	?				
9								横板ナデ。	縱板ナデ。	長石含む。	底部1/3存。	?				
第97回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦指ナデ。	横ナデ。	縫ヘラ削 り。	縫ハケ目。			碧母微細 片多量含 む。粘結。	1/3存。	土器集中 部。				
2	横ナデ。	縫、斜ナ デ。	縫、斜行 削痕(指 頭痕残す。)							長石含む。	1/28存。	埋土。				
3	(立上り) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(下部)縫 ヘラ削り (指頭痕 残す。)	縫ハケ目。			長石、碧 母微細片 含む。	1/6存。	?				
4	斜ナデ後、 凹線施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	縫ハケ目 後、横ナ デ。	縫ヘラ削 り。	斜ハケ目。	縫ハケ目。	雪母細片 含む。横 板。	充存。	床面直上。					

第28表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(3)

標印番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁部		縁部		羽部		底部		土	遺存度		
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第29回 5	横ナデ後、凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	(上)横ヘラ削り。(下)縦ヘラ削り。	縦ヘラ削り。	縦ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。	長石細片、骨母細片含む。	完存。	ベッド状遺構床面上。
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ(指頭痕残す)。斜ハケ目。				長石、石英含む。	半存。	土器集中部。
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦、斜ヘラ削り。	縦ヘラミガキ。	縦ヘラ削り。	縦ヘラミガキ。	骨母微細片含む。	半存。	リ。
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。	横ヘラ削り。	縦ハケ目。		砂粒を含む。	半存。	リ。
第30回 9		横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	斜板ナデ。			長石、石英含む。	半存。	リ。
10						斜板ナデ(指頭痕残す)。	縦ナデ。	斜指ナデ。	斜ハケ目。	長石、石英多量含む。	底部完存。	北東柱穴。
11						(上部)横板ナデ。(下部)横ハケ目。	削離。	縦指ナデ(指頭痕残す)。	斜板ナデ。	長石、石英含む。	底部完存。	土器集中部。
12								斜ヘラ削り、縦、横、斜ハケ目。	斜ヘラミガキ。	長石、石英含む。	底部半存。	リ。
13						縦指ナデ。	縦ナデ。	削離。		長石、石英含む。	底部半存。	リ。
14								斜ヘラ削り。	左タタキ後、板ナデ。	長石含む。	底部完存。	リ。
15						横ハケ目。	横ハケ目。	斜ハケ目(指頭痕残す)。		長石含む。	底部完存。	ベッド状遺構床面上。
16								斜ナデ。	横タタキ目。	長石含む。	底部完存。	土器集中部。
17								摩耗。	指頭痕残す。	長石、石英多量含む。	底部完存。	リ。
18								摩耗。	摩耗。	長石、石英含む。	底部半存。	リ。
19								横ナデ	縦ヘラミガキ後、横ナデ。	長石含む。	底部半存。	埋土。
20	横ハケ目。	縱板ナデ。			横ハケ目。	縱板ナデ。	横ハケ目。	斜板ナデ。	長石、石英含む。	半存。	ベッド状遺構床面上。	
21	横ナデ。	横ナデ。	ほとんど未調整。						長石、石英含む。	弱存。	埋土。	
22	横ナデ。	指頭痕残す。	指頭痕残す。			縱板ナデ。	指頭痕残す。	板ナデ(板状)。	指頭痕残す。	長石、石英含む。	半存。	リ。
第31回 23	摩耗。	縦ナデ。	縦ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	半存。	ベッド状遺構床面上。
24	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石含む。	弱存。	埋土。
25	モナデ。	指頭痕残す。	指頭痕残す。							口縁部を一部欠くがほぼ完存。	リ。	
26	摩耗。	縦ナデ。	縦ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	半存。	リ。
27	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	大粒長石、石英含む。	弱存。	リ。

第29表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(4)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		脚部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第三回 28					斜ハケ目 後。斜板 ナデ。	板ナデ。	斜板ナデ 後。斜ナ デ。				長石含む。	底部充存。	土器集中 部。			
29					横ハケ目 後。ナデ。	横、右上 りタタキ 後。板 ナデ。	縦、横、 斜ナデ。	左上り。 右上りタ タキ。板 ナデ。	長石含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	埋土。					
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		縦凸ナデ (指頭痕 残す。)	指頭痕多 数残す。	縦、横、 斜ナデ。	縦、横、 斜ナデ。	骨母多量 含む。	ほぼ完存。	埋土。					
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	縦ハケ目。	横板ナデ。	縦ハケ目。	長石、石 英含むが 種類。	脚部以下 充存。						
32	横ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。		指頭痕残 す。	指頭痕残 す。	指頭痕残 す。	指頭痕残 す。	長石、石 英含む。	完存。	ベッド状 遺構床面 直上。					
33	横ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。		指頭痕残 す。	横ナデ。	指頭痕残 す。	横ナデ。	長石、石 英含む。	完存。	埋土。					
34					縦、横斜 ナデ。	斜板ナデ。	縦指ナデ。	斜板ナデ。	長石、石 英含む。	底部充存。	土器集中 部。					
35					斜ナデ。	斜板ナデ。	縦指ナデ。	斜板ナデ。	長石、石 英含む。	底部充存。						

第30表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(5)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		底部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第四回 26					横へラ引 り。斜ナ デ。	横ナデ。	横ナデ後、凹線1条 施す。				長石含む。	1/3存。	埋土下位。			
第四回 29				全体に摩 耗。		シボリ目。	縦へラミ ガキ。				長石、石 英含む。	ほぼ完存。	ベッド状 遺構床面 直上。			
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石、石 英含む。	1/4弱存。	埋土。			
22					縦ナデ。 シボリ目。	縦へラミ ガキ。	横ナデ。				長石含む。	脚部ほぼ 完存。	土器集中 部。			

(註)

観察表(第26~128表)には壺・甕・高杯・鉢形土器及び土師器、須恵器のうち普普通的な器形のみを一括化している。

第31表 土塙伴出遺物観察表

標図 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第1回 1	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後。斜 ハケ目。	縦、斜ハ ケ目。			骨母細片 含む。	1/2存。	埋土。			
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削 り。	縦、斜ハ ケ目。黒 斑。	斜ナデ。	縦ハケ目。	骨母細片。 石英含む。	1/2存。	〃			
3	横ナデ。	斜ハケ目 後。横ナ デ。	横ナデ。		縦、斜ヘ ラ削り。	斜ハケ目。	縦、斜ヘ ラ削り。	縦ハケ目。	骨母多量 含む。	完存。	〃			
4							準毛。	廢毛。	石英含む。	底部1/2存。	〃			
5		横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	縦、斜ハ ケ目。	指頭痕残 す。	横タクキ 目後。縦、 斜ハケ目。	石英少量 含む。	1/16存。	〃			

第32表 第1号集石墓伴出遺物観察表(1)

種類 番号	成形および調整の痕跡								地 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		蓋部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
新断頭 1			磨一ナダ (頭部合 成用)。横 板ナダ。	斜一ナダ (下部 み取 ハケ ナダ)。					長石、石 英含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存 在。	封土。			
2		横ナダ。	横ナダ。		斜ハケ目 後、利ヘ ラミガキ。		斜ハケ目 (頭部) 後、利ヘ ラミガキ。 (底脚不 明跡)。		砂粒合 成粗粒	$\frac{1}{6}$ 存 在。	〃			
3		横ナダ。	横ナダ。		横ハケ目 後、横ナ ダ。		斜ハケ目 後、横ナ ダ。		長石含む。	$\frac{1}{16}$ 存 在。	〃			
4		斜ハケ目 後、横ナ ダ。	横ナダ。						長石、石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存 在。	主体部埋 土。			
5		横ナダ。	摩耗著 い。	横ナダ (ナダ端 に相沿 るハケ目 か)。	横ナダ。	(上部)斜 ヘラ削り 後、横ナ ダ。	(上部)横 ナダ。		長石、雪 母含む。	$\frac{1}{4}$ 存 在。	封土。			
6		横ナダ。	横ナダ。		(上部)斜 ナダ(底 部底へラ 削りか)。		(上部)斜 ナダ(底 部底へラ 削りか)。		長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存 在。	〃			
7	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。						長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存 在。	〃			
8		横ハケ目 (複数 の原体)。	横ハケ目 (細)後、 横ナダ。			(上部)横 ナダ。	(上部)右 上リタ キ目。		長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存 在。	〃			
9	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ (粗い調 整)。			斜ハケ 目(細)後、 横ナダ。			雪母細片 多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存 在。	〃			
10	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。		斜ヘラ削 り後、斜 ナダ。	斜ハケ目 (底細)。			長石少量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存 在。	主体部埋 土。			
11	摩耗著 い。	横ナダ。	横ナダ。						長石、石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存 在。	封土。			
12		横ハケ目。	横ナダ。	横ハケ目。					長石、石 英含む。	$\frac{1}{10}$ 存 在。	〃			
13						斜面残 す。	摩耗著 い。		長石、石 英含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存 在。	〃			
14						斜板ナダ。	斜ヘラミ ダ。		雪母含む。	底部完存。	〃			
15						横、底 ハケ目(太) 後、横ナ ダ。	横ハケ目 後、横ナ ダ。		長石、雪 母含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存 在。	〃			
16						底板ナダ。	横ハケ目 後、底板 ナダ。		石英含む。	底部 $\frac{1}{3}$ 存 在。	〃			
17						ハケ目 (圓状)。	斜ナダ。		雪母少量 含む。	底部完存。	〃			
18						横ナダ (底脚 残す。 一部斜 ハケ目)。	横ハケ目 (底)後、 横ナダ。		長石、石 英含む。	底部完存。	〃			
19						斜ハケ目 (太)。	斜ハケ目 (底)後、 横ナダ。		長石含む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存 在。	〃			
20						底板ナダ (下→ 上)。	底板ナダ。		雪母少量 含む。	底部完存。	〃			

第33表 第1号集石墓伴出遺物観察表(2)

博団 番号	成形および調整の痕跡								胎 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第33回 21							斜ナデ(指ナデ か)。	板ナデ(柄状原 体によるか)。	骨母細片 含む。	底部はば 充存。	封土。			
22							斜ハケ目 (板・太の 2種類 有)。	斜、斜ナ デ(指ナ デか)。	長石。石 英含む。	底部完存。	〃			
23							斜ナデ。	板、お上り ナデ(指 ナデ)。	長石。石 英含む。	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
24							ハケ目 (腰状)。	指頭底残 す。未調 整。	長石。石 英含む。	底部完存。	〃			
25					板、横ナ デ(ほと んど未調 整)。	斜、横ナ デ(ほと んど未調 整)。			長石。石 英含む。	完存。	封土。			
26					横ハ ケ目後、 横、斜ナ デ。	横ハ ケ目後、 横、斜ナ デ。	指、斜ハ ケ目後、 横、斜ナ デ(指頭 残す)。	指、斜ハ ケ目後、 横、斜ナ デ(指頭 残す)。	長石。石 英含む。	$\frac{3}{4}$ 存。	封土。			
27	横ハケ目 後、横、斜 ナデ。	横ナデ。			横ハ ケ目後、 横、斜ナ デ。	横ハ ケ目後、 横、斜ナ デ。	全面に指 頭残す。	横、斜ナ デ(指 か)。	長石含む。 ほぼ完存 (口縁部 欠)。	〃				
28						全面に指 頭残す。	斜ハケ目 (細)、斜 ナデ。	斜、屈ナ デ(指頭 残す)。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。	長石。石 英含む。	底部 $\frac{3}{4}$ 存。	〃		
29					板、斜ハ ケ目(太)。	板、斜ハ ケ目(太)、 ガキ。	屈頭底残 す。	ナデ(粗 い調整)。	長石少含 む。	ほぼ完存 (胴部 $\frac{1}{2}$ 欠)。	〃			
第33回 32	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	(上腰部) 横ハケ目 (細)後、 ナデ(粗)、 横ナデ。	(上腰部) 横ヘラミ ガキ。				砂粒を含 まず精緻	$\frac{1}{8}$ 存。	主体部埋 二。			
33	斜ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ。	屈ヘラミ ガキ後、 横ナデ。	横、斜ヘ ラミガキ。				砂粒を含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。			
34	横ナデ後、 沈線上の 文様施す。	横ハケ目 (粗)。	右上リタ グキ目後、 横ナデ。		斜指ナデ。	屈指ナデ。			骨母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	〃			

第34表 第1号集石墓伴出遺物観察表(3)

博団 番号	成形および調整の痕跡								胎 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第33回 33			ヘラミガ キ後、斜 ナデ。	摩耗薄 い。一部 にヘラミ ガキ後、 斜ナデ。					長石含む。 杯部 $\frac{1}{8}$ 存。	封土。				
34				(上腰部) 横ナデ(粗)、 屈ヘラミ ガキ。	(上腰部) 横ナデ(粗)、 屈、斜ハ ケ目後、 横ナデ。	屈、斜ハ ケ目後、 横ナデ。			長石。石 英含む。	脚部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			

第35表 第2号集石墓伴出遺物観察表(1)

辨別番号	成形および調整の痕跡										地土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第36回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、 骨板波状文施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)。					長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
2	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 骨板波状文施す。 (立上部) 横ナデ。	横ナデ後、 骨板波状文施す。 (立上部) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、 骨板波状文施す。 (立上部) 横ナデ。	横ハケ目 (縫)。					長石、石英含む。 口縁立上 り部分を 欠くが、 ほぼ完存。	封土上位。				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)。					長石、石英 片含む。	封土。				
4	横ナデ後、 骨板波状文施す。	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ。								長石、雪母含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	〃				
5	骨板波状文施す。	横ナデ。	横ナデ。								大粒の長石、石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	〃			
6	横ナデ後、 骨板波状文施す。	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)後、 ナデ。					長石、石英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
7	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)後、 横ナデ。					長石、石英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	〃				
8	横ナデ後、 骨板波状文施す。	横ナデ。	横ナデ。								長石含む。 $\frac{1}{12}$ 存。	〃				
9	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)。					長石、石英含む。 $\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。				
10	横ナデ後、 花線2条施す。	横ナデ後、 花線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横板ナデ後、 横ナデ。	横板ナデ後、 横ナデ。	横ナデ後、 横ナデ。				長石多量含む。 $\frac{1}{5}$ 存。	封土。				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	横ハケ目 (縫)後、 横ナデ。				長石、石英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	〃				
12		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナデ。	横ハケ目。					長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
13	横ナデ。	横ナデ後、 指頭痕残す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	土地埋土。				
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラ削り。	(上部)横 板ナデ後、 指頭痕残す。 (下部)斜 板ナデ。				長石含む。 $\frac{1}{2}$ 存。	封土下位。				
15		横ナデ。	摩耗。								長石繊片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	土地埋土。			
16	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。								長石含む。	口縁部は ほぼ完存。	封土。			
17	横ナデ後、 ヘラミガキ。	横ナデ。	横ナデ。								砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。			
18	横ナデ。	沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナデ。					長石繊片 含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。			
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目。 摩耗著しい。					長石多量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃			
20	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		斜ハケ目。 摩耗著しい。					長石繊片 多量含む。	ほぼ完存。	土地埋土。			

第36表 第2号集石墓伴出遺物観察表(2)

擇回 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第10回 21	横ナデ後、沈線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(ハケ目星状を呈す)。					長石。石英含む。	1/4存。	封土。			
22	横ナデ(ハケ目星状全体が)。	横ナデ。	横ナデ。	(立上部)横ナデ(立上部以降下部横ナデ)。	横ナデ(立上部以降下部横ナデ)。	横ハケ目星状(立上部以降下部横ナデ)。	横ハケ目星状(立上部以降下部横ナデ)。	底ハケ目後、横ナデ(小口底張体)。	長石。石英含む。	頭部以上完存。	土塙埋土。			
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石。石英母磁片含む。	1/5存。	封土上位。			
第11回 24	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目(端部はハケ目後、横ナデ)。	底ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		長石。石英含む。	1/2存。	土塙埋土。			
25	横ナデ後、凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	主に横へラミガキ。	底へラミガキ。				砂粒をほとんど含まず精細。	1/4存。	封土。			
26	横ナデ後、沈線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、貼付突部。				長石多量含む。	1/4存。	n			
27			横ナデ。	底ハケ目。					長石繊片含む。	頭部完存。	封土下位。			
28			横ナデ。	底ハケ目貼り付け姿(刻目施す)。	底へラミガキ。	横ナデ。			長石含む。	1/4存。	封土。			
29			横ナデ。	底ハケ目後、底へラミガキ。	横ナデ。	底へラミガキ。			長石。石英含む。	頭部完存。	n			
30			横ナデ。	底ハケ目(題)後、横ナデ。	底ハケ目(大)。				長石。石英繊片多量含む。	頭部完存。	封土上位。			
31			斜ハケ目(口縁部直近横ナデ)。	底ハケ目後、横ナデ(横ナデ者)。	底ハケ目(横ナデ者)。	指面痕残す。	横ナデ。		長石繊片多量含む。	頭部完存。	n			
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。				長石。石英多量含む。	1/2存。	n			
33	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。						長石含む。	1/8存。	封土。			
34	横ナデ。	横ナデ。	底へラミガキ。						石英含む。	4/5存。	n			
35	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	底ハケ目。			長石。石英含む。	1/2存。	n			
第12回 36	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		(上部)横ナデ。(下部)底へラミガキ。	底ハケ目。			長石。骨母含む。	1/4存。	封土中位。			
37	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		指ナデ。	底ハケ目。			骨母繊片多量含む。	1/4存。	n			
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		底指ナデ。	底ハケ目(底)。			骨母繊片多量含む。	1/4存。	封土。			
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		(上部)横ナデ。(下部)底指ナデ。	底ハケ目。			長石。石英含む。	1/5存。	封土中位。			
40	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	底へラミガキ。	斜指ナデ。		砂粒をほとんど含まず精細。	1/4存。	封土。			

第37表 第2号集石墓伴出遺物観察表(3)

標因 番号	成形および調整の痕跡								地 土	追存度	出土位置	
	口縁部		頭部		胸部		底部					
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第四回 41	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 りか指ナ デ。	横。右上 タキ目後。 頭ハケ目 (縫)。			粗粒。	1/8存。	封土。
42	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							粗粒。	1/8存。	封土下位。
43	横ナデ。	横ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	横ナデ。			頭ハケ目 後、横ナ デ。	右上リタ タキ目後、 頭ハケ目。			長石細片 含む。	1/8存。	封土上位。
44	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	頭ハケ目 後、ナデ。			骨母含む。	1/5存。	封土。
45	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			頭ハケ目 後、指ナ デ。	頭ハケ目 (縫)。			砂粒をほ とんど含 まない。	1/4存。	#
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ。	指ナデ。			砂粒をほ とんど含 まない。	1/5存。	#
47		横ナデ。	右上リタ タキ目後、 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	頭ナデ。	横。左上 タキ目。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1/4存。	#
48		横ナデ。	横ナデ。			ナデ (斜ヘラ 削先行 き)	右上リタ タキ目後、 頭ナデ。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	頭部1/5存。	封土上位。
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指ナデ (指頭痕 残す)。	摩耗。			長石、石 英含む。	1/6存。	封土。
50		横ナデ。	摩耗。			摩耗。	斜ハケ目。			長石、石 英含む。	扇部1/2存。	土地埋土。
51	横ナデ後、 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後、横ナ デ。	横ハケ目 (タキ目 が先行 か)。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1/4存。	封土。
52	横ナデ後、 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)横 ナデ。	(上部)頭 ハケ目。 (縫)。			長石含む。	1/5存。	#
53	粗い成形、 調整。	横ナデ (粗い調 整)。	指頭痕残 す。			頭指ナデ。	頭ヘラミ ガキ。			長石含む。	1/4存。	封土上位。
54		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石含む。 骨母少含む。	1/4存。	封土。
第四回 55	摩耗。	摩耗。				頭ヘラ削 り。	摩耗。			長石多量 含む。	1/4存。	#
56		横ナデ。	横ナデ。			頭指ナデ。	横ナデ。			長石含む。	1/8存。	封土上位。
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	頭ハケ目。			骨母細片 含む。	頭部1/5存。	封土。
58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	頭ハケ目 後、斜ナ デ。			長石含む。	1/5存。	#
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 (太)後、 横ナデ。	頭ハケ目 (縫)後、 横ナデ。			多量の長 石、石英、 骨母含む。	1/2存。	#
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							骨母含む。	1/8存。	#

第38表 第2号集石墓伴出遺物観察表(4)

特区 番号	成形および調整の痕跡										地 土	道 存 度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第10回 65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	斜ハケ目。				長石、雲母含む。	1/6存。	封土。			
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		(上部)縫 ヘラ削り。	斜ハケ目。				雲母細片 多量含む。	1/5存。	?			
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石含む。	1/4存。	封土上位。			
68	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)縫 板ナデ。	斜タタキ 目後、縫 ハケ目。				砂粒をほ とんど含 よぎ粗面。	1/6存。	封土中位。			
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縫ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	縫、横、 斜ハケ目。	縫ハケ目 (縫)。			雲母細片 白色。	1/4存。	封土上位。			
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	縫ナデ。	縫ハケ目 (縫)。				長石粗片 含む。	1/4存。	土塗埋土。			
71	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	縫ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	縫ハケ目 (縫)。	指頭痕残す。		長石含む。	1/5存。	封土上位。			
72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				指ナデ。	縫ハケ目 (縫)。			雲母細片 多量含む。	1/8存。	?			
73	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				斜横ナデ。	縫ハケ目。			雲母含む。	1/8存。	封土。			
74	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								雲母含む。	1/5存。	?			
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				斜指ナデ。	縫ハケ目。			長石含む。	1/5存。	?			
第11回 76						(下部)縫 ハケ目。					長石、雲 母多量含 む。	底部完存。	封土上位。			
77									縫板ナデ。	縫ハケ目 (縫)。		長石、雲 母細片含 む。粗面。	底部完存。	封土。		
78									縫ヘラ削 り。	縫ハケ目 (縫)。(底 部)タク キ目。	雲母含む。	1/2存。	?			
79									取、横、 斜ハケ目 (2種)。	縫ハケ目 (縫)。(底 部)ハケ 目。	雲母多量 含む。	1/3存。	?			
80									縫指ナデ。	縫指ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	1/4存。	?			

第39表 第2号集石墓伴出遺物観察表(5)

標因 番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁埋部	口縁部		底部		底部		底面								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第4回 51								縫、斜ハケ目。		粘、アリ サカナ目。 縫下部の み幅狭 い。	長石、石 英含む。	1/2存。	封土中位。			
52								斜ハケ目。 後、ヘラ ミガキ。(丁寧)。		斜ハケ目。	長石含む。	底部完存。	封土。			
53								斜板ナギ。		縫、斜ハ ケ目。	長石、石 英含む。	底部完存。	〃			
54								摩耗著し い。		縫ヘタミ ガキ。	長石、石 英多量含 む。	底部完存。	〃			
55								ハケ目 (疲状)。		粘、横ハ ケ目。 板ナギ、 (筋)。	長石含む。	1/2存。	封土上位。			
56								(下部)斜 ヘラ削り。	(下部)縫 板ナギ。	(底部)指 頭痕残す。	(底)左上 右下、板 ナギ、ヘ ラミガキ。	長石、骨 母板片含 む。	底部完存。	〃		
57								(下部)斜 指ナギ。	縫ハケ目 (筋)。	縫ヘタミ ガキ後、 斜ナギ。	縫ハケ目 (筋)。	長石含む。	底部完存。封土。			
58								縫ナギ。	斜ハケ目。	斜板ナギ。	砂粒を含 まず精緻。	洞部1/3存。 底部完存。	〃			
59								縫指ナギ。	縫ハケ目。	縫ハケ目。	長石含む。	1/2存。	〃			
60								縫、横ナ ギ(板状 原体かく)。		右上りタ キ目 (太)。	長石含む。	底部完存。封土下位。				
61								横、斜指 ナギ。		横、斜指 ナギ。	砂粒を含 まない。	4/5存。	封土上位。			
62								斜ナギ (指頭痕 残す)。		斜ナギ。	長石含む。	底部完存。封土。				
63								斜指ナギ。	縫、斜ハ ケ目。	長石、2/3 母少量含 む。	1/3存。	〃				
64								(下部)横 ハケ目 (圓状原 体)。	(下部)縫、 横指ナギ。	横ハケ目。	縫、横指 ナギ。	長石含む。	1/2存。	〃		
65								摩耗。		縫タタキ 目(底まで)。	長石多量 含む。	底部完存。	封土上位。			
66								斜ハケ目 (太)、(底 部)板ナ ギ。	摩耗。	長石含む。	1/2存。	封土。				
67								筋状原体 による縫、 斜ハケ目 後、ナギ。	縫ハケ目 (不明瞭)。	長石、石 英少量含 む。	1/2存。	〃				
68								縫、斜板 ナギ。		横、右上 リタキオ リ後、斜 板ナギ。	長石含む。	1/2存。	〃			
69								斜ハケ目。		斜板ナギ。	長石、石 英含む。	1/2存。	〃			
70								斜指ナギ (底部)指 頭痕残す。		斜ナギ。	石英含む。	底部完存。	〃			

第40表 第2号集石墓伴出遺物観察表(6)

種類 番号	成形 および 固定の痕跡								胎、土	遺存度	出土位置		
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
新101								斜、横ナデ。	斜ハケ目(細)(底まで)。	石英含む。底部完存。	土壤土。		
102								斜ハケ目(細)。	斜ナデ(粗い調節)。	長石含む。底部完存。	封土。		
103								指頭痕残す。	斜ヘラミガキ後、横ナデ。	砂粒をほんと含まず精緻。	〃		
104								横指ナデ。	摩耗。指頭痕残す。	石英含む。底部完存。	〃		
新105	105							底ヘラミガキ。	底ヘラミガキ。	石英多量含む。底部完存。	封土上位。		
106						(下部)底ヘラミガキ。	(下部)底ハケ目。			長石。石英含む。	底部完存。	〃	
107						(下部)横ナデ。頭皮残す。	(下部)底ナデ。			長石碎片少量含む。	脚台部完存。	封土。	
108						(下部)底斜ハケ目(細)底取ナデ。	(下部)底ハケ目(細)。	ハケ目	底ハケ目。	長石少量含む。	底部完存。脚台部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃	
109						底指ナデ。	指頭痕残す。			砂粒をほんと含まず精緻。	脚台部完存。	〃	
110						指頭痕残す。	摩耗。			長石含む。	脚台部はば完存。	〃	
新106	110	横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。			横、斜ヘラミガキ。	斜ハケ目(細)。		長石少量含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	〃	
111	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。			長石。石英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	〃	
112	横ナデ。	横ナデ。	底、横。底ヘラミガキ。			底ヘラミガキ。	底、横。斜ヘラミガキ。			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	〃	
113	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラミガキ。	摩耗。			砂粒をほんと含まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	〃	
114	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	底ハケ目。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。	
115	摩耗。	横ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目(細)後、底ヘラミガキ。	摩、右上り、左下り、右上り、左下り、右上り、左下り、右上り、左下り。			長石。石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。	
116	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	不明瞭。				骨母多量含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	〃	
117		斜ハケ目(細)後、斜ナデ(不明瞭)。	斜ハケ目(細)後、底ナデ。			斜ハケ目(細)後、底ナデ。	斜ハケ目(細)後、斜ナデ。			長石。石英多量含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	〃	
118	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目後、横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	〃	
119		横ナデ。	横タキ目。横ナデ。			底ハケ目。	底板ナデ。			長石碎片含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	〃	

第41表 第2号集石墓伴出遺物観察表(7)

神社番号	成形および調整の痕跡								施土	道存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		裏塙部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第15番 111	横ナデ。	横ナデ。 横ハケ目後、 内面、外 面、 (半筋文)施 す。	横ハケ目後、 内面、ナデ か。	底ヘラミ ガキ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	封土上位。			
112	横ナデ。	横ナデ後、 凹線4条 施す。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後、 斜ハケ目。				砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。			
113	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。					砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	#			
114	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、碧 母細片合 む。精緻。	$\frac{1}{3}$ 存。	#			
115	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。			
116	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部完 存。	封土。			
117	斜ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。	斜ハケ目 (相)後、 底ヘラミ ガキ。斜 頭頭ナデ。	斜ハケ目 (相)後、 底ヘラミ ガキ。斜 頭頭ナデ。					長石、石 英少量含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。			
118	摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目 (太)。					長石多量 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	#			
119	斜ナデ。	斜ナデ。	斜、横ナ デ。	斜ナデ。					石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	#			
120	横ナデ後、 沈線1条 施す。	底ヘラミ ガキ。	底ヘラミ ガキ。						長石多量 含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	#			
121				(上部)底 處ナデ (下部)横 ナデ。	(上部)底 處ナデ (下部)横 ナデ。	(上部)底 處ナデ (下部)横 ナデ。	斜ヘラミ ガキ。斜 頭頭ナデ。	長石、石 英含む。	脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土。				
122				(上部)横 ハケ目。 (下部)横 ナデ。	(上部)横 ハケ目。 (下部)横 ナデ。	(上部)横 ハケ目後、 斜頭頭ナ デ。	斜ナデ。	長石、碧 母細片合 む。	脚端部 $\frac{1}{8}$ 存。	#				
123				斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	底ヘラミ ガキ。	内外面とも横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	脚部を欠 くが脚部 の道存度 は良。	封土上位。			
124				横ハケ目。	底ヘラミ ガキ。			長石、石 英少量含 む。	脚部完存。	封土。				
125				シボリ目。 横ナデ。	(上部)横 ナデ。(下 部)横 ナデ。	横ナデ。	底ヘラミ ガキ。	長石、碧 母細片合 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。				
126				横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	底ヘラミ ガキ。	長石をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	#				
127				横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	底ヘラミ ガキ。	砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	#				
128				斜ナデ。	底ヘラミ ガキ。	横ナデ。	底ヘラミ ガキ。	碧母合む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。				
129				斜ハケ目 後、斜ナ デ。	斜ナデ。	斜ナデ。	底ヘラミ ガキ。	碧母合む。	$\frac{1}{6}$ 存。	#				

第42表 第2号集石墓伴出遺物觀察表(8)

標目 番号	成形および調整の痕跡								胎土	道存度	出土位置			
	口縁部		頸部		調部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第15回 149	横ナデ後、 沈編1系 迄す。	横ナデ。	横ナデ後、 波状にへ タミガキ。						砂粒を含 ます粘土。	1/6存。	封土。			
141	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラミ ガキ。	摩耗。			雲母含む。 小片。	II			
142	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	履ハケ目。			長石。石 英含む。	II			
143	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			「口縁部 後、小口状 形(下部)」 横ナデ。	履ハケ目。			長石細片 少量含む。	1/3存。			
144	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ目 後、横ナ デ。			斜ハケ目。	履ハケ目 (鉛)。	摩耗。	指頭痕残 す。(底) 指ナデ。	長石細片 含む。	宝形(口 縁部一 部欠)。			
145	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			凝板ナデ。	履ヘラ削 り後、硬 ナデ。		指頭痕残 す。	長石細片 含む。	1/4存。			
146		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ (指頭痕 残す)。	横ナデ。			石英含む。	1/3存。			
147						摩耗。	横タタキ 目。摩耗。	摩耗。	横タタキ 目。摩耗。	長石。石 英含む。	口縁部を 欠くがほ ば完存。			
148						摩耗著し い。	摩耗著し い。			長石多量 含む。	1/4存。			
第15回 149						(下部)斜 ハケ目。	(下部)履 ナデ。	指頭痕残 す。	鐵指ナデ。	砂粒を含 ます。	底部完存。			
150						板へラ削 り((下上))	斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石。石 英多量含 む。	底部完存。 土埋埋土。			
151						履へラ削 り後、ハ ク目。	履ハケ目。	履へラ削 り後、指頭 痕残す。	凝ナデ。	長石。雪 母含む。	調部1/2弱 存。			
152							斜ハケ目 (太)。		履ハケ目 (底)施成 前穿孔4 孔。	長石。石 英含む。	底部完存。			
153								凝指ナデ。	鐵指ナデ。	長石細片 含む。	底部完存。			
154	横ナデ。	横ハケ目 後、凝ナ デ。	横タタキ 目(太)。			(上部)凝 ナデ。	(上部)凝 ナデ。			砂粒を含 ます。	1/4存。			
155		横ハケ目 横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	一部斜ハ ケ目後、 横ナデ。			長石含む。	1/5存。			

第43表 第3号集石墓伴出遺物観察表(1)

辨別番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁底部	口縁部		頸部		肩部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第43号 1	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。			長石多量含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	西部壇壝。				
2	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	縦、斜ハケ目。		長石、骨格細片多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	粗い調整。	縦ハケ目(太)。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。				
4	横ナデ後、凹線2条施す。	横ナデ。	縦ハケ目後、横ナデ。	横ナデ(板)。	縦板ナデ(縦ハケ目先行)。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
5	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ(斜目施す)。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目(縦)後、横ナデ。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	?				
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。				
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片含むが精緻。	$\frac{1}{7}$ 存。	主体部埋土。				
8	横ナデ後、沈線3条施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。				
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。				
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒をほんのり含まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	主体部埋土。				
12	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。							長石細片含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。				
13	横ナデ(斜目施す)。	横ナデ(斜目後)。	横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。							長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	主体部埋土。				
15	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ハラミガキ。					長石多量含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土上位。				
16	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。				
17	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。					長石、石英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。				
18	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土上位。				
19	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。				
20	横ナデ後、竹管文施す。	剥落。	剥落。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。				

第44表 第3号集石墓伴出遺物観察表(2)

辨別 番号	成形および調整の痕跡										地 土	遺存度	出土位置		
	口縁部	頭部		胸部		底部		内面	外面						
		内面	外面	内面	外面	内面	外面		内面	外面					
第1回 21	横ナデ後、 ヘラ彫刻 又施す。	横ハケ目。	横ハケ目。	横ハケ目。	横ハケ目後、横ナ デ。							長石、碧 母片含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。	
22	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。									長石、碧 母片含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃	
23	横ナデ。	摩耗。	摩耗。									長石、石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。	
24	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	指ナデ。	縱ハケ目。							石英含む。	$\frac{1}{7}$ 存。	〃	
25	横ナデ後、 芯線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(ハ ケ目先行)。						長石、石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土中位。	
26	横ナデ(小 口状 原体)。	横ハケ目 後、横ナ デ(板)。	横ナデ。									長石、石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。	
27	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。									長石、石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。	
第2回 28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、碧 母片含む。	$\frac{1}{9}$ 存。	封土中位。	
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(一 茎絆 ヘラミガ キ)。									長石多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。	
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。									長石含む。	$\frac{1}{9}$ 存。	封土中位。	
31	横ナデ後、 輪彫刻 又施す。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。									長石、石 英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。	
32	横ナデ後、 ヘラ彫刻 状2条 施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。									長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。	
33	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ(初 ハケ目 先行)。									長石含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土下位。	
34	横ナデ後、 ヘラ彫刻 状2条 施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ヘ ラミガキ。	斜ハケ目。								砂粒をほ とんど含む。 また精緻。	口縁部 を欠くが $\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。	
35	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。沈 没施す。									長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃	
36	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。									長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃	
37	(立上部) 横ナデ (立上部) 横 (立上部) 横ナ デ。		指ナデ。	縱ハケ目 後、横ナ デ。								長石多量 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃	
38		摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石多量 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土。	
39	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	折頭 (粗)残す。	斜ハケ目。							砂粒をほ とんど含む。 また精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。	
40		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縱ハケ目 後、横ナ デ。						長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	主体部埋 土。	

第45表 第3号集石墓伴出遺物観察表(3)

種別 番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		窓部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第四回 41	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石粗片含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。				
42										長石多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。				
43			横ハケ目後、横ナデ。	縦ハケ目。						砂粒をほとんど含まず精緻。	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土。				
44	横ナデ (弱)。	縦ナデ後、横ナデ。	横ナデ後、横ナデ。	縦ナデ。	縦ハケ目。	指頭痕残す(未調査)。	斜ハケ目 (未調査)。			長石含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
45						横板ナデ、縦ハケ目、筋ヘラ削り。	縦ハケ目後、横ナデ。			少量の長石、石英含む。	体部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃				
46		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す。	突起點付後、横ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
47						縦ナデ(頭頂残す)。	縦ナデ(頭頂残す)。	縦ナデ(頭頂残す)。		長石含む。 精緻。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
48						指ナデ。	筋ヘラミガキ。			砂粒をほとんど含まず精緻。	頭部 $\frac{1}{4}$ 。	〃				
49				横ナデ。	横ナデ後、筋ヘラミガキ。					長石多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
50				縦ナデ。	縦(縦筋ハケ目かす)。					長石、石英含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土中位。				
第四回 51		横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。	横指ナデ。			長石、石英多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。				
52	横ナデ。	横ハケ目。	横ハケ目。			倒落。	縦ハケ目。			長石多量含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。				
53	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削り。	縦ナデ(小口状原体)。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。				
54	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(指頭痕残す)。		縦ヘラ削り。	縦ハケ目(小口状原体)。			長石含む。 砂粒をほとんど含まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。				
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指頭痕残す)。	斜ナデ。			石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。				
56	横ナデ。	横ナデ後、横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横ハケ目(小口状原体)。			長石粗片含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。				
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	摩耗。			長石、 長石粗片多量含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土上位。				
58	横ナデ。	横ハケ目(小口状原体)。	横ナデ。			斜指ナデ。	縦ハケ目(小口状原体)。			長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。				
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指頭痕残す)。	縦、斜ハケ目(縦)。			雲母粗片含む。 精緻。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。				
60	横ナデ後、芯線1条残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。(縦筋ハケ目先行)。	指頭痕残す。	縦ハケ目(縦)。			雲母粗片多量含む。 精緻。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃				

第46表 第3号集石墓伴出遺物観察表(4)

標記番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第1回目			横ナデ。						長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。			
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			歯指ナデ (指頭痕残す。)	斜ハケ目。			長石含む。 砂粒ほどんど含まず粗面。	$\frac{1}{16}$ 存。	n		
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	凝ハケ目 後、横ナデ。				長石含む。 砂粒ほどんど含まず粗面。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土中位。		
64	横ナデ後、 凹線1条残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石含む。 砂粒ほどんど含まず粗面。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。			
65		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目	斜ハケ目 (細)。			長石、石英含む。 粗面。	$\frac{1}{4}$ 存。	n		
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指、板削用ナデ。	斜ハケ目 (細)。			長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	n		
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後、横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土下位。		
68	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石細片 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土上位。			
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ (摩耗)。						長石含む。	$\frac{1}{24}$ 存。	n			
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			歯指ナデ (指頭痕残す。)	歯ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。		
71	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			板ハケ目 後、指ナデ (指頭痕残す。)	板ハケ目 (内外面同一原体)。			長石細片 多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。		
72	横ナデ後、 凹線1条残す。	横ナデ。	横ナデ。			(底部以上)前 に横ヘラ削り。	摩耗(歯 ハケ目の 跡跡残す)。			長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。		
73	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	斜ハケ目 (細)。			石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。		
74	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒ほど んど含ま ず粗面。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。		
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			歯指ナデ。	歯ナデ (歯ハケ 目先行 か)。			骨母細片 多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n		
76		横ナデ。	横ナデ。							骨母含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土上位。		
77	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ (指頭痕 残す。)	歯ナデ (指頭痕 残す。)			長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。		
78	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。 砂粒ほど んど含ま ず粗面。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。		
第2回目	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指ナデ (下部)未 調整。	斜ハケ目 後、ナデ。			長石多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n		
80	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英 共合む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。		

第47表 第3号集石墓伴出遺物観察表(5)

持因 番号	成形および調整の痕跡										地 上	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第四回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				指頭痕残す。	斜ハケ目(組)。			長石、石英多量含む。	1/3存。	封土下位。			
2	摩耗(横ナデか)。	横ナデ。	横ナデ。				歯ヘラ削り。				長石、石英含む。	1/8存。	封土中位。			
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石含む。	1/4存。	封土下位。			
4	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。				横ハケ目後、横ナデ。	横ハケ目。			長石細片含む。	1/6存。	封土。			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石含む。	1/8存。	#			
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				指頭痕残す。	斜、横ナデ。			長石含む。砂粒はほとんど含まれず粗粒。	1/2存。	封土下位。			
7	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。								長石含む。	1/8存。	封土上位。			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				横ハケ目。摩耗。				長石、石英含む。	1/8存。	#			
9	横ナデ(ハケ目状原体)。	横ナデ。	横ナデ。								長石細片含む。	1/4存。	#			
10	(立上部)横ナデ。(立上部以下)横ナデ。										長石含む。	1/12存。	#			
11	(立上部)横ナデ。(立上部以下)横ナデ。										長石含む。砂粒はほとんど含まれず粗粒。	1/2存。	封土。			
12	(立上部)横ナデ。	(立上部)横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1/8存。	封土下位。			
13	横ナデ後、凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(指頭痕残す)。	歯ヘラ削り。	横ハケ目後、ナデ。			長石、石英含む。	1/8存。	封土上位。			
14	横ナデ後、凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石細片含む。	1/4存。	封土上位。			
15	横ナデ後、凹線複数残す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(指頭痕残す)。					長石多量含む。	1/4存。	封土中位。			
16	横ナデ(指頭痕残す)。	横ナデ。	横ナデ。				歯指ナデ。	横、右上口タタキ目。			長石含む。砂粒はほとんど含まれず粗粒。	1/8存。	封土上位。			
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石多量含む。	1/8存。	封土中位。			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石細片多量含む。粗粒。	1/4存。	#			
19	摩耗(横ナデか)。	摩耗。	摩耗。								長石細片多量含む。	1/8存。	#			
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				歯ヘラ削り。	横ハケ目。横タタキ目。			砂粒はほとんど含まれず粗粒。	1/4存。	封土上位。			

第48表 第3号集石墓伴出遺物観察表(6)

擇因 番号	成形および調整の痕跡								胎 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		肩部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第10回 101	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (指頭痕 残す。)	横ナデ。 (指頭痕 残す。)	横ナデ。 (指頭痕 残す。)			長石細片 含む。稍 微。	1/8存。	封土上位。			
	102	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (接合部)	横ナデ。	指頭痕残 す。	斜ハケ目 (縫)後。 横ナデ。		長石。石 英含む。	1/8存。	封土下位。		
	103	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			指頭痕残 す。	摩耗。		長石。石 英含む。	1/6存。	主体部埋 土。		
第11回 104					(下部)摩 耗。	(下部)凝 灰目。	横指ナデ。	斜ナデ (行か) 前。	長石含む。	3/4存。	封土下位。			
	105						縱ヘラ削 り。	横。右上 りタキ 後。縫 ハケ目。	砂粒ほと んど含ま ず精緻。	底部完存。	封土。			
	106						摩耗。	摩耗。	長石。石 英多量含 む。	底部1/2存。	"			
107							横。斜ハ ケ目。	横指ナデ。	長石含む。 砂粒ほと んど含ま ない。	底部2/3存。	"			
	108						板ナデ。	縫ハケ目。	長石。石 英含む。	底部完存。	"			
	109						縫。横ハ ケ目。	左上リタ キ目。	費母多量 含む。	底部完存。	"			
110							斜指ナデ。	縱板ナデ。	長石多量 含む。	底部1/4存。	"			
	111						横指ナデ (指頭板 残す。)	斜ナデ (原体不 明。(底 木茎直))。	長石雪母 含む。	底部完存。	"			
	112						縫。横。 斜指ナデ。	縱板ナデ。	長石細片 含む。	底部完存。	"			
113							摩耗。	縫ヘラミ ガキ。	長石細片 含む。	底部完存。	"			
	114						斜ヘラ削 り。周延。	横。右上 りタキ 後。縫 ハケ目。	長石。石 英多量含 む。	底部完存。	封土上位。			
	115						縫ナデ。	縫ハケ目。	長石含む。	底部完存。	封土。			
116							縫ナデ。	縫ヘラミ ガキ。	費母細片 多量含む。	底部2/3存。	"			
	117						縫ハケ目。	縫ハケ目。	費母細片 多量含む。	底部完存。	"			
	118						斜ハケ目 (摩耗)。	縱板ナデ。	石英細片 含む。	底部完存。	封土中位。			
119							横ナデ。	斜ハ ケ目。	長石含む。	底部1/2存。	封土。			
	120						横ナデ。	縫。斜ハ ケ目(底 まで)。	長石含む。	底部完存。	"			

第49表 第3号集石墓伴出遺物観察表(7)

探査番号	成形および調整の痕跡										地 土	遺 存 度	出土位置			
	口縁部		頭部		胸部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第四回 121									麻ヘラ削 り。	頭ハケ目。	長石、石 英含む。	3/4存。	封土。			
第四回 142							斜板ナデ。	指添痕残 す。	頭ナデ。	頭痕残 す。	砂粒はと んど含ま ず粗粒。	口縁部の 生存判断 地。	封土中位。			
143							摩耗。	縦ハケ目 (不明瞭)。			雲母細片 含む。	口縁部1/4 存。	封土上位。			
144	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。	斜、横ナ デ。	頭ナデ。	長石細片 含む。	1/2以上完 存。	封土。				
145	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)斜 ナデ。	(上部)斜 ナデ。			砂粒はと んど含ま ず粗粒。	1/12存。	封土中位。				
146	横ナデ後。 凹線、沈 み縫1cm地 下。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石、石 英含む。	1/8存。	封土上位。				
147	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			板ナデ後。 縦ヘラミ ガキ。	横ナデ後。 縦ヘラミ ガキ。			雲母細片 多量含む。	1/5存。	封土。				
148	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上リタ タキ自後。 斜ナデ。			長石含む。	1/10存。	封土上位。				
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ナデ。			長石含む。	1/12存。	封土。				
150	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。			(上部)横 ハケ目。	(上部)斜 ハケ目。			長石、雲 母細片含 む。精緻。	1/8存。	#				
151	横ナデ。	斜ハケ目 (後に横 ナデ)。				斜ハケ目後。 縦ヘ ラミガキ。	斜ハケ目。			長石含む。	口縁部1/12 存。	#				
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			石英含む。	1/16存。	封土下位。				
153	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	横、縦ハ ケ目。			長石含む。	口縁部1/12 存。	封土。				
154	横ナデ。					横ハケ目。	横ナデ後、横ナ デ。			長石含む。	1/20存。	#				
155		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ (指頭痕 残す)。	横ナデ。 縦ヘラミ ガキ。	横指ナデ。	横指ナデ。	長石細片 含む。	1/2存。	#				
156									ハケ目 (磨状)。	縦ハケ目。 縦ナデ。	長石、石 英含む。	底部完存。	封土下位。			
157									履ナデ。	縦ナデ。 黒斑。	長石、石 英含む。	底部3/4存。	封土上位。			
158									横ナデ。	横板ナデ。 黒斑。	長石含む。	底部完存。	#			

第50表 第3号集石墓伴出遺物観察表(8)

擇回 番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		脚端部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面										
第1回 122	横ナデ。	斜、横ナデ。									砂粒ほとんど含まず粗緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。			
123	横ナデ後、 芯線3条 施す。	横ナデ。 (下部)横 へラミガキ。	横ナデ。 (下部)横 へラミガキ。								長石細片 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	II			
124	横ナデ後、 芯線3条 施す。	摩耗。	横ナデ。								長石、石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。			
125		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。						砂粒ほとんど含まず粗緻。	$\frac{1}{19}$ 存。	封土中位。			
126						横ハケ目 後、横指 ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ。			長石、石 英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。			
127						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土下位。			
128						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			砂粒ほとんど含まず粗緻。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。			
129						摩耗。	摩耗。	横ナデ後、芯 線2条 施す。			長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	II			
130						横ナデ。	縱板ナデ。				長石含む。	脚部完存。	II			
131						縱板ナデ。	摩耗。				石英細片 含む。	脚部 $\frac{3}{4}$ 存。	II			
132						(上部)横 ナデ。 (下部)横 ナデ。	(上部)横 ヘラミガキ。 (下部)横 ヘラミガキ。				長石細片 含む。	脚部完存。	II			
133	斜ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ後、 横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。							長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II			
134				摩耗。	井形にヘ ラミガキ。	縱指ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				長石細片 含む。	杯部、脚 部一部存。	封土上位。			
135				井形にヘ ラミガキ。	摩耗。						骨母細片 含む。	杯部一部存。	封土中位。			
136						シボリ目。 (下部)横 ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				長石含む。	脚上部存。	封土下位。			
137						縱ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				長石、石 英多量含 む。	脚上部存。	封土上位。			
138						(上部)シ ボリ目。 (下部)横 ナデ。	(上部)脚 部へラミ ガキ後、 脚へラミ ガキ後、 脚ヘラミ ガキ。				長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。			
139				斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				骨母含む。	杯部完存。	II			
140						摩耗。	摩耗。				長石含む。	脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	II			
141						縱指ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				砂粒ほとん ど含まず粗緻。	脚上部存。	II			

第51表 第4号集石墓伴出遺物觀察表(1)

擇回 番号	成形および調整の痕跡										胎土	追存度	出土位置			
	口縁部		瓶部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	縱ハケ目。			長石、雲母微細片含む。	洞部 $\frac{1}{5}$ 存。	封土。				
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目後、底ナデ。	縱ハケ目。			長石、石英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	南部埴埴。				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縱ハケ目後、横ナデ。					長石、雲母微細片含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。				
4	横ナデ後、 (沈線吹2条かき)。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。	縱ハケ目後、横ナデ。					長石、雲母微細片多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。					
5	横ナデ後、 凹設施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石、雲母微細片多量含む。	$\frac{1}{6}$ 存。					
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、雲母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。					
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	北西部 器群。				
8	横ナデ後、 竹管文施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。				
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、雲母微細片含む。	$\frac{1}{12}$ 存。					
10		横ナデ。	横ナデ。 (底縫先行かき)。	縱指ナデ。	縱ハケ目 (細)。					砂粒はとんど含まず精緻。雲母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。					
11		横ナデ。	横ナデ。	指頭板残す。	縱ハケ目 (細)後、横ナデ。					砂粒はとんど含まず精緻。雲母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。					
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。		横ナデ。				長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。					
13	横ナデ、 凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。					
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。					
15	横ナデ後、 凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。 横ヘラミガキ。		横ナデ、 横ヘラミガキ。					石英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。					
16	横ナデ後、 凹線1条施す。	横ナデ。	横ヘラミガキ。		横ナデ。					長石、石英含む。	$\frac{1}{4}$ 残存。	北西部 器群。				
17	横ナデ後、 凹線1条施す。	摩耗。	横ナデ後、 横ヘラミガキ。							長石、石英多量含む。	$\frac{1}{7}$ 存。					
18	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。悪い。					
19	横ナデ。	(立上部) 摩耗。	(立上部) 横ナデ。							長石、石英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。				
20	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。							長石、石英多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	北西部 器群。				

第52表 第4号集石墓伴出遺物観察表(2)

標団 番号	成形 および 調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		類部		洞部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第52号 21 (立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	摩耗。	縫ヘラミ ガキ後、 一部横ナ デ。					長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	北西部土 器群。					
22 横ナデ後、 摩耗1米 施す。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。					
23 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縫ナデ。	横ナデ。					長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	北西部土 器群。					
24 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横ナデ (摩耗)。	横ナデ。					長石、石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。					
25 横ナデ。	摩耗。	縫ハケ目 (縫)後、 横ナデ。							長石、石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。						
26 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石、石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	北西部土 器群。					
27 横ナデ。	縫ナデ (摩耗)。	縫ナデ (摩耗)。							石英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。						
28 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ (一部縫 ハケ目先 行)。	縫ハケ目。	縫ハケ目。					長石、石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。					
第53号 29 横ナデ (ハケ目 原体か)。	横ナデ。	横ナデ。	縫ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。	横ヘラ削 り。	縫ハケ目。			長石、石 英、重母 継片含む。	頭部以上 存。						
30 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{10}$ 存。						
31	縫ナデ (ハケ目 状をす)。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。					長石、石 英、重母 継片含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。						
32 横ナデ。	横ナデ (横ハケ目 先行 か)。	横ナデ。 横タタキ 目。	横ナデ。	横ナデ (横タタキ 目)。					長石、重 母多量含 む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。						
33 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、重 母継片含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。						
34	横ナデ。	横ナデ。			指頭破残 す。	縫ハケ目。			長石、重 母含む。	頭部以下 $\frac{1}{3}$ 存。						
35 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			凝指ナデ (指頭破 残す)。	縫ナデ。			石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。						
36 横ナデ。	縫ナデ (摩耗 著 しい)。	縫ナデ (摩耗 著 しい)。							石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。						
37 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。						
38 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	北西部土 器群。					
39 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土。					
40 摩耗。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。						

第53表 第4号集石墓伴出遺物観察表(3)

擇回 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第45回 41			(上部)横 (右側) 横ナデ。 (左側) 横ナデ。	横ハケ目 (大)内 部に残 る凹体 か。					長石、石 英含む。	1/4存。	封土。			
42		摩耗。	摩耗。	横ナデ。 (削目)。	横ハケ目	縱、横ナ デ。			長石、石 英多量含 む。	頭部1/4存。	南部傾斜。			
43					横指ナデ (指頭痕 跡を残し てい。	摩耗(横 ハケ目)。			長石、雲 母含む。	胴部1/4存。	封土。			
44					指頭痕残 す。	摩耗。			長石、石 英多量含 む。	頭部はば 元存。	。			
45				横ナデ。	横ナデ。				長石、石 英、雲母 含む。	頭部1/2存。	南部傾斜。			
46				摩耗。	横ナデ。				雲母細片 多量含む。	頭部1/4存。	封土。			
47				横ナデ。	横ナデ 貼付突然 施す。				長石含む。	頭部1/8存。	。			
48				斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目。				長石、石 英含む。	頭部1/4存。	。			
49				横ナデ (摩耗)。	横ナデ (摩耗)。				長石、石 英多量含 む。	1/2存。	。			
第46回 50				横ハケ目 後、横ナ デ。	横ハケ目。				長石含む。	頭部1/3存。	。			
51				摩耗。	縱細ハケ 目後、横 ナデ。				雲母細片 含む。	頭部1/4存。	。			
52				横ナデ。	横ナデ。				石英多量 含む。	1/8存。	。			
53				横ナデ。	透状原体 による縦 ハケ目後、 横ナデ。				長石、雲 母細片含 む。	頭部1/2存。	。			
54				横ナデ。	横ナデ。				長石、石 英含む。	頭部1/4存。	。			
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。			長石、雲 母細片含 む。	1/12存。	北西部土 器群。			
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ (横ハケ 目先 か)。	指頭痕残 す。	斜ヘラミ ガキ。		雲母細片 多量含む。 稍硬。	1/6存。	封土。			
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		縱指ナデ (指頭痕 跡)。	縱ハケ目 (細)。			長石、石 英、雲母 細片含む。	1/6存。	。			
58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						砂粒ほと んど含ま ず粗粒。	1/8存。	北西部土 器群。			
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		縱指ナデ。	縱ハケ目 (摩耗)。			長石、雲 母細片含 む。	1/8存。	封土。			
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	摩耗(横 ハケ目 か)。		雲母細片 含む。	1/5存。	。			

第54表 第4号集石墓伴出遺物観察表(4)

特徴 番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第54	斜く横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタタキ目後、ハゲ目(網)。				骨母微細片含む。	1/4存。	南部墳場。			
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ。	左上りタタキ目後、横ナデ。				長石、石英含む。	1/3存。	封土。			
56	横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。	右上りタタキ目後、横ナデ。			斜指ナデ。	横、右上りタタキ目。				長石、骨母含む。	1/4存。	南部墳場。			
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り後、横ナデ。	斜ハケ目。				長石、骨母細片含む。	1/5存。	II			
58	横ナデ後、花紋1条施す。	斜ハケ目後、横ナデ。			横ナデ(花紋が現れる。低い輪郭)。	横、右上りタタキ目後、斜ハケ目。				砂粒を含まない。長石細片含む。	口縁部1/3存。	II				
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	横へラ削り。	摩耗。			長石、骨母細片含む。	1/6存。	西北部土器群。			
60	横ナデ後、花紋1条施す。	横ナデ。	横ナデ。				指頭痕残す。	横ナデ。			長石、石英含む。	1/3存。	II			
61	横ナデ後、花紋1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜、斜ハケ目(網)後、横ナデ。					長石細片含む。	1/12存。	南部墳場。			
62	小口状原体による横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り後、横ナデ。	横、右上りタタキ目後、斜ハケ目。				骨母微細片含む。	頭部1/12存。	封土。			
63	横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	斜ハケ目(摩耗)。				長石、骨母細片含む。	1/4存。	南部墳場。			
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り後、横ナデ。	斜ハケ目。				石英含む。	1/4弱存。	封土。			
65		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜、斜ハケ目。				長石、骨母細片含む。	1/6存。	II			
66		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜ハケ目。				骨母細片多量含む。	1/4存。	II			
67		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜、斜ハケ目。				長石、石英含む。	1/12存。	封土。			
68		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目(頭部)後、横ナデ。	斜、斜ハケ目。				骨母細片多量含む。	1/4存。	II			
69		横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石、石英含む。	1/6存。	II			
70		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ(指頭痕残す)。				長石、骨母細片含む。	1/4存。	南部墳場。			
71		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				石英含む。	1/4弱存。	封土。			
72		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜、斜ハケ目。				長石、骨母細片含む。	1/6存。	II			
73		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目(頭部)後、横ナデ。	指頭痕残す。	斜ハケ目。			骨母細片多量含む。	1/4存。	II			
74		横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石、石英含む。	1/6存。	II			
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ(指頭痕残す)。				長石、石英多量含む。	洞部1/3存。	西北部土器群。			
76	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	摩耗。				石英含む。	1/10存。	II			
77	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。			横ハケ目。	斜、斜ハケ目。				骨母細片多量含む。	1/4存。	封土。			
78	横ナデ後、花紋1条施す。	横ナデ(板状原体か)。	横ナデ(板状原体か)。	横ハケ目。		斜ハケ目。	摩耗。				石英、骨母細片多量含む。	1/12存。	II			
79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ								石英含む。	1/8存。	西北部土器群。			
80	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。			斜へラ削り後、横ナデ。	斜、斜ハケ目。				長石、骨母細片多量含む。	1/8強存。	封土。			

第55表 第4号集石墓伴出遺物観察表(5)

標団 番号	成 形 お よ び 調 整 の 痕跡										胎 土	遺 存 度	出土位置			
	口縁端部	口 縁 部		側 部		調 整 部		底 部								
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面							
第4号 前	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石含む。 $\frac{1}{16}$ 存。	北西部土 器群。					
右	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	横ハケ目。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	封土。					
左		横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。			横ナデ (筋頭痕 残す)。	横タキ 目後、横 ハケ目。			碧母細片 多量含む。 $\frac{1}{5}$ 存。						
右	横ナデ。	剥落、摩 耗。	剥落、摩 耗。			剥落、 (筋頭痕 残す)、 摩耗含 む。				長石、碧 母含む。 $\frac{1}{2}$ 存。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
左	横ナデ。	右上りタ キ目後、横ナ デ。	横ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ (筋頭痕 残す)。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。						
右	横ナデ (凹線2条 残す)。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。 $\frac{1}{16}$ 存。						
第4号 後								横ナデ。	横ナデ。	石英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。						
右								摩耗。	主に縱板 ナデ。	長石、石 英多量含 む。	底部完存。	南部壊損。				
左						横指ナデ。	縫ハケ目。	縫隙痕残 す。	縱板ナデ。	長石、碧 母細片含 む。	底部完存。	封土。				
右								指ナデ (大部分 摩耗)。	指ナデ (大部分 摩耗)。	長石、石 英、碧母 多量含む。	底部完存。					
左								横ハケ目。	横、右上 りタキ目。	長石含む。	底部完存。					
右								摩耗。	縫ハケ目。	長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。						
左								縫指ナデ。	縫指ナデ。	碧母含む。 $\frac{3}{4}$ 存。	南部壊損。					
右								(上部)板 ナデ。(下 部)指ナ デ。	縫ハケ目 後、横ナ デ。	長石細片 含む。	底部完存。	封土。				
左								縫板ナデ (板状原 体)。	縫ナデ (板状原 体)。	石英多量 含む。	底部完存。					
右								摩耗。	底周縫指 残す。	石英含む。	底部完存。					
左								横指ナデ (摩耗)。	縫ナデ (摩耗)。	碧母細片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。					
右								(下部)縫 板ナデ。	(下部)縫 板ナデ。	長石、石 英含む。	底部完存。					
左								(上部)横 ハケ目後、 (下部)縫 板ナデ。	(上部)右 上りタキ 目後、横 ナデ。	縫板ナデ (指頭或 残す)。	縫板ナデ (指頭或 残す)。	長石、石 英含む。	底部完存。			
右										縫板ナデ (指頭或 残す)。	縫板ナデ (指頭或 残す)。	長石、石 英含む。	底部完存。			
左										砂粒含ま る。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。					
右										碧母含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。					

第56表 第4号集石墓伴出遺物觀察表(6)

辨認 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第101 101							丁寧な縫 ハケ目。	縫 ハケ目。 縫合す る。(ガタ目)。	長石、青 母含む。 精細。	底部完存。	封土。			
102							斜板ナデ。	小口状面 体。帶状の ハケ目。	長石、青 母含む。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	H			
103							斜指ナデ。	形指ナデ (縫ハケ目) 平行か。縫 合す。	長石含む。	調台部完 存。	H			
104							(上部)縫 ハラ削り 後、ナデ。	(上部)縫 ハラ削り。 縫ハラミ ガキ。	長石、石 英、青母 含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	南部埴輪。			
105							指頭痕残 す。	縫板ナデ。	長石多量 含む。	調台部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土。			
106					(下部)縫 ハラ削り 後、ナデ。	(下部)縫 ハラ削り。	縫ヘラ削 り。	縫ヘラミ ガキ。	石英含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	北西部土 器群。			
107							摩耗。	摩耗。	長石、石 英含む。	底部完存。	封土。			
第108 108							摩耗。	縫指ナデ。	石英多量 含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	H			
109							摩耗。	摩耗(板 ナデかき)。	石英含む。	底部完存。	H			
110							縫ヘラ削 り後、指 ナデ。	縫ヘラミ ガキ。	長石含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	北西部土 器群。			
111							縫ヘラ削 り。	縫板ナデ。	長石含む。	底部完存。	封土。			
112							縫、横ハ ケ目後、 縫指ナデ (縫)。	縫、横ハ ケ目後、 縫指ナデ (縫)。	石英 母細片 含む。	底部完存。	H			
113							斜指ナデ。	縫指ナデ。	長石、石 英多量含 む。	底部完存。	H			
114							斜指ナデ。	縫ハケ目。	長石含む。	底部完存。	H			
115							横板ナデ。	縫板ナデ。	長石、石 英、青母 細片含む。	底部完存。	H			
116							指ナデ (指頭痕 残す)。	縫ヘラミ ガキ。	長石含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	H			
117							横ナデ (不明瞭)。	縫ハケ目。	長石、石 英含む。	底部完存。	H			
118							斜ヘラ削 り。	縫、横 ハケ目 (縫)。	長石、青 母細片含 む。構造。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	H			
119							指頭痕残 す。	縫板ナデ。	石英含む。	底部完存。	H			
120							横ハケ目。	摩耗。	長石含む。	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	南部埴輪。			

第57表 第4号集石墓伴出遺物観察表(7)

特徴 番号	成形および調整の痕跡										地 土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底 部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第4号 121								横指ナデ。	右上リタ タキ目。	石英含む。 精緻。	底部完存。	封土。				
122								横指ナデ。	斜ナデ。	雲母細片 含む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	南部墳裾。				
123								斜指ナデ (指頭痕 残 $\frac{1}{2}$)。	板ナデ。	精緻。	底部完存。	封土。				
124								縦ヘラ削 り。	縦ハケ目。	長石含む。	底部完存。	"				
125								斜指ナデ。	横指ナデ (指頭痕 残 $\frac{1}{2}$)。	砂粒含ま ず精緻。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	南部墳裾。				
126								横ナデ (不明瞭)。	縱板ナデ。	長石、石 英含む。	底部完存。	封土。				
第5号 128	横ナデ後、 凹線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ (クタキ 目先行 か $\frac{1}{2}$)。			長石、石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"				
129	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗(タ キ目先行 か $\frac{1}{2}$)。			長石、石 英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	北西部土 器群。				
130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	横ナデ。			長石、石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"				
131	横ナデ。	横ナデ (指頭痕 体か $\frac{1}{2}$)。	横ナデ。			指ナデ。	横ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。				
132	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。			横ハケ目。	横ハケ目。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"				
133	横ナデ後、 芯線2条 施す。	縦ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	縦ハケ目 (縫)後、 横ナデ。			斜ハケ目 (縫)後、 横ナデ。	縦ハケ目 (縫)。			長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"				
134		横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦指ナデ。		指頭痕残 す。	雲母細片 多量含む。 精緻。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	南部墳裾。				
135		横ナデ。	摩耗。			斜ハケ目。	摩耗。			長石、石 英、雲母 含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土。				
136		横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜ヘラ削 り後、指 ナデ。			雲母細片 多量含む。	ほぼ完存。	南部墳裾。				
137	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	長石、石 英含む。	口縁部一 部存。	封土。					
138	横ナデ。	縦ナデ (指頭痕 体か $\frac{1}{2}$)。	縦ナデ (指頭痕 残 $\frac{1}{2}$)。						長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
139	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目 黒斑。	斜ハケ目 黒斑。	雲母含む。	完存。	南部墳裾。					
140	横ナデ。					横板ナデ。	縱板ナデ。			砂粒ほと んど含む。 精緻。	底部完存。	封土。				
141		横ナデ。	横ナデ。			摩耗著し い。	縦、斜板 ナデ。		指頭痕残 す。	長石、石 英細片多 量含む。	ほぼ完存。	南部墳裾。				

第58表 第4号集石墓伴出遺物観察表(8)

標 記 番 号	成 形 お よ び 質 整 の 痕 跡										胎 土	遺 存 度	出土位置			
	口縁部		頭 部		洞 部		底 部		内 面	外 面						
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面								
第158 162	横指ナデ。 横(板かく)。	横ナデ。 横(板かく)。			履ナデ。	斜ハケ目 (小口状 原体)。	摩耗。	横ナデ (ハケ目 先行かく)。	長石、 石英 多量含む。	口縁を一 部欠くが ほぼ完存。	封土。					
163		横ナデ。			横、斜指 ナデ。	履指ナデ。		指ナデ (粗い調 整)。	長石、 石英 多量含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	H					
164	横ナデ (片口 かく)。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜、右上 左下、 左側面 へラミガキ。			石英多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	H					
165	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横タタキ 目。			長石、石 英含む。	$\frac{1}{14}$ 存。	H					
第159 166	履ヘラミ ガキ後、 横ナデ。	横ナデ。			履ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。			長石含む 精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	南部埴燒。					
167	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横指ナデ。			既板ナデ ^a 。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	指頭痕残 す。	縫底ナデ ^a 。	長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	H					
168	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。						長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	北西部土 器群。					
169								縫指ナデ ^a 。	縫ハケ目 (縫状原 体)。	長石、青 母含む。	底部完存。	南部埴燒。				
170								縫ナデ ^a 。	縫ナデ (縫状原 体)。	長石含む。	底部完存。	封土。				
171		横ナデ。	横ナデ後、 縫ヘラミ ガキ。						長石、青 母含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	H					

第59表 第4号集石墓伴出遺物観察表(9)

押出番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		耳端部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面										
第3回 127	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (ヘラミ ガキむ。)	斜ハケ目 (上部)横 ナデ。 (下部)横 ナデ。	斜ハケ目。 (上部)横 ナデ。 (下部)横 ナデ。	斜ハケ目。 (上部)横 ナデ。 (下部)横 ナデ。	横ナデ。		長石、石 英多量含 む。	ほぼ完存。	北西部土 器群。					
128	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。						
129	横ナデ。	横ナデ。 (斜ハケ 目先行。)							長石、雪 母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。					
130	鞋く横ナ デ。	横ナデ (底耗。)	横ナデ。	横ナデ。 (底耗。)	横ナデ。	横ナデ。			長石、石 英多量含 む。	口縁部の一 側部多くはほ ぼ完存。	北西部土 器群。					
131				横ナデ。	横ナデ。				長石、雪 母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。					
132			井形にへ ラミガキ。	摩耗。					長石、石 英多量含 む。	杯部存。						
133			横ヘラミ ガキ。	井形にへ ラミガキ。					長石、雪 母含む。	杯部 $\frac{1}{6}$ 存。						
134					横ナデ (底耗著 しい。)	紙ハケ目。	横ナデ。		長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。						
135					シボリ目。	紙ハケ目。			長石含む。	脚上部存。						
136			井形にへ ラミガキ。	紙ハケ目。	横ナデ。	紙ヘラミ ガキ。			長石、石 英多量含 む。	杯、脚部 存。						
137					紙ナデ (底耗著 しい。)	紙ナデ (底耗著 しい。)	横ナデ後、凹線1条 路す。		長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。						
138					摩耗。	紙ヘラミ ガキ。	横ナデ後、凹線1条 路す。		長石多量 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	北西部土 器群。					
139					摩耗。	摩耗。	横ナデ。		雪母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。					
140					紙ナデ。	紙ヘラミ ガキ。			長石、雪 母含む。	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。 粉歯。						
141			摩耗。	摩耗。					石英含む。	杯部 $\frac{1}{4}$ 存。						
142					(上部)シ ボリ目。 (下部)横 ナデ。	紙ヘラミ ガキ。			長石含む。	脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	北西部土 器群。					
143			摩耗。	摩耗。	シボリ目。	摩耗。			石英含む。	脚上部存。	封土。					
144					シボリ目。 横ナデ。 (指頭痕 残す。)	紙ヘラミ ガキ。			長石、石 英多量含 む。	脚上部存。						
145					シボリ目。 横ナデ。 (指頭痕 残す。)	紙ハケ目。			雪母含む。	脚上部存。						
146					(上部)横 ナデ。 (下部)紙 ナデ。	紙ヘラミ ガキ。			石英含む。	脚上部存。						

第60表 第4号集石墓伴出遺物観察表(10)

種類 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第10回 147					横ナデ。	縦ハケ目 後、横ナデ。			長石、細 片含む。	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	北西部土 器群。			

第61表 第5号集石墓伴出遺物観察表

種類 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頂部		脚部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1回 1	(立上部) 横ナデ後、 凹線2条 残す。	横ナデ。	横ナデ。						長石、石 英含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。			
2			縦ハケ目 後、横ナ デ(下部のみ)。	縦ハケ目 後、横ナ デ(下部のみ)。					長石、石 英含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。			
3	横ナデ後、 凹線1条 残す。	横ナデ (放ハケ 目先行 体)。	縦ハケ目 後、横ナ デ。		縦ハケ目 後、横ナ デ。				長石含む。 $\frac{1}{8}$ 存。					
4	横ナデ。	横ナデ (板状原 体)。	横ナデ	縦ハケ目 後、横ナ デ。					長石糊片、 空石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。			
5	横ナデ。	横ナデ。			斜、横ヘ ラ削り。	縦ハケ目 (縦)			長石、碧 母石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。			
6		斜ハケ目 後、横ナ デ。	横タタキ 目、縦ハ ケ目後、 横ナデ。		(上部) 横 指ナデ。 (下部) 指 ナデ。	(上部) 横 指ナデ。 (下部) 指 ナデ。			長石、石 英含む。 空存(口 縁部若干 欠)。					
7	斜ハケ目 後、横ナ デ。	右上リタ タキ目後、 横ナデ。		縱指ナデ。	横タタキ 目。				長石、石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜ハケ目。			長石糊片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。				
9	横ナデ (斜ハケ 目先行 かん)	横ナデ (横ナデ 目先行 かん)			斜ハケ目。	横、右上 左上リタ タキ目。			砂芯ほと んどなく、 内部糊片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。				
10	横ナデ。	縦指ナデ 後、横ナ デ。	縦指ナデ (指頭痕 残す)。	縦指ナデ (指頭痕 残す)。	横、横指 ナデ(指 頭痕残 す)。	横、横指 ナデ(指 頭痕残 す)。	縦、横指 ナデ(指 頭痕残 す)。	縦、横指 ナデ(指 頭痕残 す)。	長石糊片、 空石含む。	ほぼ完存。				
11					横ナデ。	横タタキ 目。	斜ナデ。	横タタキ 目後、横 ナデ。	長石、碧 母石含む。	底部完存。	封土上位。			
12					縦ヘラ削 り。	縦ハケ目。	縦ヘラ削 り(指頭 痕残す)。	縦ハケ目 後、横ナ デ。	長石、碧 母石含む。	底部完存。	封土。			
13					縦ナデ。	左上リタ タキ目後、 斜ナデ。	横ハケ目。	左上リタ タキ目後、 斜ナデ。	長石少 量、碧母石含む。	底部完存。				

第62表 第6号集石墓伴出遺物観察表(1)

拂回 番号	成形 および 調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		側部		側部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第6回 1	横ナデ。	横ハケ目 (細)。	縦ハケ目。		横ナデ (角頭痕 残す)。	縦ハケ目。	縦指ナデ。	縦ハケ目 (細)。			長石、石 英含む。			
2				指ナデ後、 紙板ナデ。	小口状痕 体による 紙板ナデ。		横指ナデ。	横ナデ。			長石、石 英含む。			
3				横ナデ。	縦ハケ目。		横指ナデ。 横ヘラ削 り。				長石、石 英含む。			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	紙板ナデ。	紙板ナデ。		横指ナデ。	紙板ナデ。			砂粒ほと んど含ま ず精緻。 長石含む。			
5	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目。						長石、石 英多量含 む。			
6	横ナデ後、 四線4条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	紙板ナデ。	縦ハケ目 (細)。						長石、石 英含む。			
7	横ナデ後、 漆塗皮沃 文施す。	横ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目。								長石含む。 $\frac{1}{5}$ 存。			
8	横ナデ後、 ヘラ削痕 状況、竹 管文施す。	横ナデ。	横ナデ。								長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。			
9	横ナデ後、 漆塗文、 竹管文施 す。	横ナデ。	横ナデ。								長石、石 英含む。 $\frac{1}{10}$ 存。			
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	斜ハケ目。				長石含む。 精緻。			
11	横ナデ後、 ヘラ削痕 曲文、竹 管文施す。	横ナデ。	横ナデ。								骨母微細 片含む。 精緻。			
12	横ナデ後、 四線施す。	横ナデ。	横ナデ。								長石、石 英含む。 $\frac{1}{12}$ 存。			
第6回 13	横ナデ。	横ナデ (横ハケ 目先行 かし)。	横ナデ。			横ヘラ削 り。	斜ハケ目 (細)。				長石、石 英含む。 精緻。			
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。			
15	横ナデ。	摩耗。	摩耗。								長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。			
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラ削 り。	縦ハケ目 (細)。				骨母微細 片多量含 む。精緻。			
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ (指頭痕 残す)。	横、右上 りタキ目。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横、右上 りタキ目 後、横ナ デ。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。			
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石、石 英、骨母 微細片含 む。			
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	和、縦 横ハケ目 後、紙板 ナデ。	横、右上 りタキ目。				長石細片 多量含む。 $\frac{1}{4}$ 存。			

第63表 第6号集石墓伴出遺物観察表(2)

部品番号	成形および調整の順序								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第16回 21	横ナデ後。 沈線1束施す。	横ハケ目 (細)。			斜ヘラ削り。	頭、斜ハ ケ目(細)。			長石。石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。			
22	横ナデ。	横板ナデ。	横指ナデ。						長石含む。	$\frac{1}{3}$ 強存。	II			
23	横ナデ。	横ナデ。	右上りタ キ目後、横 ナデ。		底ハケ目 (細)。	右上りタ キ目(細)。			長石。石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II			
24	横ナデ。	横ハケ目 (細)。	斜ハケ目 (細)。		底板ナデ。	横、右上 りタキ目(一 部ナデ消)。			精緻。	$\frac{1}{4}$ 存。	II			
25	横ナデ。	横ナデ。	横、右上 りタキ目(一 部ナデ消)。		横ナデ。	横、右上 りタキ目(一 部ナデ消)。			長石含む。 精緻。	$\frac{1}{4}$ 強存。	II			
26		横ナデ。	横ナデ。		底指ナデ。	斜ハケ目。			砂粒ほと んど含ま ず精緻。 長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II			
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		指ナ デ(指頭痕 残す)。	〔上部〕右 斜アーチ 目(神社 目)。			長石。石 英含む。 混入細片 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。			
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、 凹線3束施す。	斜ナデ。	斜ナデ。				砂粒をほ とんど含 まない。	小片。	II			
29	横ナデ。	摩耗。		摩耗。	横ナデ。				雲母含む。	小片。	土器群。			
30	(立上部) 横ナデ。 (立上部) 横ナデ。 (立上部) 横ナデ。		指ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横、斜ハ ケ目。	斜ヘラミ ガキ(斜 ハケ目先 行かせ)。			長石。石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。			
31	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。						長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	II			
32		摩耗。		摩耗。					砂粒をほ とんど含 まない。	小片。	II			
33	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	指頭痕残 す。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	土器群。			
34	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。			摩耗。	摩耗。			石英多量 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土上位。			
第16回 35					斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒頭。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	長石含む。 底部完存。	II				
36							底ヘラ削 り。黒頭。	斜ハケ目 (細)。	長石含む。	底部 $\frac{4}{5}$ 存。	II			
37							底ナデ。	右上りタ キ目。	長石。石 英含む。	底部完存。	II			
38					斜ハケ目。	右上りタ キ目後、 斜ハケ目。	ハケ目 (裏状)。	右上りタ キ目。 風透。	長石。石 英含む。	底部完存。	土器群。			
39		横ナデ。	底ハケ目 (細)。			横ナデ。	底ナ デ(裏状)。	底ナ デ(細)指頭 痕残す。	砂粒含ま ない。	底部完存。 羽、口縁 部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。			
40							縦灰ナ デ(細)指 頭痕残 す。	底ナ デ(裏 頭痕 残す)。	石英含む。	底部完存。	II			

第64表 第6号集石墓伴出遺物観察表(3)

標因番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁部		頭部		肩部		底部		胎土	遺存度		
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第64回 41							縦へラ削り。	風磨。斜ナダ。	大粒石英含む。	底部完存。	土器群。	
42							摩耗。	圓頭痕残す。黒斑。	長石。石英含む。	底部完存。	封土上位。	
43							摩耗。	縦板ナダ。縦へラミガキ。	滑母細片含む。	底部完存。	土器群。	
44					縦板ナダ。 横、右上 リタタキ 目。	縦板ナダ。 横、右上 リタタキ 目。			石英含む。	底部完存。	#	
45						板ナダ (鐵板)。	縦板ナダ。		長石。滑母細片含む。	底部完存。	封土。	
46							斜ハケ目。		滑母含む。	底部完存。	土器群。	
47							縦へラミ ガキ(指頭 残す)。斜 削。	縦へラミ ガキ(指頭 残す)。斜 削。	長石。石英含む。	底部完存。	封土上位。	
48					横板ナダ。	斜ハケ目。	指ナダ後。 斜へラミ ガキ。	縦へラミ ガキ。	長石。石英含む。	胸部一部 完存。底部 完存。	#	
49					縦、斜ハ ケ目。	縦ハケ目。	斜ナダ。 (指頭 残す)。	斜ナダ。	長石。石 英含む。	胸部一部 完存。	#	
50					縦へラ削 り。	左上リタ キ目後。 斜へラミ ガキ。	右上リタ キ目後。 斜へラミ ガキ。	縦ハケ目 後。斜へラミ ガキ。	長石。石 英含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	土器群。	
51					(上部)右 側頭部残す。 (下部)斜 ハケ目。	縦ハケ目。	横ナダ。	縦へラミ ガキ(指頭 残す)。	石英。滑 母細片含む。	底部完存。	#	
第65回 57	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。		板ナダ (指頭 残す)。	横ナダ。			砂利はと んじて酸化 鉄の多量含 む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。	
58	横ナダ。				斜へラミ ガキ。	斜ナダ。			長石。滑 母細片含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	#	
59	ハケ目頭 体による 横ナダ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。		斜ハケ目 後。黒斑。	斜ナダ。 (指頭 残す)。			石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
60	横ナダ後。 凹縫2条 残す。	横ナダ。	横ナダ。		縦板ナダ。	縦へラ削 り。			長石含む。 粗粒。	$\frac{1}{8}$ 存。	#	
61					縦へラ削 り。	縦へラ削 り。	縦へラ削 り。	縦へラ削 り。	長石。石 英含む。	胸部 $\frac{1}{2}$ 存。	土器群。	
62		横ナダ。	横ナダ。		縦板ナダ。	縦ハケ目 後。斜ナ ダ。	斜ナダ。	斜ナダ。	長石含む。 粗粒。	口縁。胸 部 $\frac{1}{2}$ 存。 底部完存。	封土上位。	
63		摩耗。	摩耗。		縦板ナダ。	摩耗。			長石。石 英多量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。	
64	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。		縦指ナダ。	斜ナダ。	縦、横指 ナダ。	縦、斜ナ ダ。	砂礫。滑 母細片多量含 む。	底部完存。 口縁。胸 部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。	
65		横ナダ。	横ナダ。		縦、横 へラ削 り。	斜板ナダ。			長石。石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	#	

第65表 第6号集石墓伴出遺物観察表(4)

擇因 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第16号 66									擬指ナゲ。 堅ハケ目。 (底まで)。	長石。骨 母含む。	底部完存。 封土上位。			

第66表 第6号集石墓伴出遺物観察表(5)

擇因 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		舞端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第16号 52	横ナゲ。 横ナゲ。	横ナゲ。 横ナゲ。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。					長石。骨 母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。			
53									石英含む。 稍微。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土上位。			
54					シボリ目。 黒斑。摩耗。	摩耗。			長石。石 英含む。	脚上部存。	土器群。			
55					擬指ナゲ。	堅ヘラミ ガキ。			長石。石 英。骨母 細片含む。	脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	ff			
56		横ナゲ。	横ナゲ。						長石。骨 母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。			

第67表 第7号集石墓伴出遺物観察表(1)

辨別 番号	成形および調整の痕跡								胎 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第65回 1	横ナデ。	横ナデ。	頭ハケ目後、横ナデ。	頭ヘラミガキ。	頭ハケ目。				長石、石英含む。	1/2存。	封土。			
2	小口状匣体による横ナデ。	横ナデ後、横ナデ。	頭ヘラミガキ後、横ナデ。	頭ナデ後、頭ヘラミガキ後、横ナデ。	頭ヘラミガキ後、頭ヘラミガキ。				長石、石英含む。	口縁部一部欠。	#			
3	横ナデ後、沈殿1条施す。	横ナデ。	頭ハケ目後、斜ヘラミガキ。	頭ハケ目後、斜ヘラミガキ。	斜ヘラミガキ後、横ナデ。				長石含む。	口縁部1/6存。	#			
4	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。				長石、骨母含む。	1/6存。	#			
5		横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	頭ハケ目後、横ナデ。				長石含む。	1/4存。	#			
6	横ナデ。	横ナデ後、沈殿施す。	横ナデ。						長石、骨母含む。	1/5存。	#			
7					横ハケ目(頭、太)。	右上りタキ目後、頭、斜ハケ目。			長石、石英含む。	胴部3/4存。	#			
8					横ナデ。	頭ハケ目。	横指ナデ。		石英含む。	頭部1/2存。	#			
9		横ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。		指頭残す(横ナデ)。	右上りタキ目後、頭ハケ目。			長石含む。	1/2存。	#			
10	軽く横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ハケ目後、横ナデ。	頭ハケ目。			長石、雲母細片含む。	1/5存。	#			
11	横ナデ。	(上部)斜ナデ後、横ナデ(下部)斜ハケ目。			頭ヘラミガキ後、斜ハケ目。	右上りタキ目後、斜ハケ目。	頭ハケ目。	頭ハケ目。	長石含む。	1/4存。	#			
12		横ハケ目後、横ナデ。	頭ハケ目後、横ナデ。		斜ハケ目。	頭ハケ目後、斜板ナデ。			長石含む。	1/4存。	#			
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石、石英含む。	1/6存。	#			
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		継指ナデ(指頭残す)。	右上りタキ目後、斜板ナデ。			長石、石英含む。	1/4存。	#			
15	軽く横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(指頭残す)。		横ナデ。	頭、右上りタキ目後、横ハケ目。			長石、石英含む。	1/4存。	#			
16	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。		斜ハケ目後、横ナデ。	頭ハケ目後、横ナデ。			長石、石英含む。	1/2存。	#			
17		横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	頭ナデ(横タキ目)。	継指ナデ(指頭残す)。	左上りタキ目後、頭(横タキ目)。	長石、石英片多く含む。	1/8存。	#			
第66回 15		横ナデ。	横ナデ。		(上部)頭板ナデ。(下部)頭板ナデ。	(上部)頭板ナデ(横タキ目)。	継指ナデ(指頭残す)。	横タキ目後、頭ハケ目。	長石含む。	口縁部以外ほぼ完存。	#			
18		横ナデ。	横ナデ。		(上部)頭板ナデ(横タキ目)。	頭、横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	長石、石英含む。	口縁部ほぼ3/4存。	#			
19					継指ナデ。	横タキ目後、頭ハケ目。	横指ナデ。	頭ハケ目。	長石、石英含む。	底部完存。	#			

第68表 第7号集石墓伴出遺物観察表(2)

横図 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第68番 21					横へラ削り。	縦ハケ目。摩耗。	縦ハケ目。摩耗。	長石。石英含む。(特に石英多量)。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土。				
22					(上部)斜板ナデ。(下部)斜板へラ削り。				長石。石英含む。	胴部 $\frac{1}{3}$ 存。	H			
23	摩耗。	横ナデ。			摩耗。				長石。石英含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	H			
24					縦ナデ後、横ハケ目。	左上よりタキ目後、斜ハケ目。	横ナデ。	縦ハケ目。	長石。石英含む。	胴部 $\frac{1}{2}$ 存。	H			
25					斜板ナデ後、斜ハケ目。	摩耗。	斜板ナデ。	摩耗。	長石。石英含む。	底部充存。	H			
26					縦指ナデ。斜板ナデ。	縦指ナデ(筋頭痕残す)。	縦タタキ目後、斜板ナデ。	長石。石英含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	H				
27					摩耗。	斜ハケ目。	斜ハケ目。摩耗。	斜ハケ目。	長石。石英含む。	底部充存。	H			
28							縦、斜板ナデ。	縦ハケ目(指頭痕残す)。	青母端片。長石。石英含む。	底部充存。	H			
29	摩耗。	横ナデ。			摩耗。				長石。石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	H			
30	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。		横指ナデ(指頭痕残す)。	横へラ削り(指頭痕残す)。	横指ナデ。	縦へラ削り。黒斑。	長石含む。	完存。	H			
31	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。		縦へラミガキ(丁寧)。	縦へラミガキ(丁寧)。			長石。青母含む。	胎、標上部充存。	H			
32	横ナデ。	横ナデ(小口状原体による)。	指頭痕残す。											

第69表 第7号集石墓伴出遺物観察表(3)

横図 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		胴部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第68番 29			縦、横へラミガキ。	横へラミガキ。	縦へラミガキ。	縦へラミガキ。			長石。青母含む。	胎、標上部充存。	封土。			

第70表 第8号集石墓伴出遺物観察表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										地 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1回 1	横ナゲ後、 凹線3条 施す。	横板ナゲ。	横板ナゲ。	斜ハケ目 後、底 ガキ。	横ナゲ。					長石、石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。				
2	横ナゲ。	厚耗(横 ナゲかき)。	横ナゲ。	縦ハケ目 (箱)後、 横ナゲ。	横ナゲ。					長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	封土上位。					
3	横ナゲ。	横板ナゲ。	横板ナゲ。	横ナゲ。	縦ハケ目。					長石含む。 精徳。	$\frac{1}{4}$ 存。	#				
4	横ナゲ後、 墨文施す。	厚耗。	横ナゲ。	厚耗。	縦ヘラミ ガキ。					長石、石 英含む。 $\frac{3}{4}$ 存。	封土。					
5	横ナゲ後、 凹線2条 施す。	横ナゲ。	斜ハケ目 後、横ナ ゲ。	横ハケ目。	縦ハケ目。					長石、石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	第1号主 体部埋土。				
6	横ナゲ後、 凸線2条 施す。	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。	縦ヘラミ ガキ。					長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	#					
7	横ナゲ後、 ヘラ描画 曲文施す。	横ナゲ。	横ナゲ。							長石含む。 $\frac{1}{20}$ 存。	封土上位。					
8	横ナゲ後、 凸線2条 施す。	横ナゲ。	横ナゲ。							長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。					
9	横ナゲ。	横ハケ目。	底、斜ハ ケ目。	横ハケ目。	縦ハケ目。					長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	封土。					
10	横ナゲ後、 凹線1条 施す。	厚耗。	斜ハケ目。							長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 弱存。	#					
11	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ後、 凸線7条 施す。							長石、石 英含む。 $\frac{2}{3}$ 存。	#					
12	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ。								長石、石 英含む。 $\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。					
13	横ナゲ後、 ヘラ描画 曲文施す。 貼付安堵。	横ナゲ。	斜ハケ目 後、横ナ ゲ。							長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	封土。					
14	横ナゲ後、 ヘラ描画 曲文施す。	横ナゲ。	斜ハケ目 後、横ナ ゲ。							長石、石 英含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	封土。					
15	横ナゲ後、 円形浮文、 ヘラ描画 曲文施す。	横ハケ目 後、横ナ ゲ。	横、斜ハ ケ目後、 横ナゲ。							長石、石 英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	第1号主 体部埋土。					
16		横ナゲ。	横ナゲ後、 ヘラ描画 曲文施す。							長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。					
17	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ。	横板ナゲ。	横ナゲ。						長石、石 英含む。 口縁部ほ ば完存。	封土。					
18	横ナゲ後、 凹線3条 施す。	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ (出頭横 残す)。	縦ハケ目 後、横ナ ゲ。					石英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	第1号主 体部埋土。					
19	横ナゲ後、 崩落皮状 文施す。	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。	縦ハケ目 後、横ナ ゲ。					長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。					
第2回 20	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ後、 ヘラ描画 曲文施す。		斜ハケ目 後、底 ナゲ(指 脱)。	厚耗。				長石、石 英、費母 少量含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	#					
21	(立上部) 横ナゲ。	(立上部) 横ナゲ。	横ナゲ。	斜ハケ目 後、横ナ ゲ。						長石、石 英、費母 少量含む。 $\frac{1}{3}$ 存。	封土下位。					

第71表 第8号集石墓伴出遺物観察表(2)

標	成形および調査の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頭部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第71回 22	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横ナデ。	頭ナデ。						長石、石英、碧母 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
23	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	脛ハケ目 (頭)。	横ナデ。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	ノ				
24	横ナデ。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削 り。	摩耗。	指頭痕残 す。	摩耗。	石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	ノ				
25	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	脣ナデ (脣頭痕 残す。)	横ナデ。					石英含む。	$\frac{2}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。				
26	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	脣ハケ目 後、横ナ デ。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 強存。	封土。				
27	横ナデ。	横ナデ。	脣ナデ (脣状原 体)後、横 ナデ。							長石、石英 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土上位。				
28	横ナデ後、 凹線2条 残す。	横ナデ (横ヘラキ 風)。	斜ハケ目 後、横ナ デ。							長石、石英 含む。	$\frac{1}{4}$ 弱存。	第1号主 体部埋土。				
29		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	$\frac{4}{5}$ 存。	封土上位。				
30	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。					長石、石英 含む。	口縁部は は元存。	第1号主 体部埋土。				
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	脣ハケ目 (頭)後、 横ナデ。						長石含む。	口縁部は は元存。	封土。				
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	紙ハケ目 (頭)後、 横ナデ。					長石、石英 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	ノ				
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	紙ハケ目 横ナ デ、横竹管 文施す。					長石、石英 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土中位。				
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
35	横ナデ後、 沈線1条 施す。	摩耗。	摩耗。							長石、石英 含む。	$\frac{1}{4}$ 弱存。	第1号主 体部埋土。				
36			脣ハケ目。	脣ナデ。				指頭痕残 す。摩耗。	ハケ目 (摩耗)。 沈線1条 施す。	多量の長 石、石英 含む。	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土中位。				
37	横ハケ目 後、横ナ デ。	脣ハケ目。	脣ナデ (脣頭痕 残す。)	脣、横ハ ケ目後、 横ヘラミ ガキ。	横ナデ。	脣ハケ目 後、脣ヘ ラミガキ。				石英少且 含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	第1号主 体部埋土。				
38				横ナデ。	横ナデ。					長石、石英 含む。	頭部 $\frac{1}{6}$ 存。	封土。				
第71回 39				摩耗。	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			長石、石英 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	ノ				
40				横ナデ (脣頭痕 残す。)	摩耗。					長石、石英 含む。	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	ノ				
41				指ナデ。	脣ハケ目。	指ナデ。	脣ヘラミ ガキ。			長石、石英 含む。	体部 $\frac{1}{2}$ 存。	第1号主 体部埋土。				

第72表 第8号集石墓伴出遺物観察表(3)

種類 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胸部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第三回 42					横へラ削り(摩耗)。				長石含む。	1/5存。	封土中位。			
43	横ナデ。	原耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石、石英含む。	1/8存。	封土。			
44	横ナデ後、 凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。						長石、石英含む。	1/12存。	封土中位。			
45	横ナデ(ハケ原体によるか)。	横板ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す、 指指ナデ。	夏ハケ目(細)後、 横ナデ。	斜へラ削り。	取ハケ目(細)。		翠微細片 片状むらさき とんじなど含む。	1/4弱存。	封土上位。			
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縱指ナデ。	縱ハケ目。		長石、翠微細片含む。	1/4弱存。	封土。			
47	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縱指ナデ。	縱ハケ目(細)。		長石、石英含む。	1/8存。	#			
48	横ナデ。	横ナデ。	縱ハケ目(細)。						長石、翠微細片含む。	1/4弱存。	封土上位。			
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石、翠微細片含む。	1/4弱存。	封土中位。			
50	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	斜ハケ目後、 横ナデ消。		長石、翠微細片含む。	1/5存。	#			
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横指ナデ。	原耗。		長石、翠微細片含む。	1/10存。	封土上位。			
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ハケ目(小口状原体)。			長石、翠微細片含む。	1/5存。	封土。			
53	横ナデ後、 凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			ヘラ削り。	右上 リタキ後、 縦ハケ目。		翠微含む。	1/4存。	#			
第三回 54	横ナデ(小口状原体)。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	縦ハケ目後、横ナデ。		長石、石英含む。	1/4存。	#			
55	横ナデ後、 凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。						翠微含む。	1/4存。	#			
56	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、 横ナデ。			斜ナデ(板状原体)。	斜ハケ目(板状原体)。		長石、翠微含む。	1/2存。	第1号主 体部埋土。			
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目。		少量の長石、石英 細片含む。	1/5存。	封土。			
58	横ナデ。	横板ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石、石英含む。	1/4弱存。	封土中位。			
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目後、 指ナデ(指頭 板残す)。	縦板ナデ。	斜ハケ目。			石英含む。	1/4存。	第1号主 体部埋土。			
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	左上リタ キ後、 縦ハケ目。		石英含む。	1/3存。	封土。			
61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	縦、斜ハ ケ目。		長石、石英含む。	1/6存。	第1号主 体部埋土。			

第73表 第8号集石墓伴出遺物観察表(4)

標因 番号	成形 および 調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頸部		肩部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
55	横ナデ。	横ナデ。 (厚耗若 しい)。	横ナデ。 (厚耗若 しい)。			斜ナデ (指頭痕 残す)。	摩耗。			石英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。	第1号生 体部埋土。					
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	縦ハケ目 (細)。			長石含む。 $\frac{2}{3}$ 存。	封土。					
64		横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	縦指ナデ。	縦指ナデ。	長石含む。	ほぼ完存。	第1号生 体部埋土。					
65	横ナデ。 凹陷2条 残す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。					
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	縦ハケ目 (細)。			長石、雲 母細片含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	II				
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横。右上 り横タタ キ目。	斜ヘラ削 り。		長石含む。 精微。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
68								横ナデ。	横。右上 り。左上 りタタキ 目。	長石含む。	底部完存。	II				
69								横指ナデ (指頭痕 残す)。	摩耗。	長石、石 英含む。	底部完存。	第1号生 体部埋土。				
70								摩耗。	摩耗。	長石、石 英含む。 $\frac{4}{5}$ 存。	封土。					
71								斜ナデ。	横ナデ。	長石、雲 母含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。				
72								摩耗。	摩耗。	長石、石 英含む。	底部完存。	封土。				
73								斜ナデ (指頭痕 残す)。	縦ナデ (指頭痕 残す)。	雲母細片 含む。	底部完存。	II				
74								縦板ナデ。	斜ナデ。	雲母細片 含む。	底部完存。	封土上位。				
75								摩耗。	指頭痕残 す(擦耗)。 黒斑。	長石、石 英含む。	底部完存。	封土。				
76								斜ヘラ削 り。	縦板ナデ。	雲母細片 含む。	底部完存。	封土上位。				
77								縦ヘラ削 り。	縦ハケ目 後。横ヘ タタキガタ 出現。	長石、雲 母少量含 む。	底部完存。	II				
78								縦ヘラ削 り。	縦ハケ目 後。横ヘ タタキガタ 出現。	長石、石 英含む。	底部完存。	II				
79								縦板ナデ。	斜指ナデ。	長石、雲 母細片含 む。	底部完存。	封土。				
80								縦ナデ。	斜板ナデ。 黒斑。	長石、石 英少量含 む。	底部完存。	封土上位。				
81								縦ハケ目。	縦ナデ。 黒斑。	長石、石 英含む。	底部完存。	II				

第74表 第8号集石墓伴出遺物観察表(5)

擇回 番号	成形および調査の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第6回 82									摩耗。黒斑。		斜ハケ目後、縫合部含む。	長石、石英、雲母含む。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	封土。		
83									斜板ナデ(指頭痕残す)。黒斑。	左。右上縁タタキ目。黒斑。		長石、石英、雲母含む。	底部完存。	"		
第7回 84									縫ナデ。	縫ハケ目。		雲母細片含む。	底部完存。	"		
85									斜ハケ目後、斜板ナデ(指頭痕残す)。	黒斑。		長石、石英含む。	底部完存。	第2号主体部埋土。		
86									縫ヘラ削り。	縫板ナデ。		長石含む。	底部完存。	封土。		
87									斜ハケ目後、縫ヘラミガキ。	縫ヘラミガキ。		長石含む。	底部完存。	"		
88	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。						斜板ナデ。	右上リ横タタキ目後、縫ハケ目。		長石、石英、雲母含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土中位。		
89	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						縫ナデ(指頭痕残す)。	縫ナデ。		長石、石英、多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。		
90	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						斜板ナデ。	摩耗。		石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	第1号主体部埋土。		
91	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横頭痕残す。					横ハケ目後、横ナデ。	横タタキ目。		長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。		
92	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横頭痕残す。					横ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。		長石、石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	第1号主体部埋土。		
93	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						斜ハケ目、横ナデ。	横、斜ナデ。	斜ハケ目。	長石含む。	ほぼ完存。	封土中位。		
94	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						斜ハケ目後、横ナデ。	横タタキ目。		長石、石英含む。	$\frac{1}{8}$ 強存。	封土。		
95	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						斜板ナデ。	縫板ナデ。		長石、雲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"		
第5回 125		横ハケ目。	横ナデ。						(胴部以下)下指頭痕残す。	(胴部以下)縫ハケ目(縫合部)、ナデ。			長石、石英多量含む。	口縁部一部存。	封土下位。	
126		横板ナデ。	横板ナデ。						横板ナデ(指頭痕残す)。	縫ハケ目。	横指ナデ。	縫ハケ目。	長石、石英含む。	底部完存。	封土。	
130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						縫ナデ(縫合部)。	縫ナデ。		長石、石英、雲母含む。	ほぼ完存。	"		
131		横ナデ。	横ナデ。						横ナデ(指頭痕残す)。	横ナデ。	縫ナデ(指頭痕残す)。	縫ナデ。	長石、石英含む。	ほぼ完存。	"	
133		縫指ナデ。	縫指ナデ。						指ナデ(指頭痕残す)。	横ナデ。	指ナデ。	縫ナデ。	長石、石英少量含む。	ほぼ完存。	"	
134	縫、横ナデ。	縫、横ナデ。	縫、横ナデ。						横ナデ。	縫板ナデ。	縫、斜指ナデ。	長石含む。	完存。	封土。		

第75表 第8号集石墓伴出遺物観察表(6)

辨認 番号	成形 および 調整 の 状 態								胎 土	道 存 度	出土位置			
	口縁部		蓋 部		胸 部		底 部							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第55号 135	横ハケ目。	横ナデ。			縱板ナデ。	一部縦ハ ケ目。			長石含む。 $\frac{1}{5}$ 存。	II				
137	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石含む。 $\frac{1}{6}$ 存。	II				
141	横ナデ。	横ナデ (指頭痕 多量 残 す。)	横ナデ (指頭痕 多量 残 す。)						石英含む。	口縁部完 存。	第1号主 体部埋土。			

第76表 第8号集石墓伴出遺物観察表(7)

博団 番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部		杯部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1回 第1	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。 $\frac{1}{28}$ 存。	封土。				
第1回 第3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石細片 含む。 $\frac{1}{12}$ 存。					
第3回 第9	ナデ。	ナデ。	横ヘラミ ガキ。	ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				長石、石 英含む。 小片。					
109	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横ヘラミ ガキ。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{16}$ 存。					
110		横ナデ。	横ナデ。						長石、石 英含む。 $\frac{1}{19}$ 存。					
111	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石細片 含む。 $\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。				
112	摩耗。	摩耗。黒 斑。	摩耗。黒 斑。	摩耗。	摩耗。				長石、石 英多量含 む。 ほぼ完存。	封土。				
113	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				石英、碧 母含む。 $\frac{1}{4}$ 存。					
114	横ナデ。	磁ミガキ。	横ナデ。						長石、石 英含む。 $\frac{1}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。				
115	横ナデ。	横ナデ。	(横ナデ (磁ミガキ))	摩耗。	横ナデ。				長石、石 英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	封土。				
116				摩耗。	横板ナデ。				長石含む。 $\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。				
117	横ナデ。	摩耗。	摩耗。						長石、石 英含む。 $\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。				
118	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ。						長石含む。 $\frac{1}{16}$ 存。					
119	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石含む。 $\frac{1}{20}$ 存。	封土。				
120			横ハケ目。	縫 横ハケ目。 (横ヘラミ ガキ)。	シボリ目。	縫 横ヘラミ ガキ。			長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。	封土中位。				
121	横ナデ。				(上部)横 指(下部)横 ハテ目後 横ナデ。	(上部)横 指(下部)横 ハテ目後 横ナデ。	横ナデ。		長石、石 英含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	封土。				
122					縫 横ヘラミ ガキ後。	縫 横ヘラミ ガキ。	横ナデ後、凹 縫1条 通す。		長石含む。 $\frac{1}{5}$ 存。					
123					横ハケ目 (縫状)。	縫 横ヘラミ ガキ。	横ナデ。		長母細片 含む。 $\frac{1}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。				
124					横ナデ。	縫 横ハケ目 (縫ナデ)。	横ナデ。		長石、石 英含む。 $\frac{1}{2}$ 存。					
125					横ナデ。 シボリ目。	(上部)横 ハテ目後 (下部)横 ナデ。	横ナデ後、凹 縫2条 通す。		石英、碧 母細片含 む。 $\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。				

第77表 第8号集石墓伴出遺物観察表(8)

標記番号	成形および調整の痕跡								出土位置	
	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
新説目 116					斜ハケ目 後、横ナデ。	斜ハケ目 後、横ヘラミガキ。	横ナデ。	長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	第1号主 体部埋土。	
117					(上部)横 指ナデ。 (下部)横 ナデ。	(上部)横 指ナデ。 (下部)横 ナデ。	横ナデ。	長石含む。 $\frac{1}{4}$ 存。	II	
118					取指ナデ。	取ヘラミ ガキ。		長石、細 片含む。 脚上部存。	II	
119	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ。	石英含む。 $\frac{1}{8}$ 存。	II	
新説目 120					横、斜ヘ ラ削り。	横ヘラミ ガキ。		費母細片 含む。 $\frac{1}{5}$ 存。	II	
121					摩耗著し い。	取指ナデ。 シボリ目。	取ヘラミ ガキ。	費母細片 含む。 脚上部完 存。	封土。	
122					(上部)板 ナデ。 (下部)横 面、横 ナミガキ。	ヘラミガ キ。凹 面、横 面、横 ナミガキ。		長石含む。 脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。	
123				摩耗。	斜ハケ目。	摩耗。	(上部)横 面、横 面、横 ナミガキ。 斜面、横 面、横 ナミガキ。	長石、石 英含む。 脚部完存。	封土中位。	
124					(上部)横 ヘラ削り (下部)横 ナデ。	取ハケ目 後、取ヘ ラミガキ。		費母細片 少量含む。 脚上部存。	封土。	
125					摩耗。	摩耗。	取ハケ目。	石英含む。 脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土中位。	
126					(上部)横 ナデ。(下 部)横 ナミガキ。 横ヘラミ ガキ。	取ハケ目 後、取ヘ ラミガキ。		長石含む。 脚上部存。	第1号主 体部埋土。	
127					(上部)横 ナデ。 横ハケ目。 (下部)横 ナミガキ。	(上部)横 ハケ目。 (下部)横 ナミガキ。		長石、石 英含む。 脚上部存。	封土下位。	

第78表 第9号集石墓伴出遺物観察表

標図番号	成形および調査の痕跡										地 土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す。	斜ハケ目。				雲母含む。	1/4存。	封土下位。				
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						雲母含む。	1/5存。	〃				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	斜ハケ目。	斜指ナデ。斜へ タリ。	縫、斜ハ ケ目。			長石少呈 含む。	1/10存。	〃				
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ヘラ削 り。	摩耗。			長石、雲 母含む。	1/5存。	〃				
5		横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縱指ナデ。	摩耗。			長石、石 英含む。	1/2存。	〃				
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。斜へ タリ。	右上りタ タキ目後、 縫、斜ハ ケ目。			長石、雲 母含む。	1/4存。	〃				
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫、斜へ タリ後、 斜板ナデ。	斜ハケ目。			長石、石 英含む。	1/12存。	〃				
8							斜ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。ナ ダ。	雲母含む。	底部完存。	〃					
9							斜ハケ目。	摩耗。ナ ダ。	長石含む。	底部1/4存。	〃					
10							斜板ナデ。	横、斜ナ デ。	雲母含む。	完存。	〃					

第79表 土塙墓伴出遺物観察表(1)

押回 番号	成形および調整の痕跡										粘土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頭部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
頭底回 1		横ナデ。	横ナデ。							骨母細片 含む。	1/8存。	ST20				
2	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目。			砂粒を含 まず粘土。	1/4存。		ノ			
3	横ナデ。 凹線2条 底付。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	小片。		ノ			
4						横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	(頭部内 面) 横ナ デ。	(頭部外 面) 斜ハ ケ目後、 横ナデ。	長石含む。	底部、脚 部はほ光 存。		ノ			
5								腹ナデ。	斜板ナデ。 黒斑。	骨母含む。	底部1/2存。		ノ			

第80表 土塙墓伴出遺物観察表(2)

押回 番号	成形および調整の痕跡										粘土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯部		胴部		脚端部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
頭底回 6						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		骨母細片、 長石含む。	小片。	ST22				

第81表 壺棺墓伴出遺物観察表(1)

辨別番号	成形および調査の痕跡										胎土	保存度	出土位置			
	口縁部		頸部		肩部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第三回					縦ナデ。指頭痕残す。斜板ナデ。	横、右上りナタ。左下リナタ。斜板ナデ。底板ナデ。	斜ナデ。	横、右上りナタ。左下リナタ。斜板ナデ。底板ナデ。	良石。石美鑑片含む。	胸部ほぼ完存。	S T01					
第四回	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		ナデ。一部斜ヘラ削れ。底板ナデ。	斜ハケ目。黒斑。	斜ナデ。	斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。	ほぼ完存。	S T02					
2					斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。							
第五回	横ナデ。		横ナデ。		斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。	ほぼ完存。	S T03					
2					横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。黒斑。	斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。	胸部ほぼ完存。						
第六回					横ナデ。指頭痕残す。底板ナデ。	横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。	底部完存。	S T04					
第七回	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。指頭痕残す。底板ナデ。	横、斜ハケ目。黒斑。			石美。寶鑑片含む。	洞部 $\frac{1}{3}$ 存。						
第八回	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横、斜ナデ。底板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。	長石。石美。寶鑑片含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	S T05					
2					横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	長石。石美。寶鑑片含む。	胸部ほぼ完存。						
第九回	横ナデ。	斜ハケ目。指頭痕残す。	横ナデ。		横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	良石。石美含む。	ほぼ完存。	S T06					
2					横ナデ。	横ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。斜板ナデ。	良石。石美含む。	胸部ほぼ完存。						
第十回	横ナデ。	斜ハケ目。指頭痕残す。	横ナデ。		横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ハケ目。黒斑。	横、斜ナデ。底板ナデ。	横、斜ナデ。底板ナデ。	良石。石美含む。	胸部ほぼ完存。	S T07					
第十一回	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。斜板ナデ。横ナデ。	横、斜ハケ目。斜板ナデ。横ナデ。	横ハケ目。底板ナデ。斜板ナデ。底板ナデ。	横、斜ハケ目。底板ナデ。斜板ナデ。底板ナデ。	斜ヘラ明り残す。斜板ナデ。	斜ヘラ明り残す。斜板ナデ。	長石。石美含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。						
2					横、斜ヘラ削り。	横ナデ。	横、斜ヘラ削り。	横ナデ。	長石。石美含む。	底部完存。						
3					横、斜ヘラ削り。	斜ナデ。	横、斜ヘラ削り。	斜ナデ。	長石。石美含む。	ほぼ完存。						
第十二回					横、斜ナデ。底板ナデ。底板。	横、右上リナタ。左下リナタ。斜板ナデ。底板。	横、右上リナタ。左下リナタ。斜板ナデ。底板。	横、右上リナタ。左下リナタ。斜板ナデ。底板。	良石。石美大粒含む。	$\frac{1}{2}$ 存。						
第十三回					横、斜ナデ。斜板ナデ。底板。	横、斜ナデ。斜板ナデ。底板。	斜ハケ目。指頭痕残す。	斜ハケ目。指頭痕残す。	良石。石美含む。	ほぼ完存。	S T08					
第十四回					横、斜ナデ。斜板ナデ。底板。	横、斜ナデ。斜板ナデ。底板。	斜ハケ目。指頭痕残す。	斜ハケ目。指頭痕残す。	長石。石美含む。	ほぼ完存。						
黑板回					横、斜ハケ目。底板。	横、斜ハケ目。底板。	斜ハケ目。指頭痕残す。	斜ハケ目。指頭痕残す。	長石。石美含む。	底部完存。	S T09					

第82表 壺棺墓伴出遺物観察表(2)

開口 番号	成 形 お よ び 調 整 の 痕 跡								胎 土	遺 存 度	出土位置		
	口縁部	口 縁 部		頸 部		肩 部		底 部					
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第16周 2					指ナデ。 指頭痕残 す。横、斜 ハケ目。	腹、斜ハ ケ目。黒 斑。	腹、斜ハ ケ目。斜 ナデ。	腹、斜ハ ケ目。斜 ナデ。	長石。石 英少且合 む。	調部 $\frac{2}{3}$ 、 底部完存。	S T09		
第17周 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横、斜板 ナデ。	腹、斜ヘ タミガキ。	斜板ナデ。	斜ヘラミ ガキ。斜、 斜ナデ。	長石。石 英含む。	ほぼ完存。	S T10		
2					横ナデ。 高目。	縱指ナデ。 指頭痕残 す。横、斜 ハケ目。	腹、斜 ナデ。	腹、斜 ナデ。	長石。石 英含む。	$\frac{2}{3}$ 脊。	"		
第18周	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 凹線 $\frac{1}{2}$ 自 然 $\frac{1}{2}$ 後、 横ナデ。						長石。石 英含む。	口縁部完 存。	"		

第83表 不明造構伴出遺物観察表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部		頭部		胴部		底部		土	遺存度		
			内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第83回					横、斜へ ウ削り。	縫、斜ハ ケ目。黒 斑。	斜指ナフ。	斜ハケ目。	石英含む。	底部充存。	S X01	
第83回 1	ヘラ彫曲 又彫ナフ。	横ナフ。	横ナフ。						石英細片 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	S X02	
2	横ナフ。	横、斜へ ラミガキ 後、横ナフ。	横、斜へ ラミガキ。		横、斜へ ラミガキ。	横、斜へ ラミガキ。			大粒石英、 雲母少量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	#	
3		斜ハケ目 後、横ナフ。	横ナフ。		斜ハケ目 後、斜指ナフ。 黒斑。	左上リタ ク目後、 斜ハケ目。 黒斑。	縫、斜へ ウ削り。	黒斑。	長石、石 英少量含 む。	ほぼ充存。	#	
4	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。						砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{2}$ 存。	#	
5	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。				砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{16}$ 存。	#	
6		横ハケ目。	横、斜ハ ケ目後、 横ナフ。		斜ナフ。	斜ハケ目。			砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{3}$ 存。	#	
7		斜ハケ目 黒斑。	斜ハケ目 後、横ナフ。						砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
8		横ナフ。	横ナフ。		斜ハケ目 後、斜ナフ。 黒斑。	斜ハケ目 後、斜ナフ。 黒斑。			長石、石 英少量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
9	横ナフ。	斜ハケ目 後、横ナフ。	横ナフ。		斜ハケ目。	横タタキ 後、斜ハ ケ目。			砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
10		横ナフ。	横ナフ。		横ナフ。	横ナフ。			砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
11	横ナフ。	斜ハケ目 後、横ナフ。	横ナフ。		斜ハケ目 後、横ナフ。	縫、斜ハ ケ目。			長石、石 英少量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
12	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。		斜ナフ。	縫、斜ハ ケ目後、 横ナフ。	縫ナフ。		砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
13		横ナフ。	横ナフ。		斜ナフ。	縫ナフ。	縫ナフ。 黒斑。		砂粒多量 含む。	底部充存。	#	
14	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。		斜ヘラ削 り。	横ナフ。			砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部は ば充存。	#	
15	横ナフ。	斜ハケ目 後、横ナフ。 斜ハケ目。	右上リタ ク目後、 斜ハケ目。		斜ヘラ削 り。	右上リタ ク目後、 斜ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
16	横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。 黒斑。		横ハ ケ目後、 横ナフ。	横ハ ケ目。 黒斑。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	
第83回 17					斜ハケ目 後、横ナフ。 斜ハケ目。	縫、斜ハ ケ目。黒 斑。	縫ナフ。 (表面真 横残す)。	斜ハケ目。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部充存。	#	
18						斜ヘラ削 り。		斜ヘラ削 り。	縫、斜ハ ケ目。黒 斑。	石英少量 含む。	底部充存。	#
19	横ハケ目 後、横ナフ。	横ナフ。	横ナフ。		横ハケ目 後、横ナフ。	横、斜ナ フ。	斜ハケ目 後、横ナフ。	斜ヘラ削 り後、横ナ フ。	長石、石 英少量含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	#	

第84表 不明遺構伴出遺物観察表(2)

神園 番号	成 形 お よ び 調 整 の 痕 跡								地 土	遺 存 度	出土位置			
	口縁部		頸 部		鶴 部		底 部							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
酒田園 26	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後。 横ナデ。		取、斜ハ ケ目後。 横ナ デ。	斜ハケ目 後。斜ナ デ。	斜ハケ目 後。斜ナ デ。	斜ハケ目 後。斜ナ デ。	長石含む。	1/10存。	S X02			
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横、斜ハ ケ目。	斜ヘラ削 り後。斜 ハケ目。			長石。石 英少量合 む。	1/10存。	〃			
28	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。		斜ハケ目。	斜ナデ。	取、斜ハ ケ目。	斜ヘラ削 り。	長石。石 英含む。	1/2存。	〃			
29		横ナデ。 黒斑。	横ナデ。 黒斑。		斜板ナデ。		斜板ナデ。		砂粒をほ とんど含 まない。	ほぼ完存。	〃			
30		斜ハケ目。	横ナデ。		斜ハケ目。	取、斜ナ デ。	斜ハケ目。	横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	ほぼ完存。	〃			
第66回 1	摩耗。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。		長石含む。	1/5存。	S X03			
2	ヘラ削 鉛文施す。	横ナデ。	横ナデ。						寶母細片、 長石含む。	1/8存。	〃			
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						砂粒をほ とんど含 まない。	1/3存。	〃			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						寶母細片 含む。	1/10存。	〃			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	取ハケ目。			寶母細片 含む。	1/16存。	〃			
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜ハケ目。			寶母細片、 長石含む。	1/10存。	〃			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						寶母含む。	1/6存。	〃			
8							斜ハケ目。	右上リタ キト目後。 横ナデ。	寶母含む。	底部1/2存。	〃			
9							横ナデ。	横ナデ。	長石。石 英含む。	1/3存。	〃			
10							斜ハケ目 後。横ナ デ。	横ナデ。	寶母細片、 長石含む。	底部完存。	〃			
第67回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指ナデ。 指頭痕残 す。斜ヘ ラ削り。				長石。石 英少量含 む。	1/3存。	S X04			
2	横ナデ。 凹線2条 施す。	横、斜ハ ケ目。	横ナデ。	横、斜ハ ケ目。	横ナデ。				寶母含む。	1/3存。	〃			
3					指頭痕残 す。	斜ヘラ ミ石 上リタ キト目 後。斜 ハケ目。	横ナデ。	取ヘラミ ガキ。	長石。石 英細片、 寶母含む。	1/2存。	〃			
4	横ナデ。	横、斜ハ ケ目。	横ナデ。		取、斜指 ナデ。斜 ヘラ削り。	右上リ タキト 目後。斜 ハケ目。	斜指ナデ。	右上リタ キト目 後。斜 指ナデ。	寶母含む。	1/2存。	〃			
5	横ナデ。 凸線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕残 す。		取ナデ。	右上リタ キト目 後。取、 斜ハケ目。	横ナデ。	横タタキ 目後。取、 斜ハケ目。	寶母含む。	1/2存。	〃			

第85表 不明遺構伴出遺物観察表(3)

部品番号	成形および調整の痕跡								出土	遺存度	出土位置			
	口縁部		窓部		脚部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第85号					斜頭成形 す。斜 頭へラ削 リテ。	右上り。 左上り。 横タタキ 削。斜 頭へラ削 リテ。	縱指ナデ。	縱ヘラミ ガキ。	石英、雪 母含む。	1/2存。	SX04			
第86号	横ナデ後。 四錐1基 削す。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削 り後。斜 ハケ目。	横タタキ 削後。斜 ハケ目。	横。斜ハ ケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	長石、石 英等母 片含む。	口縁部は ば完存。	SX05			

第86表 不明遺構伴出遺物観察表(4)

部品番号	成形および調整の痕跡								出土	遺存度	出土位置			
	口縁部		窓部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第85号	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					石英含む。	1/2存。	SX02			
20	横。斜ヘ ラミガキ。 黒斑。	横。斜ヘ ラミガキ。 黒斑。	横ヘラミ ガキ。	横。斜ヘ ラ削り後。 ヘラミガ キ。					長石含む。	1/8存。	#			
21	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			石英含む。	1/4存。	#			
22	横ハケ目 後。斜ヘ ラミガキ。 黒斑。	横ハケ目 後。斜ヘ ラミガキ。 黒斑。	縱。斜ヘ ラミガキ。 後。斜 ヘラミ ガキ。	斜ハケ目 後。斜 ヘラミ ガキ。					石英含む。	杯部1/2存。	#			
23					シボリ目。 横ナデ。	縱ヘラミ ガキ後。 横ハケ目。			長石含む。	脚部1/2存。	#			
24					横ナデ。	斜ハケ目 後。横ナ デ。			長石含む。	1/5存。	#			
第86号					縱ナデ。	横ナデ。			砂粒を含 まず精耕。	1/6存。	SX03			
第87号	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目。				長石、石 英等母 片含む。	1/3存。	SX04			
8					縦ナデ。 シボリ目。	縦ナデ。	横ナデ。		雪母含む。	脚部1/4存。	#			
9					斜ヘラ削 リ。	右上り。 左上り。 横タタキ 目。	横ナデ。		少量の長 石、雪母 含む。	脚部1/2存。	#			

第87表 挖立柱建物跡伴出遺物観察表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
測量図1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタクキ自後、斜ハテ目。			長石、算母少量じ。	1/6厚。	S B07				
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	小片。		"			
3	横ナデ。	横ナデ。	斜ハテ目、横ナデ。							砂粒を含まず精緻。	小片。		"			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。凹線1条施す。							長石含む。	小片。		"			
10		横ハテ目。	摩耗。			横ハテ目。	摩耗。			砂粒を含まず精緻。	1/5厚。	S B08				
11	横ナデ。	横ハテ目後、横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハテ目後、横ナデ。					長石含む。	1/6厚。	S B09				
13								斜ハテ削り。	縦ナデ。黒斑。	長石、石英含む。	底部1/2厚。		"			
14								斜ナデ。	右上りタクキ自後、斜ハテ目。	砂粒を含まず精緻。	底部1/4厚。		"			
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。							石英含む。	小片。	S B10				
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	小片。		"			
19	ヘラ彫刻 曲文施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1/10厚。		"			
20	横ナデ。	横ナデ。	斜ハテ目後、横ナデ。							雲母細片含む。	1/5厚。		"			
17	横ナデ。 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細片含む。	小片。		"			

第88表 挖立柱建物跡伴出遺物観察表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		輪端部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
測量図4					摩耗。	摩耗。				砂粒を含まず精緻。	1/12厚。	S B07				
12				縦ハテミガキ。	横ナデ。	縦ナデ。	縦ハテミガキ。			長石、石英含む。	1/4厚。	S B09				
18						摩耗。	摩耗。	摩耗。		石英多量含む。	小片。	S B10				

第89表 掘立柱建物跡伴出遺物観察表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 盖		杯 身		高 杯		壺							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第204回 6			2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ヘラ 削り。							$\frac{1}{12}$ 存。	SB 07		
7			4 回転ナデ。 5 回転ナデ。	4 回転ヘラ 削り。 5 回転ナデ。							$\frac{1}{4}$ 存。	#		
8					3 回転ナデ。	3 回転ヘラ 削り後。 回転ナデ。					杯部 $\frac{2}{3}$ 存。	#		
9						1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。				$\frac{1}{5}$ 存。	#		

(註)

須恵器の観察表に用いたアラビア数字の表わす部位は下記の通りである。

杯 盖 1 顶部 2 脊部 3 端部 4 かえし部

杯 身 1 かえし部 2 口縁部 3 胸部 4 底部 5 高台部

高 杯 1 口縁端部 2 口縁部 3 杯部 4 脚部 5 脚端部

壺 1 口縁端部 2 口縁部 3 類部 4 脚部 5 底部

第90表 不明遺構伴出遺物観察表(5)

調査番号	成形および調整の痕跡										粘土	遺存度	出土位置	
	口縁部		頸部		胴部		底部		内面	外面				
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		内面	外面			
第20968 1	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								石英、 碧玉 片含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	SX 06	
2				横ハケ目 後、横ナ デ。								長石、 碧玉 片含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃
3		横ナデ。	横ナデ。									長石、 石英含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃
4		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。					長石、 石英含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	〃
5		横ナデ。 黒鉛。	横ナデ。			横ナデ。 指頭痕残 す。	横ナデ。					長石、 石英含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	〃
6		横、斜ナ デ。	縱指ナデ 後、横ナ デ。			横ナデ。	斜ナデ。					長石、 石英含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	〃
第217回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。									砂粒を 含まず 粗粒。	$\frac{1}{10}$ 存。	SX 09
2		横ナデ。	横ナデ。									長石含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	〃
3	磨ナデ。 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。									砂粒を 含まず 粗粒。	$\frac{1}{10}$ 存。	〃
4	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) 竹合文施す。	横ナデ。										滑石 片多量 含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	〃
5		横ナデ。	横ナデ。									石英含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	〃
9									摩耗。	摩耗。		石英含 む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃
10									縱ナデ。	縱ナデ。		長石、 石英少 量含む。	底部完 存。	〃
11									横ナデ。	横ナデ。		滑石 片含む。	底部。	〃
第219回									縱斜ナデ。	斜ナデ。		石英含 む。	底部完 存。	SX 10

第91表 不明遺構伴出遺物観察表(6)

査定番号	成形および調整の痕跡										出土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						
第209図 7								横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石、石英含む。 鈣塗片含む。	1/20存。	SX 06			
8				摩耗。				摩耗。			石英大粒含む。	小片。	#			
9						縦、斜へ テ削り。	縱板ナデ。				長石含む。 脚部2/3存。		#			
第217図 6		横ナデ。	磨耗。								長石、石英含む。	小片。	SX 09			
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。								砂粒を含む。 脚部。	小片。	#			
8								横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石、石英含む。	1/2存。	#			

第92表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		副部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第227回 15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						横ナデ。摩耗。	砂粒を含む。	小片。	SP 4				
16		横ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。			横ナデ。斜ハケ目。				長石含む。	頭部 $\frac{1}{12}$ 存。	SP 6				
18	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) 摩耗。									石英、 碧母織 片含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SP 18				
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ヘラミ ガキ。			石英含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		#			
21		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石、 石英含む。	頭部 $\frac{1}{3}$ 存。		#			
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横、斜ハ ケ目。	右上リタ グキ目。			碧母織 片含む。	頭部 $\frac{1}{8}$ 存。		#			
25	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SP 35				
26	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							碧母織 片含む。	小片。		#			
27									斜ヘラミ ガキ。	横ナデ (指頭痕 残す)。	長石、 石英含む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	#			
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。					長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	SP 40				
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							碧母織 片含む。	口縁部 $\frac{1}{28}$ 存。		#			
33	横ナデ後、回 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	小片。	SP 45				
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	小片。	SP 46				
35									斜ハケ目。	碧ナデ。	碧母含む。	底部完存。	#			
36	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。		#			
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			砂粒を含む。	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	SP 50				
42	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。			横ナデ。	横ナデ。 黒斑。			砂粒を含む。	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	SP 70				
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SP 73				
46						麻ナデ。 黒斑。	斜ナデ。 黒斑。	摩耗。	石英含む。	長石、 石英含む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SP 142				

第93表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡								出土位置	
	口縁部		杯部		脚部		脚端部			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	横ナデ。	横ナデ。		
第227回 19							横ナデ。	横ナデ。	豊母細片 含む。精 緻。	
40							斜ハケ目。	横ナデ。	豊母含む。 小片。 SP 56	

第94表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡								出土位置	
	杯部		杯身		高杯		盃			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第227回 17									1/4存。 SP 6	
23	1 逆トヤナゲ。 2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	1 回転ヘラ 削り。 2 回転ヘラ 削り。 3 回転ヘラ 削り。 4 回転ヘラ 削り。	2 回転ナゲ。 3 回転ヘラ 削り。	2 回転ナゲ。 3 回転ヘラ 削り。					ほぼ完存。 SP 19	
24									脚部1/7存。 #	
28					4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。			脚部1/8存。 SP 35	
31			2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。					口縁部1/24存。 SP 40	
32			1 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。 3 回転ヘラ 削り。					口縁部1/6存。 #	
37			2 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。					小片。 SP 50	
38			2 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。					小片。 #	
41					4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。			脚部1/4存。 SP 64	
44					3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	3 回転ヘラ 削り。 4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。			脚部1/2存。 SP 85	
45					3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。			脚上部存。 SP 95	
47							4 背海波。 4 格子タグ モ目後 斜ハケ目。	4 格子タグ モ目後 斜ハケ目。	体部一部 存。 SP 142	
48			2 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。					口縁部1/10存。 SP 144	

第95表 第5層上面検出ピット群伴出遺物観察表(1)

発掘番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第226回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	斜ナデ。			長石、 骨母含む。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	SP 175				
2								縦、斜ナ デ。	横ナデ。	長石、 石英含む。	底部充 満。		〃			
5								摩耗。	摩耗。	石英含 む。	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	SP 206				
6						斜ハケ目。	縦ハケ目。 黒道。	縦、斜ハ ケ目。	縦、斜ハ ケ目。	石英、 骨母含 む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。		〃			
7				横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まない。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SP 208				
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							石英細 片含む。	小片。	SP 215				
9						横ハケ目。	ナゲ後、 前縁、或 状文施す。			砂粒を 含まない。	体部小 片。		〃			
10	横ナデ。	横ナデ。 摩耗。								長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	SP 230				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ、 右ヘラ削 り。	横ナデ、 右上リタ タキ目。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{35}$ 存。 底部 $\frac{1}{16}$ 存。	SP 235				
12	横ナデ後、凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	小片。	SP 245				
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	SP 246				

第96表 第5層上面検出ピット群伴出遺物観察表(2)

発掘番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯部		胴部		脚部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第226回 3	摩耗。	摩耗。	摩耗。							砂粒含 まない。	小片。	SP 206				
4						摩耗。	摩耗。	摩耗。		石英細片、 骨母含む。	小片。		〃			
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							少少の骨母 含む。	小片。	SP 246				

第97表 第5層出土遺物觀察表(1)

検出番号	成形および調整の痕跡									船土	遺存度	出土位置			
		口縁部		頸部		胴部		底部							
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第229回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目。	縦ハケ目。 鉛ヘラ前 引り。	右上りタ タキ目後。 鉛ハケ目。			雲母端 片含む。	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	10-H			
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	8			
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 一部斜 引り。	縦ハケ目(横 ナデにより 削消えらる)。				雲母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-I			
4	横ナデ後、四 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。	縦ハケ目。 凹線1本 施す。				石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-I			
5	横ナデ。	縦ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 一部斜 引り。	縦ハケ目。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-H			
6	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。					長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	12-H			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-H			
8	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	縦ナデ。 鉛ナ デ。	縦ハケ目。 鉛ナ デ。	縦ヘラミ ガキ後、横ナ デ。				雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-G			
9	横ナデ後、四 線1条施す。	摩耗。 一部横ハ ケ目。	横ナデ後、 鉛ハケ目。	摩耗。 一部ハ ケ目。	摩ナデ後、 鉛ハケ目。					長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	15-I			
10	横ナデ。	横ナデ。 斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ハケ目。	縦ハケ目。				長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	8			
11	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目。	横ハケ目。	斜ハケ目。	斜ナデ(横 線2本引 き、鉛ヘ ラ引り)。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-H			
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					石英多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-G			
13	横ナデ。	横ハケ目。 斜ヘラミ ガキ。	横ハケ目。 斜ヘラミ ガキ。	横ハケ目。 斜ヘラミ ガキ。						雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-I			
14	横ナデ後、四 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ(一 本)。	斜ヘラミ ガキ(一 本)。	斜ヘラミ ガキ(一 本)。	縦ハケ目 後、鉛ヘ ラミガキ。			長石含 む。	頭部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-H			
15	横ナデ後、四 線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ目 後、横ナ デ。				長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G			
第230回 16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					雲母端 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I			
18	横ナデ後、四 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目。	縦ハケ目 後、斜ナ デ。			雲母端 片含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H			
19	四線1条施す。	横ハケ目。	摩耗。	縦ナデ後、 横ナデ。	摩耗。					雲母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G			
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦折れさ 子。	縦折れさ 子。			雲母端 片含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-F			

第98表 第5層出土遺物観察表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										土質	遺存度	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第230回 21	横ナデ後、凹 縫2条施す。	横ハケ目。縫ハケ目。	横ハケ目。	縫ハケ目。 朱が付着。						石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H				
22	横ナデ後、凹 縫1条施す。	横ナデ後、横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目。 頭部部 面に削 きられる。	縫ハケ目。 頭部部 面に削 きられる。	横ハケ目。 頭部部 面に削 きられる。	斜トヶ目。 頭部部 面に削 きられる。	横ハケ目。 頭部部 面に削 きられる。		砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	15-I				
23	横ナデ後、削 目施す。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ後、 斜ヘラミ ガキ。								石英少 量含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G			
24	横ナデ後、凹 縫3条施す。	横ナデ。	摩耗。								長石、 大粒石 含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-K			
25	横ナデ後、沈 縫6条施す。	横ナデ。	横ナデ後、 横ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含 む。	口縁部 完存。	11-H			
26	横ナデ。	横ナデ 縫ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。					長石、 石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-G			
27	横ナデ後、凹 縫2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ 頭部部 面に削 きられる。	横斜ナデ。		石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	11-H				
28	横ナデ後、凹 縫2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-H			
29	横ナデ後、凹 縫2条施す。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。						石英多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	12-H			
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。					長石、 石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H			
31	横ナデ後、凹 縫3条施す。	横ナデ。	横ナデ。								砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	11-G			
32	横ナデ後、凹 縫6条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H			
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、 縫6条施 す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I			
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後、 縫6条施 す。	横ナデ。	横ナデ。						砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
35	剥落。	剥落。	剥落して いるが、 多くは 残りの 部分のみ である。								長石頭 片含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	15-I			
36	剥落。	剥落。	剥落と 表記され るが、 頭部部 面に削 きある。								石英、 石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
37	横ナデ。	横ヘラミ ガキ後、 横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ、横 ハケ目後、 横ナデ。	横ナデ。						長石頭 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ文 字施す。	横ナデ後、 横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ後、 縫ハケ目。					長石、 石英含 び。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-G			
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H			
40	横ナデ。	横ナデ。	斜格子文 字施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ日 期、横ナ デ。	横ナデ施す。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-I			

第99表 第5層出土遺物観察表(3)

発掘番号	成形および調整の痕跡										胎土	追存度	出土位置			
	口縁部		頸部		肩部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第231図 41	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後、 指頭痕残す。	摩耗。	横ハケ目。 横板ナデ。	タタキ田 模様ナデ。 大部分が 摩耗。				母母母 片多量 含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H			
42				横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。 指頭痕残 量甚。				長石、 石英含 む。	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H			
43	横ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ後、 横ハケ目。	横ナデ。						石英、 母母母 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	#			
44	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕 模様ナデ。 横ヘラ前 り。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-F			
45				横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	刮目施す。 横ナデ。				母母母 片含む。	頭部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-H			
46	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。	摩耗。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。						長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-G			
47	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜板ナデ。	縦ハケ目。						長石、 石英を 含む。	頭部 $\frac{3}{4}$ 存。	12-I			
48	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目。	摩耗。	縦、斜ハ ケ目。				母母合 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-H			
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-G			
50	横ナデ。	横ナデ。	竹葉文、 横格子文 施す。								長石、 石英含 む。	小片。	11-H			
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。 斜ナデ。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-G			
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 指頭痕残 す。	斜ハケ目。 黒斑。				石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-F			
53	横ナデ後、 回線1条残す。	横ハケ目。 摩耗によ り不明瞭。	横ハケ目。 摩耗によ り不明瞭。			斜ハケ目。 摩耗によ り不明瞭。	斜ハケ目。 摩耗によ り不明瞭。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H			
54	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I			
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	横ハケ目。				石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
56		横ハケ目。斜ハケ目。				斜板ナデ。	斜ハケ目。				砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I			
第232図 57	横ナデ。	斜ハケ目。横ナデ。			斜板ナデ。 斜ヘラ削 り。	右上タタ キ後、 横ハケ目。					母母母 片含む。	口縁部 ほぼ完 存。	11-H			
58	横ナデ。	横板ナデ。 ヘラ先の 痕跡。				縦ヘラ削 り。	剥落。				石英少 量含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	#			
59	横ナデ。	横ハケ目。横ナデ。				ヘラ削り。	横ハケ目。				母母合 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	#			
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 摩耗。	横ハケ目。				母母合 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-H			

第100表 第5層出土遺物観察表(4)

標図番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第232回 61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後、斜ハ ケ目。			留母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後、斜ハ ケ目。			留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	腹板ナデ。			口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I			
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後、斜ハ ケ目。	斜上リメ タリ削り、 斜ナデ。		石多、 留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
65	横ナデ。	横ナデ後、 横ハケ目。	横ハケ目。			斜ヘラ削 り。	腹ハケ目。		留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。		留母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指おさき 削り。	腹ハケ目 後、斜ハ ケ目。		長石、 留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-I			
68	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後、 横面削れ す。	斜ハケ目。 摩擦。		長石含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-F			
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。 黒斑。		留母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-H			
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後、 斜ハケ目。	ダグラス 留母、斜 ハケ目。		留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
71	ハケ原体で横 ナデ。	横ハケ目。	ハケ原体 で横ナデ。			横ナデ後、 斜ハケ目。	石上ヨダ 留母、斜 ハケ目。		留母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-I			
72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指おさき 削り。	部分的に 斜ハケ目。		大粒石 多少混 合む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
第233回 73	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ (筋道直 線)。	腹ハケ目。		砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H			
74	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ (筋道直 線)。	斜ハケ目。 不明瞭。		砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横斜ナデ。	腹ハケ目。		留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G			
76	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横板ナデ 斜ヘラ削 り。	剥落。		大粒長 石少量 含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-I			
77	横ナデ。	横斜ナ デ。	横ナデ。						留母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-F			
78	横ナデ後、凹 線1条残す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。 斜ヘラ削 り。	石上ヨ ダ後、斜 ハケ目。		留母細 片多量 含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-H			
79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜ハケ目。 斜ヘラ削 り。		長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-I			
80	ハケ原体によ るらしい凹線。	横ナデ。	斜ハケ目。 斜板ナデに よう焼けた る。			斜ナデ(相 対的削り)。	斜ハケ目。		長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H			

第101表 第5層出土遺物観察表(5)

標図番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第233図 81	凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目。黒斑。				長石、石英少量と多量含む。	口縁部 1/4存。	11-G			
82	横ナデ後、凹線らしきもの1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			脇折ナデ(脇折を施す)。	脇折ナデ(脇折を施す)。				砂粒を含まない。	口縁部 1/4存。	12-I			
83	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り後、斜ハケ目。	斜ハケ目。日字、黒斑。				脇母細片含む。	口縁部 1/3存。	11-H			
84	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	横タクチ目後、斜ハケ目。				脇母細片含む。	口縁部 1/4存。	10-I			
85	横ナデ後、凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目。				脇母細片含む。	口縁部 1/3存。	II			
86	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目。黒斑。				脇母細片含む。	口縁部 1/4存。	11-H			
87	横ナデ。	ハケの原体で横ナデす。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目。斜ナデ。				脇母含む。	口縁部 1/5存。	10-H			
88	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。				砂粒を含まない。	口縁部 1/4存。	II			
89						横ナデ後、斜ハケ目。	斜ヘラ削り後、斜ハケ目。				脇母含む。	口縁部 1/6存。	II			
90	横ナデ後、凹線1条施す。	斜ハケ目後、横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	横タクチ目後、斜ハケ目。				長石含む。	口縁部 1/4存。	II			
91	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横、斜ヘラ削り。	斜、斜ハケ目。				脇母細片少量含む。	口縁部 1/5存。	II			
92	横ナデ後、凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ハケ目。				砂粒を含まない。	口縁部 1/10存。	10-I			
第234図 93	横ナデ後、凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	右上よりタタキ目後ハケ目後、横ナデ。				砂粒を含まない。	口縁部 1/5存。	10-H			
94	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	右上タタキ目後、斜ハケ目。				砂粒を含まない。	口縁部 1/4存。	12-G			
95	横ナデ後、凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラ削り後、横ナデ。	横ハケ目。				長石、石英含む。	口縁部 1/4存。	11-H			
96	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ、斜ヘラ削り後、横ナデ。	横タクチ目後、横ナデ。				脇母細片多量含む。	口縁部 1/4存。	10-H			
97	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削り。	横タクチ目後、横ハケ目。				脇母含む。	口縁部 1/4存。	10-G			
98	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(ハケ状原体)。			斜ヘラ削り。	横タクチ目後、横ハケ目。				長石、脇母細片含む。	口縁部 2/3存。	11-H			
99	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	横タクチ目後、横ハケ目。				長石、石英含む。	口縁部 1/5存。	11-I			
100	横ナデ後、沈縫状1条施す。	横ナデ。	横ナデ(ハケ状原体)。			斜ヘラ削り。	斜ハケ目後横黒斑。				大粒石英少量含む。	口縁部 1/4存。	II			

第102表 第5層出土遺物観察表(6)

発掘号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頬部		唇部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第234回 101	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (ハケ状 窓体)。			斜ヘラ削 り。	横タキ 目後、横 ハケ目。			曾母含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H		
102	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			横ナデ。 (滑頭板 残す)。	右上リタ クタキ目後、 斜ハケ目。			曾母微 細片含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H		
103	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜、斜 ヘラ削り。	横タキ 目。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	15-I		
104		横指ナデ。	横ナデ。			直角ナデ (滑頭板 残す)。	斜ヘラ削 り。	横タキ 目。	横ハケ目。	晶石 片多量 含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	12-H		
105		摩耗。	摩耗。			横指ナデ (滑頭板 残す)。	摩耗。	横指ナデ。	摩耗。	石英多 量含む。	底部完 存。	10-H		
106	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 横タキ 目。			斜板ナデ。 斜ヘラ削 り。	横タキ 目後、横 ハケ目。	横ハケ目。	横ナデ。	長石 石英含 む。	ほぼ完 存。	11-I		
107	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目。			曾母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H		
108	横ナデ。	横ナデ。 横ハケ目。	横ナデ。 (滑頭板 残す)。			斜ハケ目 (滑頭 板残す)。	横、斜ハ ケ目後、 横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	9-H		
109	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			長石細 片含む。	口縁部 はほぼ完 存。	11-H		
110	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-H		
111	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラ削 り。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	15-H		
第235回 112	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横、斜ハ ケ目。	横、斜ハ ケ目。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-G		
113	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜タキ 目。			曾母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I		
第236回 146	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 (隙間 残す)。	横、横ヘ タキマキ。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-I		
147	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横ナデ。			長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	11-F		
148	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	11-G		
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横タキ 目後、横 ナデ。			曾母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	I		
150	横ナデ。	横ナデ。 (横指 窓体)。	横ナデ。			横ナデ。	右上リタ クタキ目。			長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	I		
151	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (横指 窓体)。			横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。			長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I		
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。			斜ナデ。	右上リタ クタキ目。			長石、 石英含 む。	口縁部 完存。	11-G		

第103表 第5層出土遺物観察表(7)

接着番号	成形および調整の痕跡										土	遺存度	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第236回 153	横ナデ。	横ハケ目後、横ナデ。	横タキナデ。直頭。			横ハケ目後、斜ナデ。	横タキナデ。直頭。	ハケ目(彫状)。	横ナデ。	雪母細片含む。	完存。	12-G				
第237回 154	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦、斜ハケ目。	縦、斜ハケ目。	縦、斜ハケ目。	横ナデ。	長石含む。	口縁部 1/5存。	13-I				
155	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			ハケ目。	ハケ目。			雪母細片含む。 精微。	口縁部 1/4存。	10-H				
156		斜ハケ目。	ヘラ痕残す。			摩耗。	横タキ目。			雪母細片含む。	口縁部 1/4存。	10-I				
157	横ナデ後、凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。			横ヘラミガキ。	横ヘラミガキ。			長石、石英含む。	口縁部 1/12存。	11-H				
158	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、石英含む。	小片。	11-G				
159	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。斜ヘラミガキ。	横ナデ。			長石含む。	口縁部 1/6存。	11-H				
160	横ナデ後、凹線2条残す。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			石英含む。	口縁部 1/10存。	11-I				
161	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石、石英含む。	口縁部 1/8存。	10-G				
162	摩耗。	横ハケ目後、横ナデ。	摩耗。			横ハケ目後、横ナデ。	摩耗。			石英細片含む。	口縁部 1/6存。	12-H				
163	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。直頭。	縦ハケ目。	斜ナデ。	縦ハケ目。	雪母細片含む。	全体の 1/2存。	12-I				
164	横ナデ。	凹・ハケ目後、横ナデ。	斜ハケ目後、斜ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。直頭。	斜ハケ目後、横ナデ。	斜ナデ。	雪母細片多量含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。					
165	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ヘラ削り ハケ目。	板ナデ(彫状)。	縦ヘラ削り。	長石、石英含む。	完存。	11-G				
166	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ(彫状)。	横ナデ。			斜ハケ目後、横ナデ(彫状)。	横ナデ。斜ヘラ削り。	ハケ目(彫状)。	斜ヘラ削り。	石英含む。	完存。	9-H				
167	横ナデ。	斜ハケ目後、ナデ。	ナデ。			斜ハケ目後、ナデ。	ナデ。	斜ハケ目後、ナデ。	ナデ(指 痕残す)。	雪母細片多量含む。	完存。	11-I				
168	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。横タキ目。	横ナデ。	斜ナデ。	石英含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	12-I				
169	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。			横板ナデ。	斜ハケ目。	板ナデ(彫状)。	斜ハケ目。	長石含む。	ほぼ完 存。	11-G				
170	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。	縦、斜ナデ。			斜ハケ目。	縦、横ナデ。直頭。	ハケ目(彫状)。	斜ナデ。	石英含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	9-H				
171		斜ハケ目。	横タキナデ。			斜ハケ目後、横ナデ。	斜タキナデ。直頭。	斜ナデ。	横ナデ。	雪母細片含む。	完存。	9-H				
172	摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。			斜ハケ目(摩耗)。	摩耗。	ハケ目(彫状)。	摩耗。指 痕残す。	長石、石英含む。	完存。	11-G				

第104表 第5層出土遺物観察表(8)

測定番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第238回 173	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 黒斑。			横ナデ。 黒斑。	縦ハケ目 後、横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。	石英含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	12-G			
174	横ナデ。	斜板ナデ。 黒斑。	横ナデ (指頭痕残す)。			斜板ナデ。 黒斑。	斜ナデ (指頭痕残す)。	斜板ナデ。	斜板ナデ。	翼母細片含む。	完存。	10-H				
175		斜ハケ目。	斜ハケ目。			斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	翼母細片含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-G				
176		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 斜へラ削り後、横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す。	横ナデ。	長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	II				
177	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ナデ。 黒斑。			斜ハケ目 斜へラ削り後、横ナデ。	斜ナデ。 黒斑。	被出ナデ (指頭痕残す)。	被出ナデ (指頭痕残す)。	長石含む。	口縁部 少々欠け はげば充 て。	10-I				
178	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	右上リタ 目、斜ハフ 目後、横ナデ。			長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	II				
179	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			長石含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	15-H				
180	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ (ハケ状 態体)。			斜ハケ目 斜へラ削 り。	斜ハケ目。			長石含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-G				
181	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜ナデ。	斜へラ削 り。	横ナデ。	翼母細片含む。	ほぼ完 存。	10-H				
182	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-G				
183	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	II				
184	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-I				
185	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ 、斜へ 削り後、 横ナデ。			横ナデ。	横へラ削 り後、斜ナデ (摩 耗)。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-I				
186	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H				
187	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石、 石英少 量含む。	小片。	10-G				
188	横ナデ。	横ナデ 黒斑。	横ナデ。			井形へラ ミガキ。	井形へラ ミガキ。	井形へラ ミガキ。	井形へラ ミガキ。	翼母細片含み 精微。	杯部完 存。	11-F				
189	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ 後、 縦ヘラミ ガキ。			砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-H				
190	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			縦ヘラミ ガキ。	右上リタ 左上リタ 目。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	II				

第105表 第5層出土遺物觀察表(9)

発掘番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第235回 114	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石、石英含む。 口縁部 1/8存。	10-11				
115	横ナデ。 崩れ。	横ナデ。	横ナデ。	ヘラミガキ。	摩耗。				長石細片含む。 口縁部 1/4存。	11-H				
116	横ナデ。	縦ヘラミガキ。	斜ハケ目。 横ナデ。	縦ヘラミガキ。	横ヘラ削り。				雲母細片含む。 口縁部 1/6存。	11-I				
117	横ナデ。	斜ヘラミガキ。			縦ヘラミガキ。				雲母細片含む。 口縁部 1/8存。	10-H				
118	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石、雲母含む。 小片。	10-I				
119	摩耗。	摩耗。	摩耗。						石英含む。 口縁部 1/5存。	10-G				
120	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。	縦ナデ。				石英少量含む。 口縁部 1/8存。	11-H				
121	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						雲母含む。 小片。	10-I				
122	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石、石英含む。 小片。	10-G				
123	摩耗。	摩耗。	縦ヘラミガキ。	摩耗。	横ハケ目。 横、縦ヘラミガキ。				石英含む。 口縁部 1/2存。	11-H				
124	横ナデ。	縦ヘラミガキ。	横ナデ。	縦ヘラミガキ。	斜ハケ目。				砂粒を含まない。 口縁部 1/8存。	I				
125	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。 後、斜ヘラミガキ。					雲母含む。 口縁部 1/8存。	I				
126	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横、斜ヘラミガキ。				長石含む。 口縁部 1/5存。	11-F				
127	横ナデ後、凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				石英含む。 口縁部 1/5存。	11-H				
128	横ナデ後、凹線1朱施す。	斜ヘラミガキ。	縦ヘラミガキ。	摩耗。	縦ヘラミガキ。				石英含む。 口縁部 1/10存。	10-I				
129	摩耗。	摩耗。	摩耗。						石英含む。 口縁部 1/6存。	10-G				
130	摩耗。 崩れ。	摩耗。	縦ヘラミガキ(摩耗)。	摩耗。	摩耗。				大粒石英大量含む。 口縁部 1/6存。	11-H				
131	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				雲母含む。 口縁部 1/4存。	I				
132	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミガキ。	斜ヘラミガキ。				雲母細片含む。 口縁部 1/6存。	I				
133	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミガキ(摩耗)。	縦ヘラミガキ。	横ハケ目。			石英含む。 口縁部 1/6存。	12-H				

第106表 第5層出土遺物観察表(II)

標本番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部		杯部		脚部		脚端部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第23550 134	摩耗。	摩耗。	摩耗。 黒斑。	摩耗。	摩耗。 黒斑。					墨石。石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-G				
135	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (摩耗)。	摩耗。					石英少量 含む。	杯部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-H				
第23658 136	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ シボリ目 横ナデ。	横ナデ シボリ目 横ナデ。	横ナデ シボリ目 横ナデ。	横ナデ。	墨石。石 英含む。	ほぼ完 存。	11-G				
137						摩耗。	摩耗。	横ナデ後、凹線3 条施す。		大粒石英 含む。	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H				
138						斜ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。		砂粒を含 まない。	脚部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G				
139						横ハケ目。	横ハケ目。	横ナデ後、凹線1条 施す。		墨石。石 英含む。	脚部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-H				
140						摩耗。	摩耗。	横ナデ。		砂粒を含 まない。	脚部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I				
141						横板ナデ	縫ヘラミ ガキ。	横ナデ。		墨石。石 英含む。	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H				
142						横ナデ。	縫ヘラ削 り後。横 ナデ。	横ナデ。		墨石含む。	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H				
143						シボリ目 縫板ナデ。	縫ハケ目 後。縫ヘ ラミガキ。	横ナデ後、凹線1条 施す。		砂粒を含 まず輪状。	脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H				
144						シボリ目 斜ヘラ削 り。	縫ヘラミ ガキ。	横ナデ後、凹線2条 施す。		墨石。石 英含む。	脚部一 部欠。	10-H				
145						ナデ(摩 耗)。	摩耗。 黒斑。	ハケ目。		墨石。石 英含む。	脚部ほ ぼ完存。	12-G				

第107表 第4層出土遺物観察表(1)

洞区番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第245回 1	斜ハケ目後、へき基 裏面文施す。	横、斜ハ ケ目後、 横ナデ。	斜ハケ目。							長石、 石英含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
2	横ナデ、凹線3 条施す。	摩耗。	横ハケ目。							骨母含 G。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	B				
3	凹線8条施す。	横ナデ後、 横ハケ目。	指頭痕残 す。							長石、 石英含 U。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H				
4	凹線3条施す。	縱ヘラミ ガキ。	横ナデ。							砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G				
5	凹線7条施す。	横、斜ハ ケ目。 ハケ目。	斜ハケ目。		斜ハケ目。					大粒石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	12-F				
6	凹線3条施す。	横ナデ。	横ナデ後、 前ヘラミ ガキ。							骨母含 G。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-I				
7	凹線4条、円形 浮文施す。	横ナデ。	指頭痕残 す。							長石、 石英含 U。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G				
8	横ナデ後、竹 管文施す。	横ナデ。	縱ハケ目 後、横ナ デ。	横、斜ハ ケ目。	縱ハケ目。	横ナデ。				長石、 骨母含 U。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-I				
9	横ナデ後、凹線7条、 竹管文施す。	横、斜ハ ケ目。 ハケ目。 (意託)。	斜ハケ目後、 横ナ デ。							骨母含 G。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H				
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、 骨母含 G。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-I				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、 石英含 U。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G				
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							骨母含 U。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G				
13	横ナデ。	横ナデ。	縱、斜ハ ケ目後、 横ナデ。	縱ナデ。	縱、斜ハ ケ目後、 ナデ。					長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H				
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-F				
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 後、横ナ デ。	斜ハケ目。					骨母含 G。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	13-G				
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まな い。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I				
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。					骨母含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					骨母含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H				
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					骨母含 U。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-I				
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縱ハケ目。					長石、 石英含 U。	口縁部 完存。	12-H				

第108表 第4層出土遺物観察表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部		頭部		胴部		底部		内面	外面			
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面					
第245回 21	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜、斜ハケ目。						長石、 碧玉合 G.	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H
22	横ナデ。	横ナデ後、 横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目。	斜ハケ目。						留出合 G.	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-H
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜、斜ハ ケ目。						碧玉合 G.	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I
24	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。						砂粒を ほとん ど含ま ない。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I
25	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。						長石、 碧玉合 G.	口縁部 $\frac{3}{5}$ 存。	10-G
第246回 26	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。					長石、 石英合 G.	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-H
27	横ナデ。	(立上部)横 ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。								長石、 石英合 G.	小片。	12-H
28	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。								長石合 G.	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H
29	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。								石英、 碧玉合 G.	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-I
30	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナ デ。								碧玉合 G.	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-H

第109表 第4層出土遺物観察表(3)

件名番号	成形および調整の痕跡										地土	遺存度	出土位置			
	口縁部	口縁部		頸部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第246回 31	横ナデ、凹線1 条施す。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ、 横文施す。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ、 横文施す。							長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	12-H				
32	横ナデ。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ、 横文施す。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。	横ナデ、 剥落。						長石、 大粒石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	13-G				
33	横ナデ。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下横 ナデ。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ。		横ナデ。					長石、 石英含む。	小片。	11-G				
34	横ナデ。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下横 ナデ。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					碧母微 細片含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-G				
35	横ナデ。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下斜 ハケ目。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ。	横ナデ、 一部斜ハ ケ目。	摩耗。	横指ナデ、 摩耗。	摩耗、 剥落施す。			長石、 石英含む。	口縁部 完存。	11-H				
36	ナデ。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下横 ナデ。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ、 横頭 横残す。		横ナデ。	横ナデ後、 剥落施す。				長石、 碧母含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
37	横ナデ。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下横 ナデ。	(立上部) 横ナデ、 横文施す。 (立上部) 横ナデ、 以下横 ナデ。		横ナデ。	横文施す。				長石、 碧母含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-G				
38	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横指波状 形、 横文の波 跡残す。							碧母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G				
39		(立上部) 指面痕残 す。	(立上部) 横指波状 文施す。							長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	11-H				
40	横ナデ、凹線1 条施す。	(立上部) 横ナデ、 (立上部) 以下横 ナデ。	(立上部) 凹線5条 施す。 (立上部) 以下斜 ハケ目。							長石、 石英多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				

第110表 第4層出土遺物観察表(4)

発掘番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部	口縁部		頸部		肩部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第246回 41	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 横板ナデ。 凹線ナデ。	(立上部) 横ナデ。 横板ナデ。 凹線ナデ。							長石、 石英少 量含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H				
42	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 横板ナデ。 凹線ナデ。	(立上部) 横ナデ。 横板ナデ。 凹線ナデ。							長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H				
第247回 43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目 凹線後、横ナ デ。	横ナデ、 横ナデ。	左上リタ クナモ後、 斜ハケ目。	横ナデキ シナモ後、 斜ハケ目。		長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
44	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。				斜ハケ目 後、横ナ デ。			雲母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-I				
45	凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	11-H				
46			機板ナデ。	刻目施す。	縱指ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				長石、 石英含 む。	頸部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-F				
47	横ナデ。	横ナデ後、 横ハケ目。	横ナデ。		横ナデ、 斜ヘラ削 り。	横ナデ、 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 後、横ナ デ。			雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-I				
48	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ、 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 後、横ナ デ。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗、指 頭痕残す。	摩耗。				長石、 石英含 む。	小片。	10-I				
50	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横、斜ヘ ラ削り。	摩、斜ハ ケ目。				長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	I				
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。				雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	I				
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ、 斜ヘラ削 り。	斜、摩ハ ケ目。				砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	I				
53	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	右上リタ クナモ後、 斜ハケ目。				長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H				
54	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横板ハケ 目。	斜ハケ目 後、ナデ。				雲母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G				
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	摩、斜ハ ケ目。				鉛石、 雲母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H				
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ、 斜ヘラ削 り。					雲母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	I				
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ヘラ削 り。	摩ハケ目。				長石、 雲母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G				
第248回 58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目、 斜ヘラ削 り。	右上リタ クナモ後、 斜ハケ目。				雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H				
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削り、 斜痕残す。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。				雲母含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I				
60	横ナデ後、凹 線1条施す。	横ハケ目。	横ナデ。		縱ナデ。	横タキ シナモ後、 斜ハケ目。				長石、 石英多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-H				

第111表 第4層出土遺物觀察表(5)

査定番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		箇部		肩部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第248号 61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	縫、斜ハケ目。			留母合む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縫、斜ハケ目。		横ナデ、 縫ヘラ削り。	縫、斜ハケ目後、 横ナデ。			長石合む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H		
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ、 縫ヘラ削り。	縫ハケ目。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I		
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縫、斜ハケ目後、 横ナデ。		斜ナデ。	縫、斜ハケ目。			砂粒を含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-H		
65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目(摩耗)。			留母合む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G		
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横タタキ 目後、縫ハケ目。			長石合む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-I		
67	横ナデ、凹線2 条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ削 り、横ナデ ヘラ削り。	縫ハケ目。			留母合 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		
68	凹線1条施す。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ナデ、 縫ヘラ削 り(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。			砂粒を含まない。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	#		
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫、斜ヘラ削り。	形タタキ 目後、斜 ナデ。			砂粒を含まない。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	#		
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ、 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 化、斜ナ デ。			長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	11-I		
71	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縫、斜ハ ケ目。			留母合 む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-G		
72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縫、斜ハ ケ目後、 斜ナデ。			長石、 留母合 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H		
73	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。		横ナデ。	斜ハケ目 後、斜ナ デ。			留母合 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		
74	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。			斜ハケ目。	斜ハケ目。			砂粒を含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I		
75	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横指ナデ。			縫ナデ、 指頭痕残 す。	縫ナデ。			砂粒を含ま ない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I		
76	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。			斜、縫ヘ ラ削り残 す。	斜、縫ハ ケ目(摩耗)。			長石合 む。	口縁部 ほぼ完 存。	10-G		
第249号 77	横ナデ。	(立上)横 ナデ、(立上 横は)下横ナ デ。				斜ナデ。	斜ハケ目。			砂粒を含 まず粗粒。	口縁部 ほぼ完 存。	11-H		
78	摩耗。	(立上)横 ナデ。	(立上)横 ナデ。			縫、斜、指 頭痕残す。	摩耗。			長石合 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-I		
79	横ナデ。	(立上)横 ナデ。	(立上)横 ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石相 片含む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	12-H		
80	横ナデ。	(立上)横 ナデ。	(立上)横 ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			留母合 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		

第112表 第4層出土遺物觀察表(6)

辨認番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第249回 81	横ナデ。	[立上部]横ナデ。 [立上部以 下]横ナデ。	[立上部]横 ナデ。 [立上部以 下]横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			砂粒を含ま ない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	II-I		
82	横ナデ。	[立上部]横 ナデ。 [立上部以 下]横ナデ。	[立上部]横 ナデ。 [立上部以 下]横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			器母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	II-H		
83	横ナデ後、凹 線1本添す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	II-G		
84	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			器母細 片多量含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-G		
85	横ナデ。	斜ハケ目。	立上部タ クナデ。			斜ハケ目 後、ナデ。	右上リタ クナデ。右リ タクナデ後、 斜ハケ目。	斜ハケ目 後、横ナ デ。		呂石、 器母含 む。	ほぼ完 存。	II-I		
86	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	右上リタ クナデ後、 斜ハケ 目。			砂粒を含ま ない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-H		
87	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ、 斜ハケ目。			砂粒を含ま ない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	II-H		
88								斜ハケ目。	斜ヘラミ ガキ。	長石含 む。	底部完 存。	10-G		
89								横、脇 アラシ 等。	ナデ(指 標)。	長石、 石英含 む。	小片。	10-H		
90								斜ハケ目 後、横ナ デ。	横、斜ハ ケ目後、 横ナデ。	長石、 石英含 む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	II-H		
91								横、斜ハ ケ前り。	横、斜ハ ケ目後、 横ナデ。	石英少 量含む。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	II		
92								ヘラミガ キ後、斜 ナデ。	ヘラミガ キ。	長石、 石英含 む。	底部完 存。	10-I		
93								斜板ナデ。	横、斜ナ デ。黒斑。	器母細 片含む。	底部完 存。	II-H		
第251回 123	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。			横ナデ。	斜ハケ目。 黒斑。	横ナデ。	斜ハケ目。	石英含 む。	口縁部 多くは 保存。	15-I		
124	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ。	ハケ目 (黒斑)。	横ナデ (指標)。	器母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	12-H		
125	横ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	横ナデ (指標)。			斜ハケ目。	横ナデ (指標)。	ハケ目 (黒斑)。	横ナデ。	器母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	12-I		
126	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横、横ナ デ。	横ナデ (黒斑)。	横ナデ (指標)。	砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	10-G		
127	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ後、 横ヘラミ ガキ。	摩耗。			長石細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	II-H		
128	ナデ。		ナデ。					ナデ。		砂粒を 含まない。	ほぼ完 存。	II-I		
129	斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜板ナデ。			斜ハケ目。	斜板ナデ。	斜ナデ。	横、斜板 ナデ。	長石、 石英多量 含む。	口縁部 多くが 保存。	11-H		

第113表 第4層出土遺物観察表(7)

編目番号	成形および調整の痕跡									胎土	遺存度	出土位置			
		口縁端部		渠部		洞部		底部							
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第251回 130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫へラ ^(縫明擦)	斜板ナデ。			砂粒を含まず 精緻。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	11-I			
131	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫ナデ。	縫ナデ ^{前、縫へラ削り。}	縫ナデ。	縫、右上 リダタキ目。	長石含む。	口縁部 を含むはほん存。	9-H			
132	横ナデ。	斜ハケ目。	斜へラ削 り。			斜ハケ目。	縫、斜へ ラ削り。	斜ナデ。	縫、斜へ ラ削り。	長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	12-H			
133	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	縫ナデ。	ハケ目 (擦状)。	縫ナデ。	費母含む。	底部完 存。	11-G			
134	横ナデ。	ナデ。	横ナデ。			ナデ。		ナデ。		長石、 石英含む。	小片。	11-I			
135	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目 ^{後、横ナ} _{デ。}	ハケ目 (擦状)。	斜ナデ。	費母細 片含む。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	11-F			
136	横ナデ。 黒斑。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	横ナデ。			斜ハケ目。	左上リダ ナ目、縫合 おじよ ^(指通 削り) 。	斜ハケ目。	横、斜へ ラ削り。	長石、 石英含む。	完存。	11-H			
137	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	縫、斜ハ ケ目。	ハケ目 (擦状)。	右上リダ ナ目後、 横ハケ目。	費母含む。	口縁部 を含むはほん存。	8			
138	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縫、斜ハ ケ目。	横ナデ。		長石、 石英含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	8			
139	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	費母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	8			
140	横ナデ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜板ナデ 後、横ナ デ。			斜ハケ目 後、横ナ デ。	斜板ナデ ^{後、横ナ} _{デ。}			長石、 費母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	8			
141	摩耗。	摩耗。	縫、斜ハ ケ目。			摩耗。	縫、斜ハ ケ目。			長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	8			
142	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横、斜ハ ケ目。	縫、斜ナ デ。	斜ハケ目。	縫、横ナ デ。	長石、 石英少 量含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G			
143	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			石英、 費母細 片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
144	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横斜ハケ 目。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I			
145	ナデ。	ナデ。				ナデ。				長石、 石英含 む。	小片。	10-H			
146	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横ナデ。	斜板ナデ。	縫ナデ。	長石、 石英含 む。	完存。	12-I			
第252回 147	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ ^{後、} 横へラミ ガキ。	摩耗。			長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-H			
148	摩耗。	摩耗。	摩耗。							砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-F			
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石、 石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G			

第114表 第4層出土遺物観察表(8)

査定番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第252回 150	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。			右上りタグナデ目後、横ナデ。	斜ハケ目。			長石、石英含 G。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I				
151	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。			長石、石英含 G。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-I				
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目後、横ナデ。			長石、石英含 G。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G				
153						斜ハケ目。	履、斜ハ ケ目後、横ナデ。	斜ハケ目。	斜板ナデ。	長石含 G。	底部完 存。	11-H				

第115表 第4層出土遺物観察表(9)

調査番号	口縁端部	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
		口縁部		杯部		脚部		脚端部							
		内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第249回 94	ナデ。	ナデ。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。	横ヘラミ ガキ。					長石, 石 英片含む。	口縁部 小片。	11-F			
95	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-H			
96	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	11-H			
97	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				費母細片 含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-H			
98		横ハケ目 後, 斜ヘ ラミガキ。	横ハケ目 後, 斜ヘ ラミガキ。	横ハケ目 後, 斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目。					長石, 石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	#			
99	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石, 石 英片含む。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
第250回 100	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G			
101	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	10-G			
102	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G			
103		摩耗。	摩ヘラミ ガキ。	摩耗。						長石, 石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	13-G			
104	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目, 横ヘラミ ガキ。		摩耗。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H			
105	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G			
106	摩耗。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。					長石, 石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-I			
107	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。				長石含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-H			
108	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G			
109	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石, 大 粒石英含 む。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	12-H			
110	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石, 石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H			
111	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					石英含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-I			
112		斜ヘラミ ガキ(座 面著し い。)	横ナデ。	斜ハケ目 後, 斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後, 斜ヘ ラミガキ。					石英含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	#			
113						斜, 横ナ デ。	斜, 横ナ デ。	横ナデ。	長石含む。	脚部 $\frac{1}{9}$ 存。	12-I				

第116表 第4層出土遺物観察表(II)

標題番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第250回 114					シボリ目。 横ナデ。 一箇所斜バ ケ目。	斜ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	調節部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-G				
115					斜、横ハ ケ目。	斜ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	調節部 $\frac{1}{10}$ 存。	#				
116					斜ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。	横ナデ。	長石少見。 石英含む。	調節部 $\frac{3}{5}$ 存。	15-I				
117					横ナデ。	縦ヘラミ ガキ、横 ナデ。	横ナデ。	長石含む。	調節部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-I				
118					横ナデ。	縦、斜ハ ケ目、横 ナデ。	横ナデ。	砂粒を含 まない。	調節部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G				
119			斜、横ヘ ラミガキ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。 斜ナデ。	斜ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。	砂粒を含 まない。	調節部 $\frac{3}{5}$ 存。	16-I				
120					シボリ目。 曲ハケ目。	斜ハケ目。	横ナデ。	石英含む。	調節部 $\frac{1}{7}$ 存。	15-H				
121					斜ハケ目。	縦、斜ハ ケ目。	横ナデ。	長石、石 英含む。	調節部 $\frac{1}{8}$ 存。	11-G				
122					摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石含む。	調節部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H				

第117表 第4層出土遺物観察表(1)

件番号	成形および調整の痕跡												遺存度	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		盃		内 面		外 面					
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第253回 179									1 回転ナデ ₁ 2 回転ナデ ₂ 3 回転ナデ ₃	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G					
180	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃									口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		
181	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃									全体の $\frac{1}{3}$ 存。	11-H		
182	1 2 3	仕上げナ デ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃	1	回転ヘラ 切り。									口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	#		
183	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃	1 2 3	回転ヘラ削 り後、ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃									全体の $\frac{1}{4}$ 存。	10-H		
184	1 2 3	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃	1 2 3	回転ヘラ 削り。 回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃									口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-G		
185			1 2	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂	1 2	回転ナデ ₁							小片。	11-H		
186			1 2	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂	1 2	回転ナデ ₁							口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-G		
187			1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-F		
188			1 2	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂	1 2	回転ナデ ₁							小片。	10-G		
189			1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-F		
190			1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	1 2 3 4	回転ナデ ₁ 回転ナデ ₂ 回転ナデ ₃ 回転ナデ ₄	回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{2}{5}$ 存。	#		

第118表 第4層出土遺物観察表(12)

標因番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 盤		杯 身		高 杯		壺							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第253回 191			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-G		
192			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-H		
193			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-G		
194			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
195			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り後、 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
196			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	12-H		
197			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G		
198			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 仕上げナ デ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り不均 向のナデ。							口縁部 $\frac{2}{5}$ 存。	12-H		
199			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。	1 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃		
200			1 回転ナデ。 2 ハケ目状 の痕跡。	1 回転ナデ。 2 ハケ目状 の痕跡。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-G		
201			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。	1 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
202			1 回転ナデ。 2 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-F		

第119表 第4層出土遺物観察表(13)

標図番号	成形および調整の痕跡										追存度	出土位置		
	杯蓋		杯身		高杯		盃							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第253図 203			1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	1 回転ナデ ^a 2 回転ヘラ 削り。 3 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G		
204			1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-F		
205			1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	11-G		
206			4 回転ナデ ^a 5	4 回転ヘラ 削り後, 横ナデ ^a 5 回転ナデ ^a							高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	#		
207			4 ナデ ^a 5	4 横ナデ ^a 5 横ナデ ^a							高台部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-H		
208			3 回転ナデ ^a 4	3 回転ヘラ 削り後, ナデ ^a 4 回転ナデ ^a							底部 $\frac{1}{2}$ 存。	10-H		
209			4 回転ナデ ^a 5	4 回転ヘラ 削り後, ナデ ^a 5 回転ナデ ^a							高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	16-I		
210			2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-H		
211					3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a 5 回転ナデ ^a	3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a 5 回転ナデ ^a						脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H	
212					3 厚耗 ^a 4 厚耗 ^a 5 厚耗 ^a	3 厚耗 ^a 4 厚耗 ^a 5 厚耗 ^a					杯、脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-I		
213					4 回転ナデ ^a 5 回転ナデ ^a	4 回転ヘラ 削り。 5 回転ナデ ^a						脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G	
214					4 回転ナデ ^a 5 回転ナデ ^a	4 回転ナデ ^a 5 回転ナデ ^a						脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	#	

第120表 第4層出土遺物観察表(14)

押抜番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 薩		杯 身		高 杯		茎							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第253回 215									4 回転ナデ ^a	4 回転ナデ ^a 後、波状文。	脚部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G		
216									5 回転ナデ ^a	5 回転ヘタ削り。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	10-H		
217									1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a 3 回転ナデ ^a 4 回転ナデ ^a	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	15-H		

第121表 第4層出土遺物観察表(15)

押抜番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 薩		杯 身		高 杯		茎							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第253回 218									1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a	1 回転ナデ ^a 2 回転ナデ ^a	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-F		
219									1 横ナデ ^a 2 横ナデ ^a (下から上に なであげてある。)	1 横ナデ ^a 2 横ナデ ^a	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H		

第122表 第4層包藏自然砾群伴出遺物観察表

発掘番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁端部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第258回 1	(立上部内面) 横ナデ。凹縁 横ナデ。指屈痕 残す。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	縦、横、ナ ダ。(斜自 然ナダ)、 縦ハナダ。						長石、 雲母少 量含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	11-G				
2						摩耗。	點付突起 上に刻印。			長石含 む。	焼帯 $\frac{1}{6}$ 存。	II				
3			横ナデ (指屈痕 残す)。	縦、斜ハ ナダ。	斜ハケ目 指ナダ(指屈 痕残す)。		縦、斜ハ ナダ。			長石、 長石英含 む。	頭部 $\frac{1}{5}$ 存。	II				
4	横ナデ。凹縁 残す。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削 り。指屈 痕残す。	縦ハケ目。 黒斑。				雲母細 片含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	II				
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ハケ目。				長石含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II				
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。 斜板ナデ。				雲母細 片含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II				
7		横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削 り。	横タタキ 目後、斜 ハケ目。			雲母細 片含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	II				
8							斜ハケ目 指ナ ダ。	縦タタキ 目後、斜 ハケ目。	砂粒を含 まない。	底部完 存。	II					
9								斜板ナデ。	縦、斜ハ ナダ。	雲母細 片含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	II				
10								斜ナデ。	斜ハケ目 後、斜ナ ダ。黒斑。	雲母細 片含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	II				
11								縦ヘラ削 り。	斜タタキ 目後、斜 ハケ目。 砂粒を含 まず。	砂粒を含 まず。	底部完 存。	II				
12								ヘラ削り。 摩耗。	斜ハケ目。 斜ナデ。黒斑。	長石含 む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	II				
13					指屈痕 残す。	縦、斜ハ ナダ。	指屈痕残 す。	斜ハケ目。 黒斑。	長石大 粒含む。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	II					
14		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。 斜ナデ。黒斑。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ナデ。 黒斑。	砂粒を含 まない。	完存。	II					
15	横ナデ。	横ナデ。	右上リタ タキ目。			横ナデ。	右上リタ タキ目。	横ナデ。	右上リタ タキ目。黒斑。	長石含 む。	完存。	II				
16	横ナデ。凹縁 1条隕す。	横ナデ。	右上リタ タキ目。			縦、斜ハ ナダ。	右上リタ タキ目。			砂粒を含 まない。	$\frac{1}{5}$ 存。	II				

第123表 第3層出土遺物観察表(1)

標図番号	成形および調整の痕跡										胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第261回 1	刺目施す。	横ハケ目。 縦ハケ目。 後、横ナ ダ。									砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-II-I			
2	ヘラ彫文施す。	横ナダ。	横ナダ。	斜ハケ目 後、横ナ ダ。	横ハケ目。						砂粒を 含まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	10-G			
3	横ナダ後、凹 線1条施す。	横ナダ。	横ナダ。	斜ハケ目。	横ナダ。						石英、 雲母含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
4	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。								長石、 雲母片含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
5	凹線2条施す。	横ナダ。	縦、斜ハ ケ目後、横ナ ダ。								砂粒を 含ます 精細。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
6	(立上部内側) 横ナダ (立上部外側) 横ナダ。	横ナダ。	斜ハケ目 後、横ナ ダ。	摩耗。	横ハケ目。						長石、 雲母片含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-G			
7	横ナダ。	横ナダ。 崩延。	横ナダ。								雲母多 量含む。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-G			
8	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。								長石含 U。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	12-H			
9	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ。	斜ハケ目 後、横ナ ダ。縦、 横ナ ダ。				長石、 雲母片含 U。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H			
10								斜ナダ。			長石含 U。	底部完 存。	〃			
11								摩耗。			長石多 量、石 英含む。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
12								斜ナダ。			石英、 雲母多 量含む。	底部完 存。	〃			
13							斜ヘラ形引 石、斜ハ ケ目後、 横ナダ。	横ナ ダ。	斜ハ ケ目後、 横ナ ダ。	斜ハ ケ目後、 横ナ ダ。	長石、 石英含 U。	底部完 存。	〃			
16	横ナダ後、 沈線1条 施す。	縦、斜ハ ケ目後、 横ナダ。									長石、 石英含 U。	小片。	10-H			
17	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ。	斜ハ ケ目 崩延。	斜ナ ダ。	斜ハ ケ目 崩延。	斜ナ ダ。	斜ナ ダ。	雲母含 U。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	10-G			
18		横ナダ。	横ナダ。			斜ナ ダ。	斜ハ ケ目 崩延。	斜ナ ダ。	斜ナ ダ。	斜ナ ダ。	長石、 雲母含 U。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
19						横ナ ダ。	横ナ ダ。	横ナ ダ。	横ナ ダ。	斜ヘラミ ガキ。	長石少 量含む。	底部完 存。	10-F			

第124表 第3層出土遺物観察表(2)

標図番号	成形および調整の痕跡								胎土	遺存度	出土位置			
	口縁部		杯部		胴部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第261回 14	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	10-F			
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石、石 英含む。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-H			

第125表 第3層出土遺物観察表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡												追存度	出土位置		
	杯 直		杯 身		高 杯		壺									
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第262回 23									2 4 青海波文 残す。	2 4 回転ナデ。 格子状タ タキ目タ 回転ナデ。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。 ほぼ完 存。	12-I				
24	2 仕上げナ デ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。									端面 $\frac{1}{12}$ 存。	9-H				
25	1	1 回転ヘラ 削り後、 回転ナデ。									頂部小片 (つまみ 付)。	10-F				
26	1 回転ナデ。	1 回転ヘラ 削り後、 回転ナデ。									頂部 $\frac{1}{4}$ 存 (つまみ 付)。	9-H				
27	1 回転ナデ。	1 回転ヘラ 削り後、 回転ナデ。									頂部小片 (つまみ 付)。	11-H				
28	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ヘラ 削り。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。									ほぼ完存。	10-11-I				
29	3 横ナデ。 4 横ナデ。	3 横ナデ。 4									端面 $\frac{1}{6}$ 存。	11-H				
30			1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ヘラ 削り						口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	12-G				
31			1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ヘラ 削り後、 回転ナデ。						口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	11-H				
32			1 2 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 回転ナデ。 回転ナデ。	回転ナデ。						口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	12-G				
33			1 2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 仕上げナ デ。	1 2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 仕上げナ デ。	1 2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-F				
34			1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	回転ナデ。 回転ナデ。						口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	II				

第126表 第3層出土遺物観察表(4)

辨認番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		盃							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第262図 35			1 2 回転ナデ。	1 2 回転ナデ。	1 2 回転ナデ。						口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	13-G		
36			1 2 3 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 回転ナデ。 回転ヘラ 削り後。 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-G		
37			1 2 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	II		
38			1 2 3 横ナデ。 横ナデ。	1 2 3 横ナデ。 横ナデ。							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H		
39			2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ 削り。	2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	10-I		
40			2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ 削り。	2 3 4 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ヘラ 削り。						口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	10-F		
41			4 5 回転ナデ。 後、仕上 げナデ。 回転ナデ。	4 5 回転ヘラ 削り。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H		
42			4 5 回転ナデ。 回転ナデ。	4 5 回転ナデ。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H		
43			4 5 回転ナデ。 回転ナデ。	4 5 回転ナデ。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-H		
44			4 5 摩耗。 回転ナデ。	4 5 回転ナデ。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{5}$ 存。	II		
45			4 5 回転ナデ。 後、仕上 げナデ。	4 5 回転ヘラ 削り後。 ナデ。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-G		
46			4 5 摩耗。 摩耗。	4 5 摩耗。 摩耗。							底、高台 部 $\frac{1}{4}$ 存。	12-H		

第127表 第3層出土遺物観察表(5)

件名番号	成形および調整の痕跡										遺存度	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		盃							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第262回 47			4 5	回転ナデ。 回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。					高台部 $\frac{1}{7}$ 存。	11-H		
48			3 4 5	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	3 4 5	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。					高台部 $\frac{1}{4}$ 存。	g		
49									1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	
50									1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	
51									1 2 3	横ナデ。 横ナデ。	1 2 3	横ナデ。 横ナデ。 横ナデ。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	
52									2	横ナデ。	2	横ナデ。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	
53									1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	
54									1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	
55									1 2	回転ナデ。 青海波文 残す。	1 2	回転ナデ。 格子状タ クキ目後。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	
第263回 56									1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
57									3 4	回転ナデ。 回転ナデ。	3 4	回転ナデ。 タクキ目後。	頬前 $\frac{1}{4}$ 存。	
58									2 3	横ナデ。 横ナデ。 青海波文 残す。	2 3	横ナデ。 格子状タ クキ目後。 横ナデ。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	

第128表 第3層出土遺物観察表(6)

標記番号	成形および調整の痕跡												遺存度	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		壺									
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面								
第263回 59									2 横ナデ。	2 横ナデ。		口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	11-F			
60					2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 仕上げナデ。 4 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。						脚部完存。	H			
61					2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 削り後。 5 回転ナデ。						口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	11-H			
62					3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。						脚部完存。	12-H			
63							1 横ナデ。 2 削ハケ目。 3 削ハケ目。	1 横ナデ。 2 削ハケ目。 3 削ハケ目。	1 横ナデ。 2 回転ナデ。 3 削ハケ目。 4 削ハケ目。		口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		H			
64							4 回転ナデ。 5 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。	4 回転ヘラ削り後。 5 回転ナデ。		底部完存。	10-11-I				
65								4 横ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ヘラ削り後。 横ナデ。		脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	11-H				
66								4 回転ヘラ削り後。 5 回転ヘラ削り。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。		底部 $\frac{1}{4}$ 存。	H				
67								1 回転ナデ。 2 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。		口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	11-F				

第129表 石器一覧表

挿図番号	遺物名称	位置	出土遺構・層序名	特記事項	材質
第89図1	砥石	15, 16-H	S B01	2面に使用痕が残る。	砂岩
〃2	〃	〃	〃	3面に使用痕が残る。	安山岩
第141図	〃	11-H	S T16	2面に使用痕が残る。	頁岩
第146図	〃	〃	S T17	3面に使用痕が残る。	安山岩
第158図	〃	10-G	S T18	2面に使用痕が残る。	頁岩
第159図3	打製石包丁	〃	〃	抉入り。刃部の摩耗が著しい。	サヌカイト
〃2	不明	〃	〃	穿孔のある自然石。	砂岩
第160図4	削器	〃	S T18 第1号主体部	刃部は鈍い両面加工。	頁岩
〃6	打製石包丁	〃	〃		結晶片岩
〃5	削器	〃	〃	調整のある剝片。	サヌカイト
第265図1	砥石	12-G	III層	2面に使用痕が残る。	安山岩
〃2	打製石包丁	10-G	〃	抉入り。	サヌカイト
第255図1	砥石	〃	IV層	2面に使用痕が残る。	頁岩
〃2	〃	11-G	〃	2面に使用痕が残る。	安山岩
〃3	磨製石斧	10-G	〃	始刃磨製石斧。刃部欠損。	安山岩
第256図4	〃	13-G	〃	柱状磨製石斧。基部に敲打痕残る。	緑色片岩
〃5	磨石	12-H	〃	側縁部の一部に敲打痕残る。	砂岩
〃6	削器	15-I	〃		サヌカイト
〃7	打製石包丁	12-F	〃	外湾刃タイプ。	サヌカイト
第241図1	〃	10-G	V層		サヌカイト
〃2	不明	12-G	〃	穿孔のある自然石。	砂岩

第130表 鉄製品一覧表

挿図番号	遺物名称	位 置	出土遺構・層序名	特 記 事 項	遺 存 状 態	
第91図1	刀 子	15 - H	S B 02		先端部のみ存。	
	〃 2	〃	16 - H	S B 03	刃部の一部が存。	
	〃 3	ヤリガンナ	10,11-G	S B 05	茎部に比して刃部幅の拡がらない形態。	
第118図1	〃	11 - I	S T 11	茎部に比して刃部幅がやや拡がる形態。	刃部のみ存。	
	〃 2	打 グ ワ	11 - H	S T 12	長方形の鉄板の両側縁部を折り返す形態。	ほぼ完存。
	〃 4	刀 子	12 - I	S T 15		先端部のみ存。
	〃 3	鍼	〃	〃		鐵身部完存。
	〃 5	ヤリガンナ	11 - H	S T 16	刃部は反を有する。	基部を欠くがほぼ完存。
	〃 6	鍼	10 - G	S T 18	鍼身部は柳葉形の形態。	先端部を欠く。
	〃 7	不 明	〃	〃		器形復元不可能。
第211図	鍼	12 - G	S X 06	鍼身部はかえしを有する形態。	鐵身部完存。	
第243図1	不 明	12 - F	III 層	釘状の形態であり、先端部が屈曲する。	基部を欠く。	
	〃 2	鍼	11 - H	IV 層	銅鐵の模造品と考えられる。	鐵身部完存。
	〃 3	不 明	〃	〃	両端部が肥厚する棒状製品。	ほぼ完存。
	〃 4	ヤリガンナ	11 - I	〃	茎部に比して刃部幅がやや拡がる形態。	先端部と茎部を欠く。
	〃 5	〃	10 - G	〃		刃部のみ存。
	〃 6	不 明	10 - H	〃	先端部の尖る棒状製品。	基部を欠く。
	〃 7	〃	15 - H	〃	板状製品。	器形復元不可能。
〃 9	〃	11 - F	〃	基部が屈曲する形態。	〃	
〃 8	鍼	11 - G	〃		基部のみ存。	
〃 10	〃	11 - F	〃	鍼身部は柳葉形の形態が考えられる。	先端部と茎部を欠く。	
〃 11	不 明	10 - F	V 層	刃部は刀子状の形態を呈する。	ほぼ完存。	
〃 12	刀 子	10 - H	〃	背部に屈曲を有することから鉄鍊の可能性あり。	刃部の一部が存。	
〃 13	不 明	11 - G	〃	刃部は柳葉形の形態。	先端部を欠く。	
〃 14	鍼	12 - I	不 明		刃部の一部が存。	



版

A地区

B地区

CHIPS



(1) N R 8301全景（東から）



(2) N R 8301全景（南から）

図版2



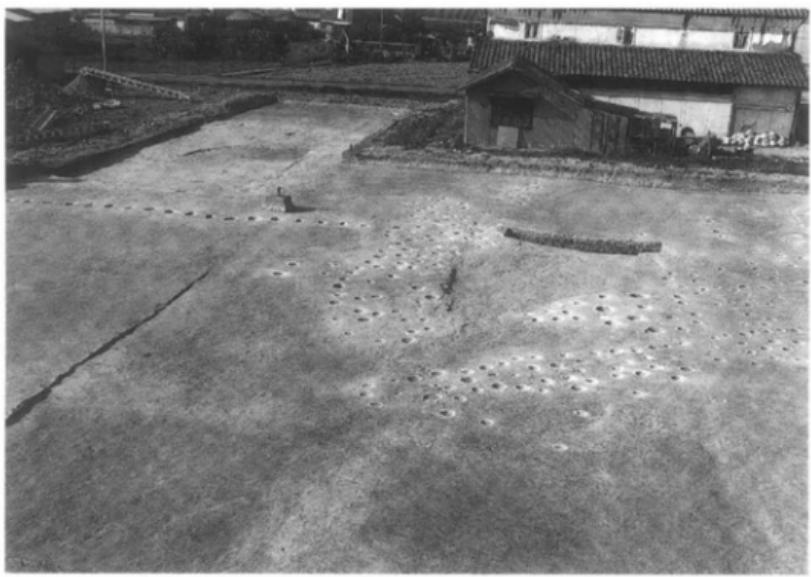
(1) N R 8304全景（西から）



(2) N R 8301遺物出土状況

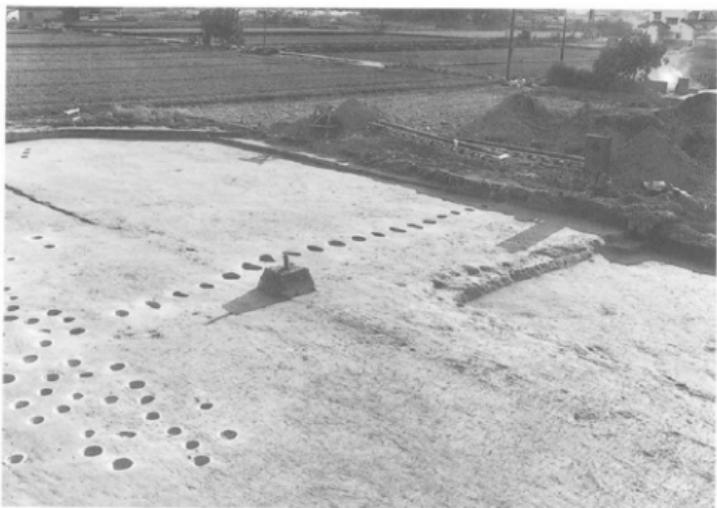


(1) N R 8301遺物出土状況

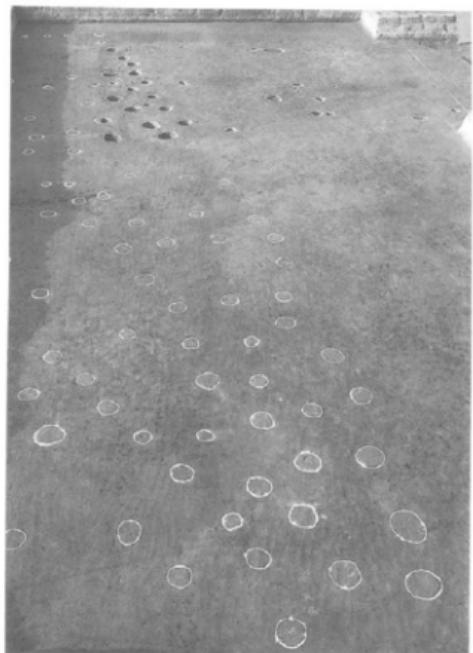


(2) ピット群全景（南から）

図版4



(1)ピット群近景（東から）

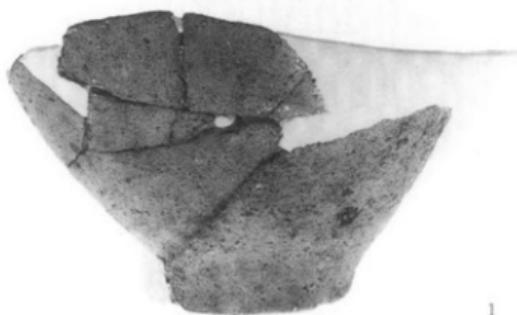


(2)ピット群近景（南から）

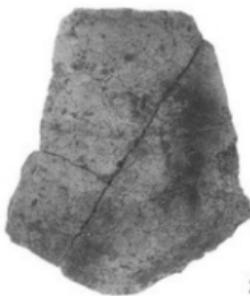


N R 8419 • N R 8420 • N R 8421全景（南から）

図版 6



1

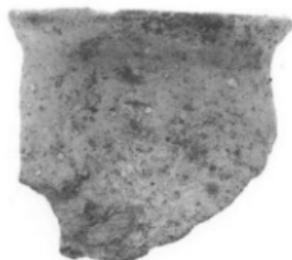


2

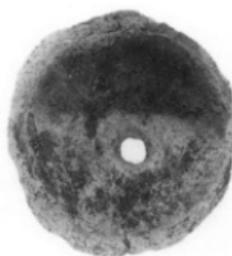


3

A 地区出土土器(1)



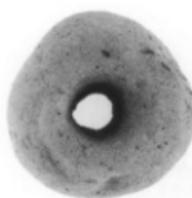
4



13



10

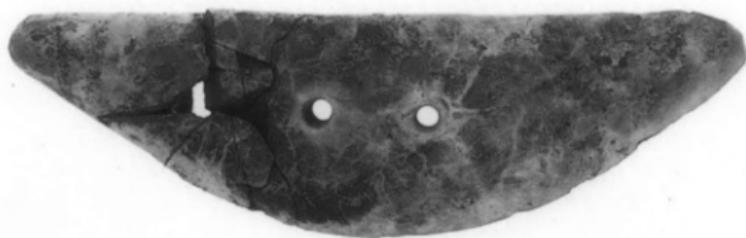


20



21

A 地区出土土器(2)



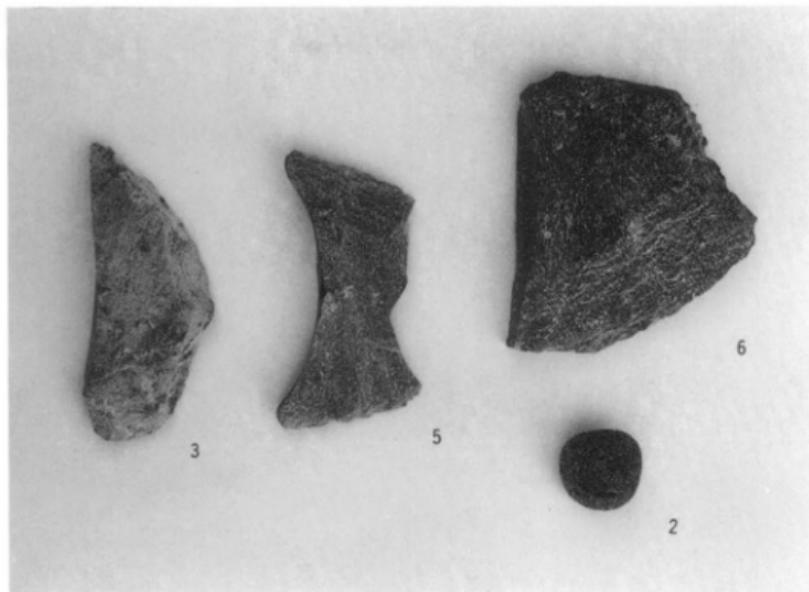
1

(1) A 地区出土石器(1)

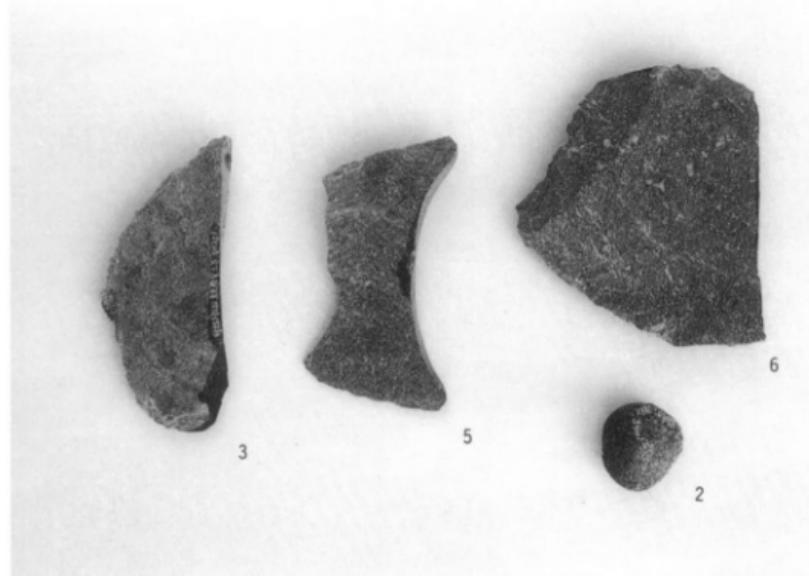


1

(2) A 地区出土石器(2)



(1) A 地区出土石器(3)

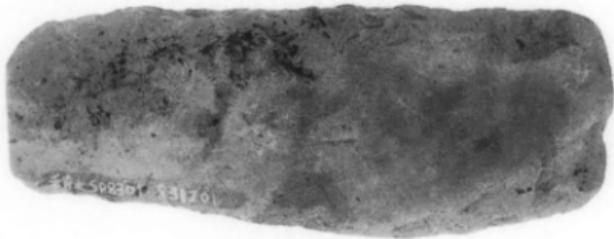


(2) A 地区出土石器(4)



4

(1) A 地区出土石器(5)

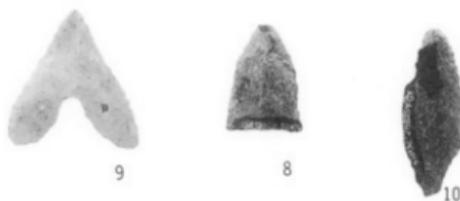


4

(2) A 地区出土石器(6)

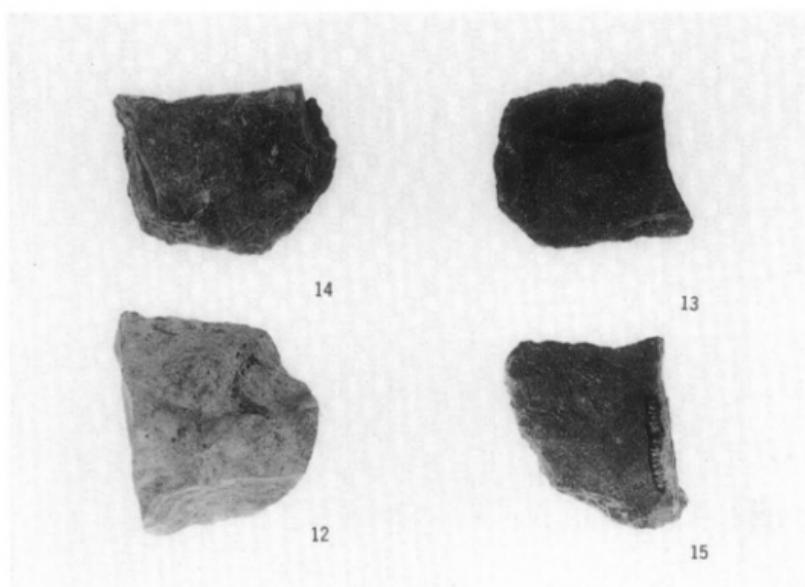


(1) A 地区出土石器(7)

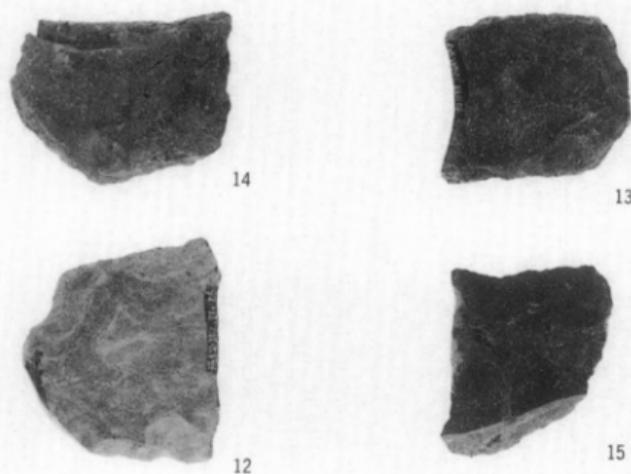


(2) A 地区出土石器(8)

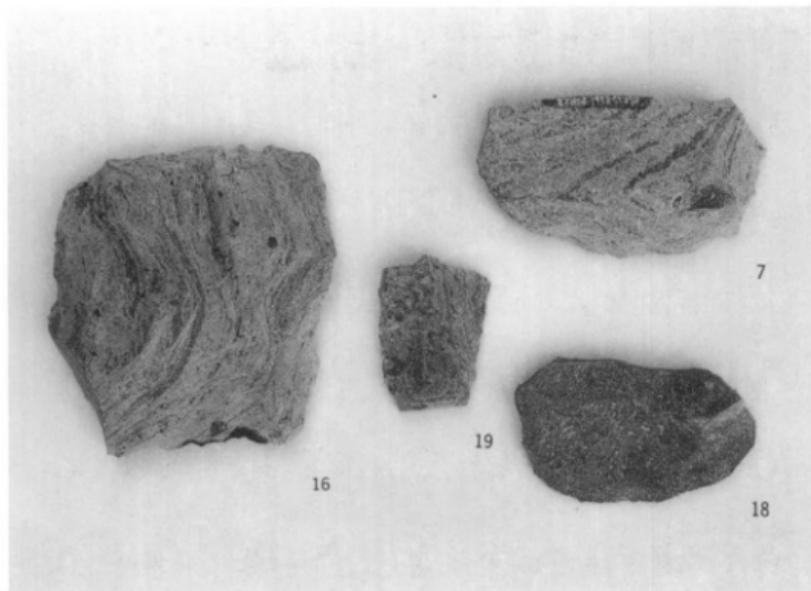
图版12



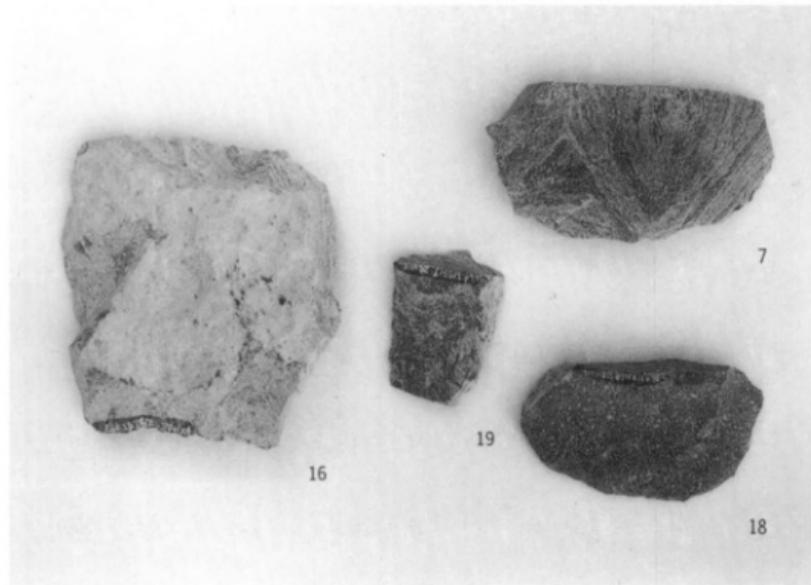
(1) A 地区出土石器(9)



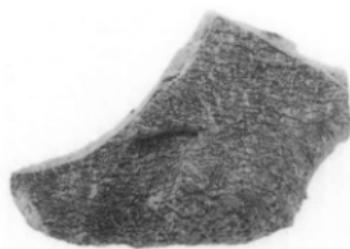
(2) A 地区出土石器(10)



(1) A 地区出土石器(1)



(2) A 地区出土石器(2)



20

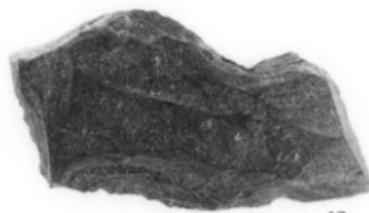


17

(1) A 地区出土石器⑬



20



17

(2) A 地区出土石器⑭



21

(1) A 地区出土石器⑯



21

(2) A 地区出土石器⑯

図版16



B₃地区全景写真



(1) B₃地区遠景写真（西から）

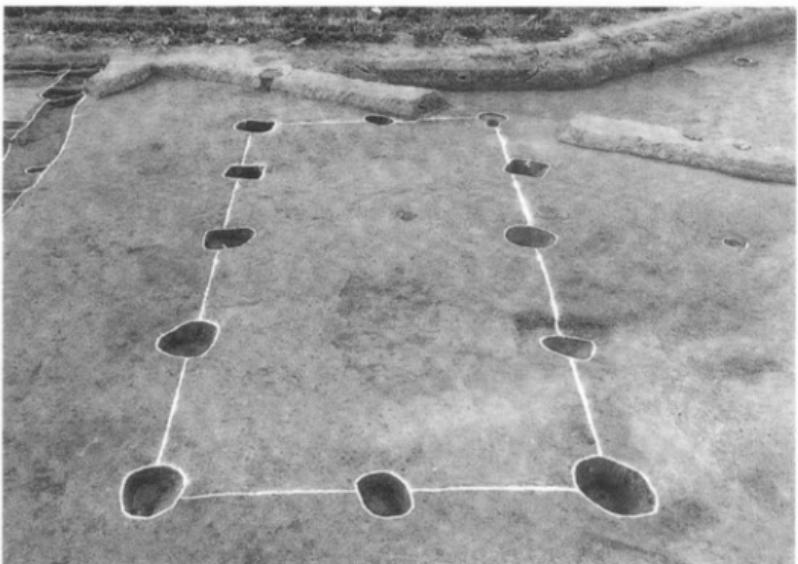


(2) B₃地区遠景写真（北から）

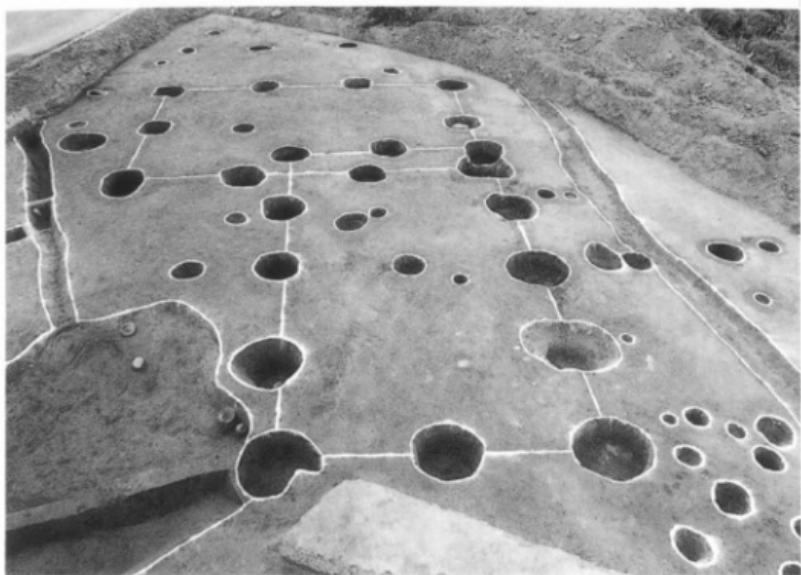
図版18



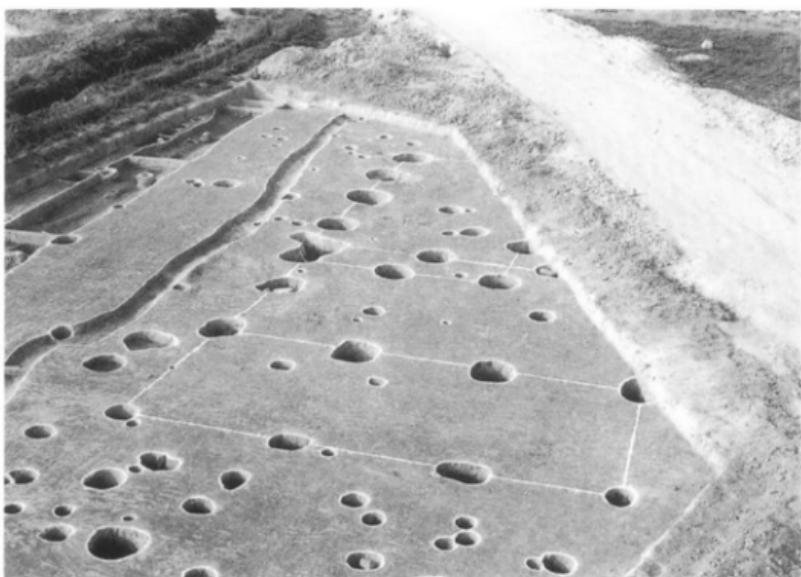
(1) SB 01全景（北から）



(2) SB 01近景（東から）

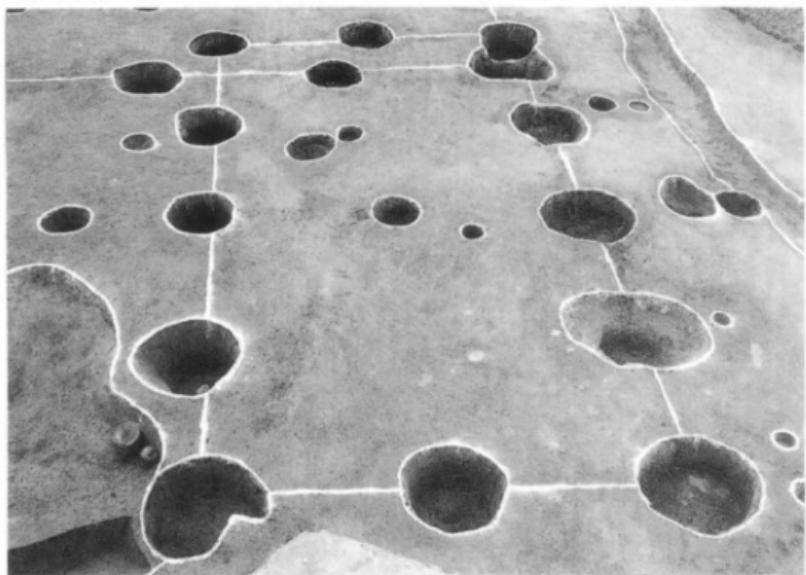


(1) S B 02・03全景（北から）

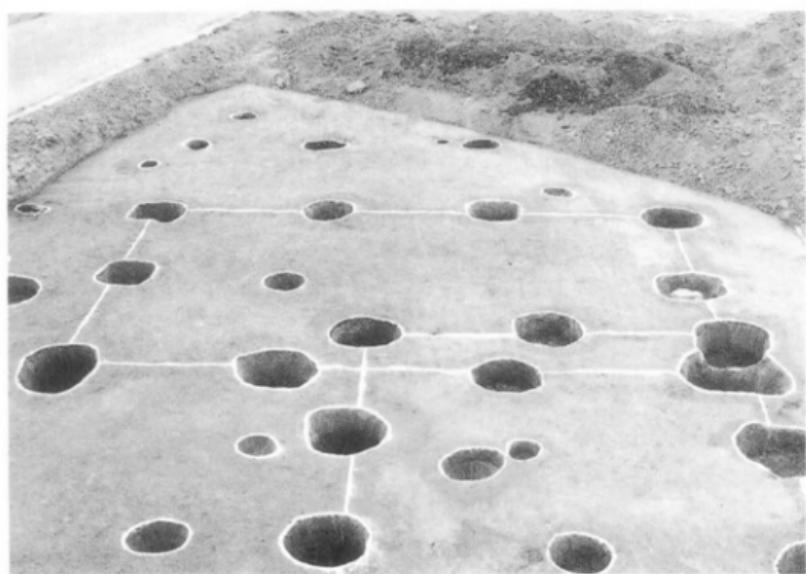


(2) S B 02・03全景（南から）

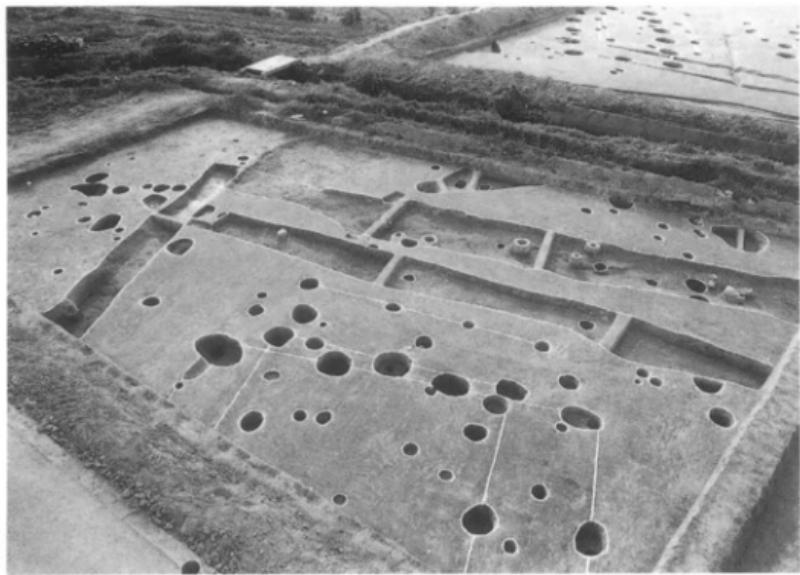
図版20



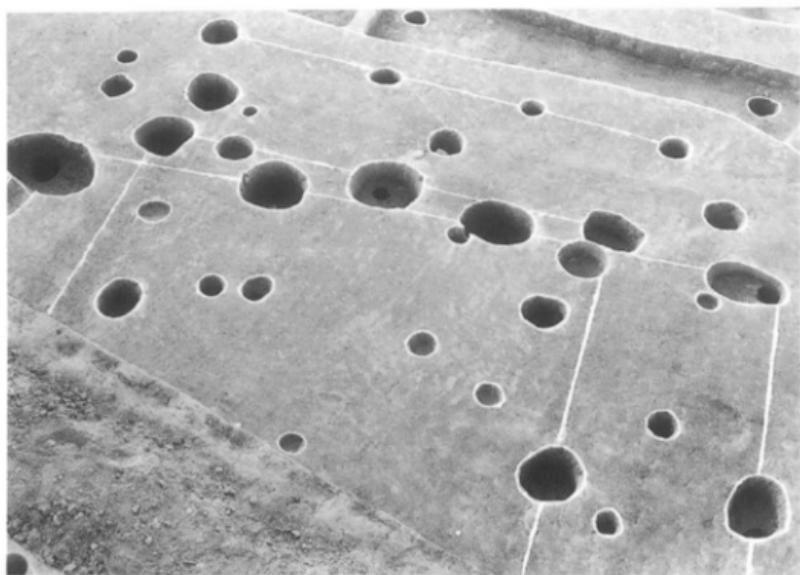
(1) SB 02全景 (北から)



(2) SB 03全景 (北から)

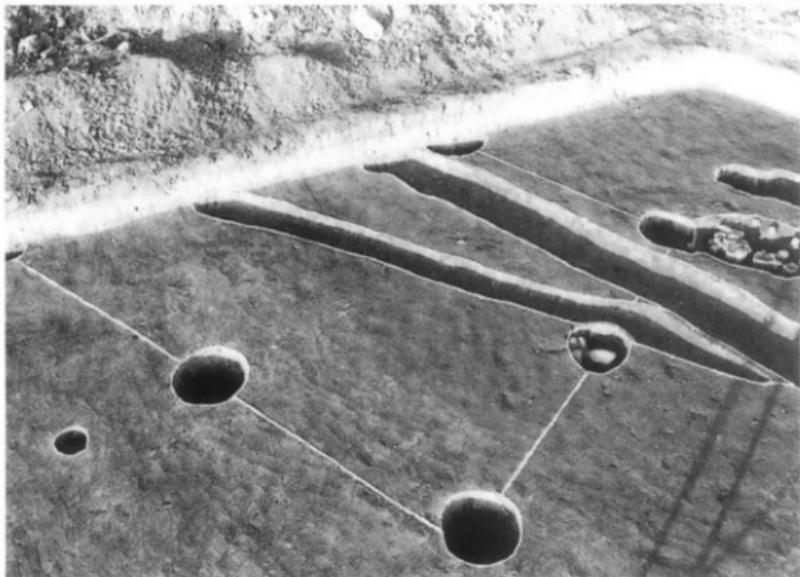


(1) S B 04・05全景（東から）

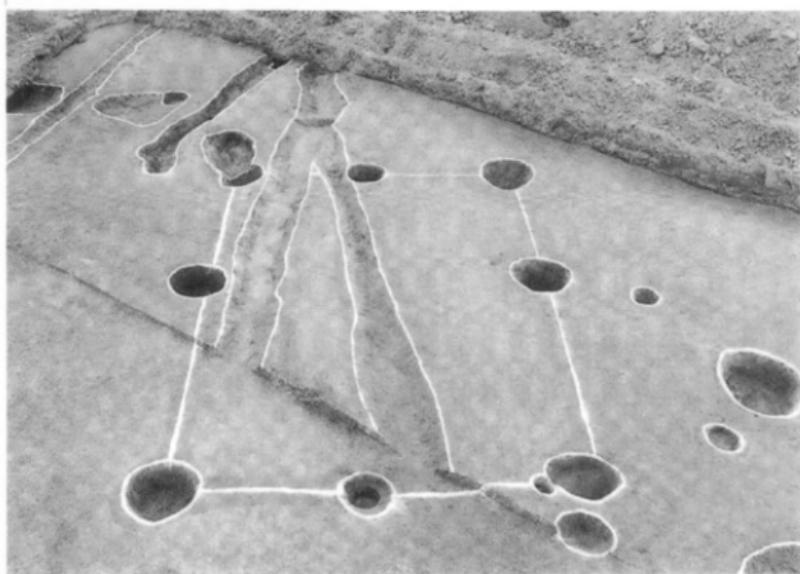


(2) S B 04・05近景（東から）

図版22



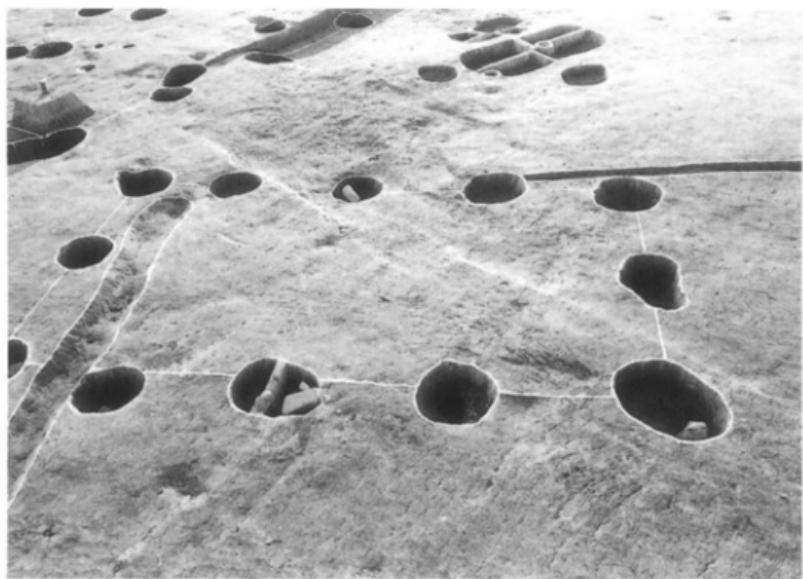
(1) S B 06近景（南から）



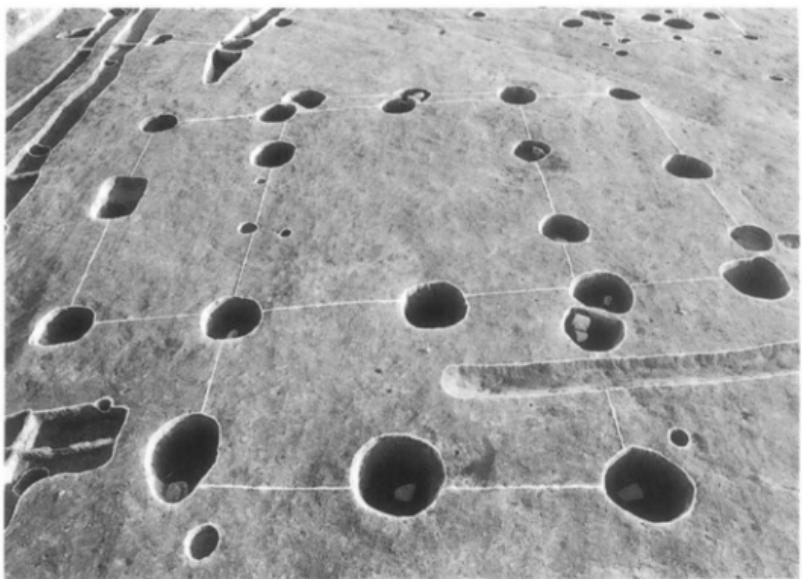
(2) S B 06全景（北から）



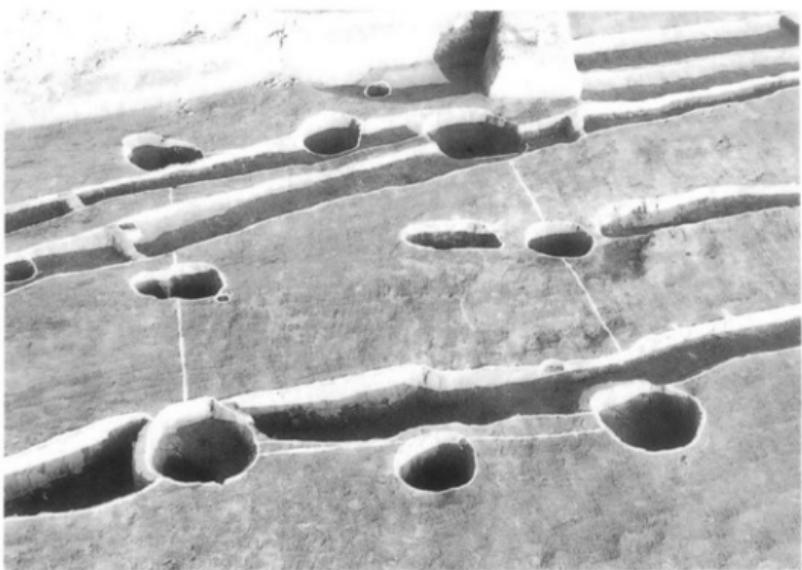
(1) S B 07全景（東から）



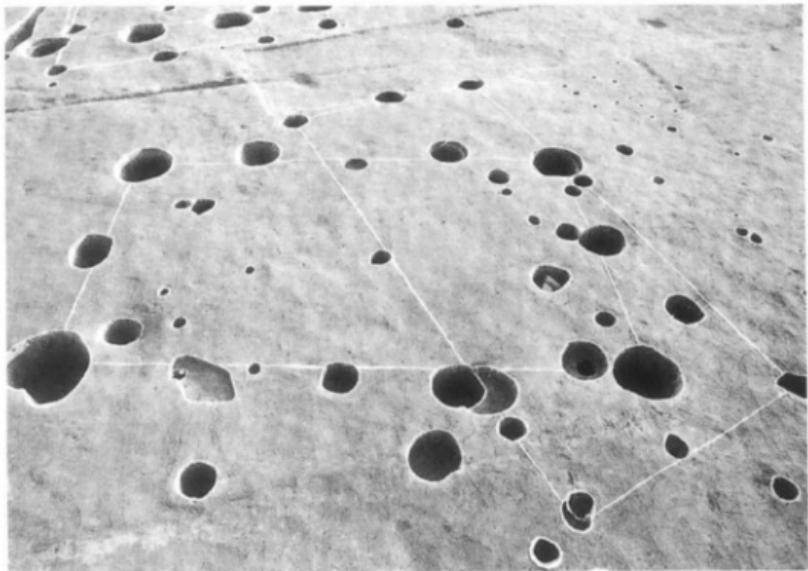
(2) S B 07近景（東から）



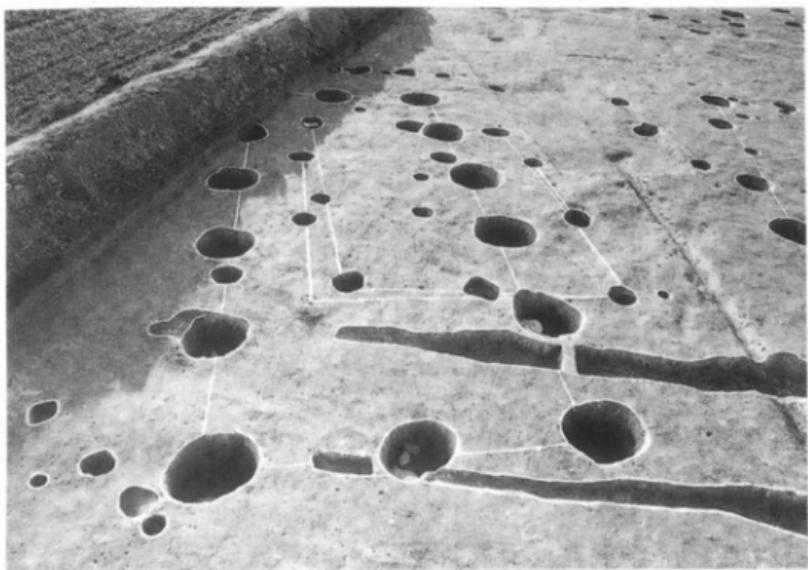
(1) S B 08・09全景（北から）



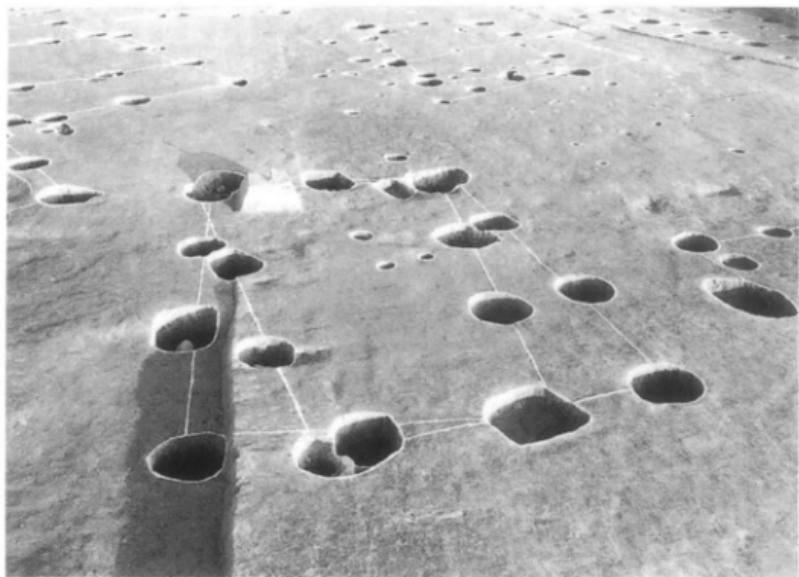
(2) S B 10全景（西から）



(1) S B 11・12全景（北から）



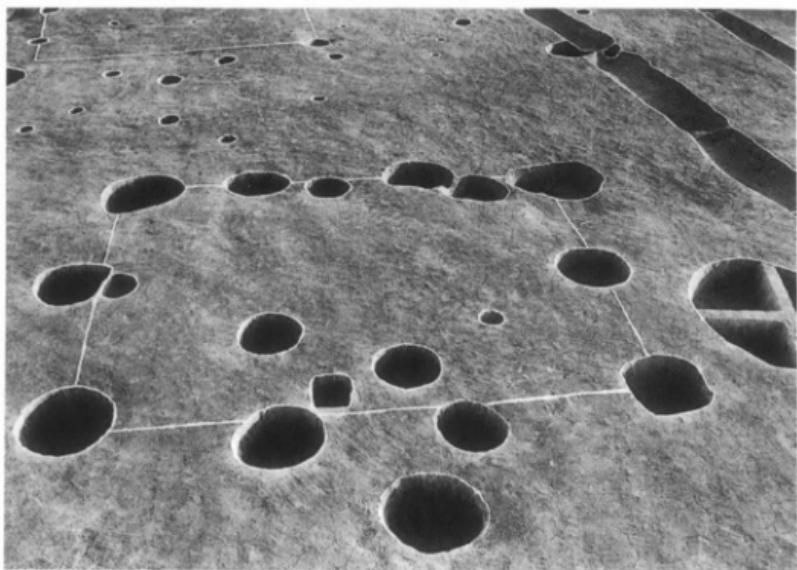
(2) S B 13・14・15全景（東から）



(1) S B 16・17全景（西から）



(2) S B 18全景（北から）



(1) S B 21全景 (北から)

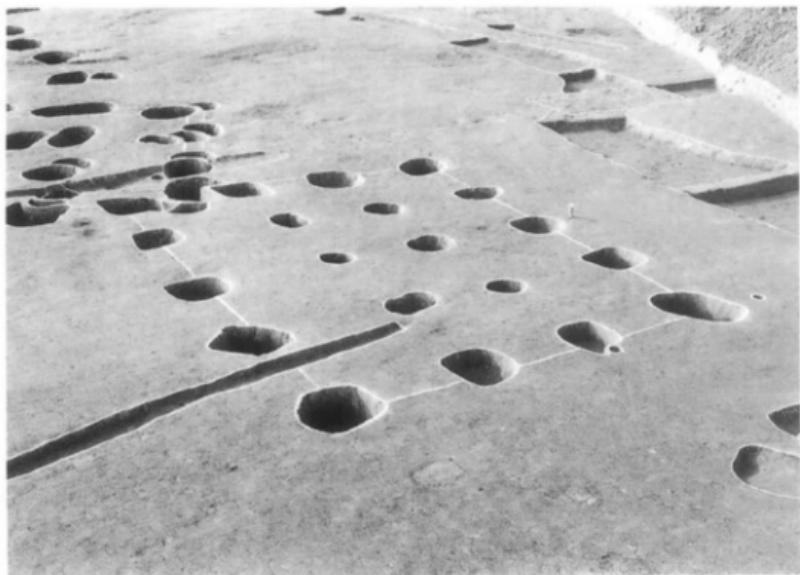


(2) S B 22~25全景 (東から)

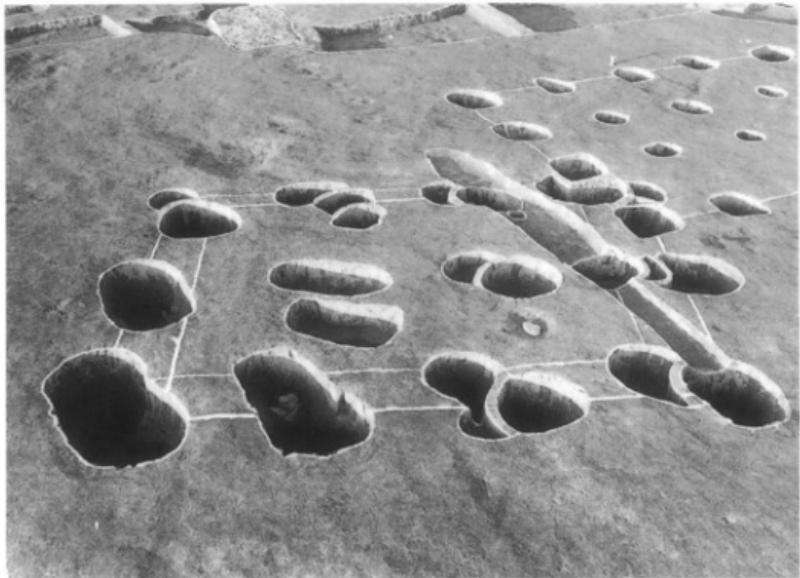
図版28



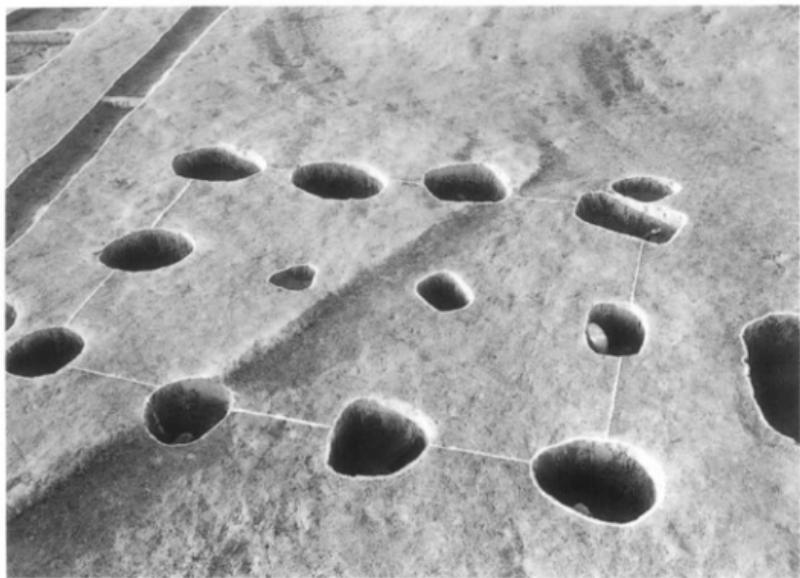
(1) S B 22全景（南から）



(2) S B 22全景（東から）

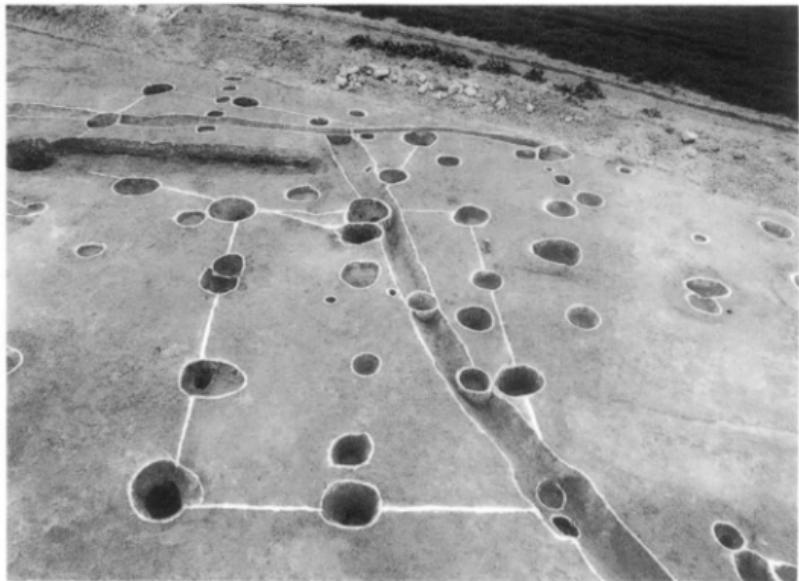


(1) S B 23・24全景（南から）

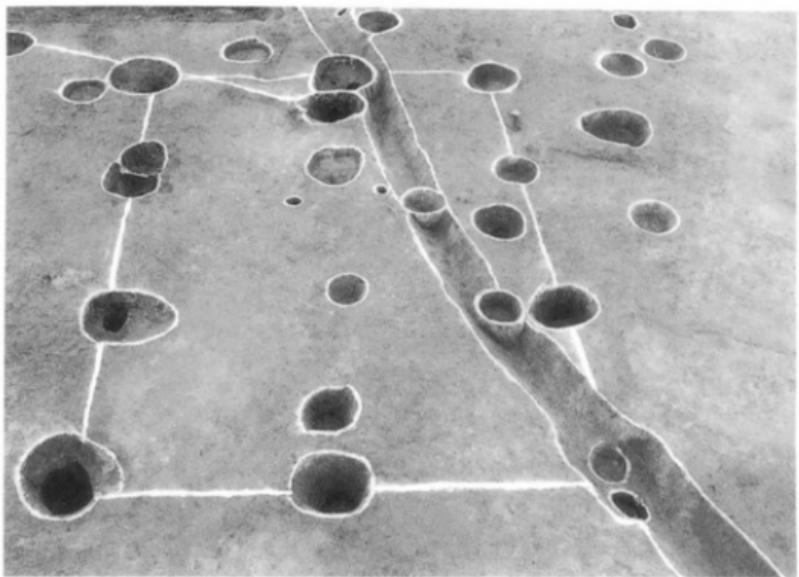


(2) S B 25全景（南から）

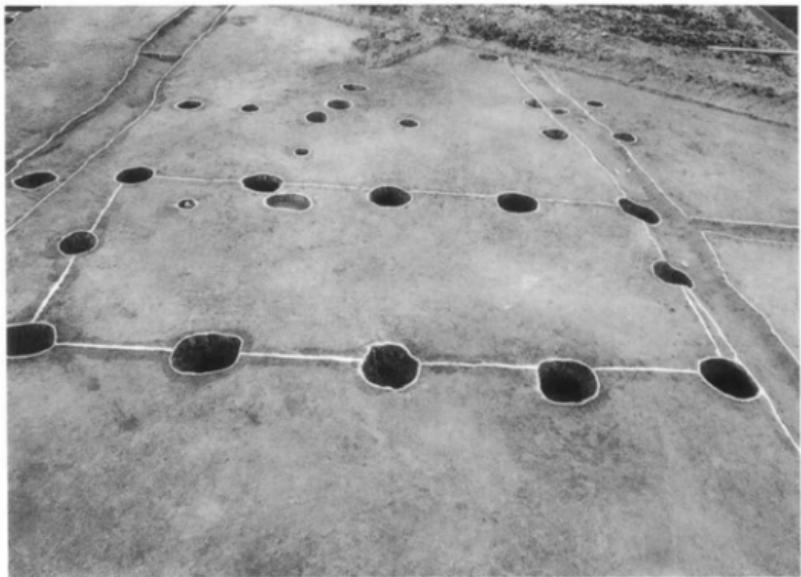
図版30



(1) S B 26・27全景（南から）



(2) S B 27近景（南から）



(1) S B 28・29全景（南から）



(2) S B 31・32・33全景（南東から）

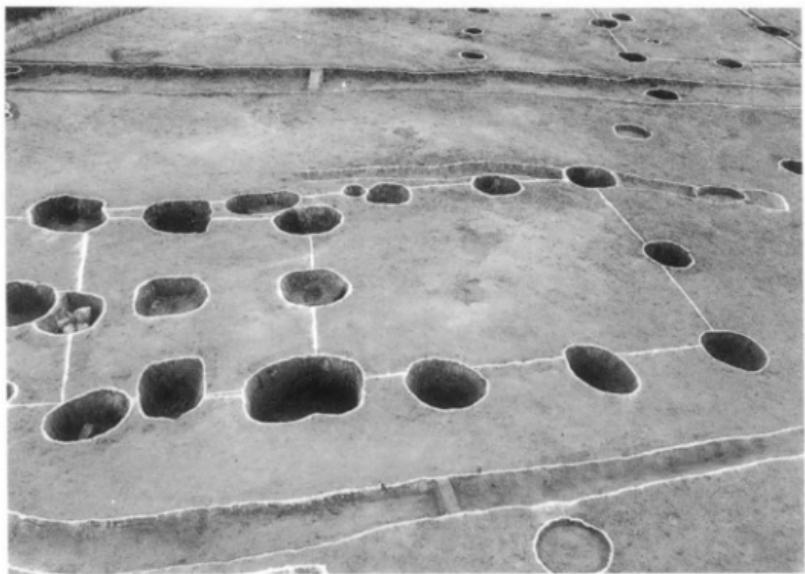
図版32



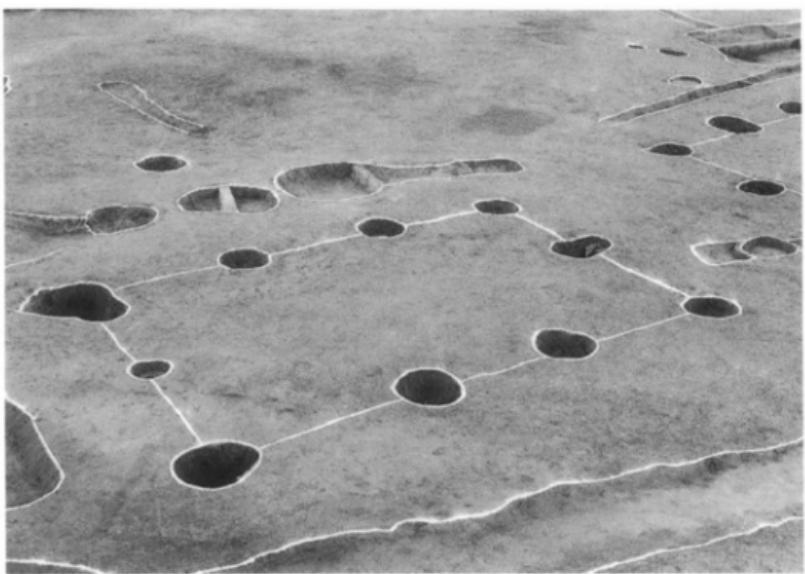
(1) S B 30・31・32全景 (西から)



(2) S B 31近景 (西から)



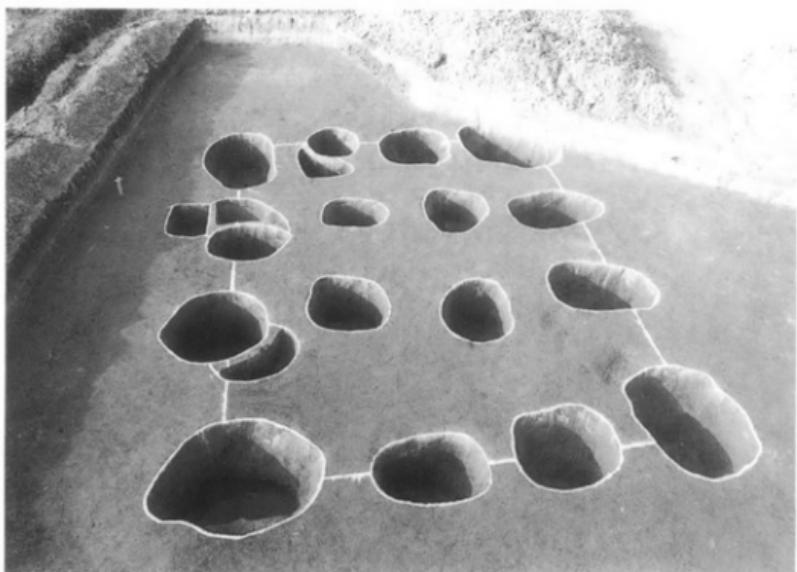
(1) S B 32近景（西から）



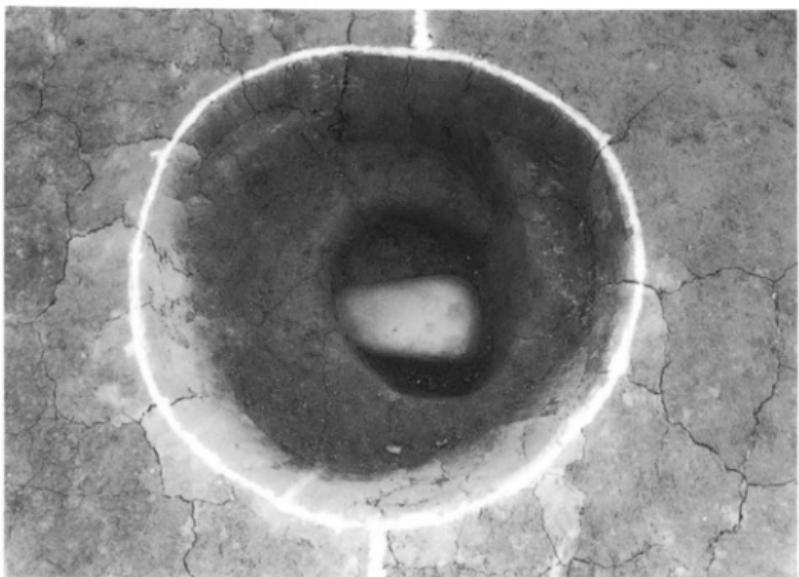
(2) S B 33近景（東から）



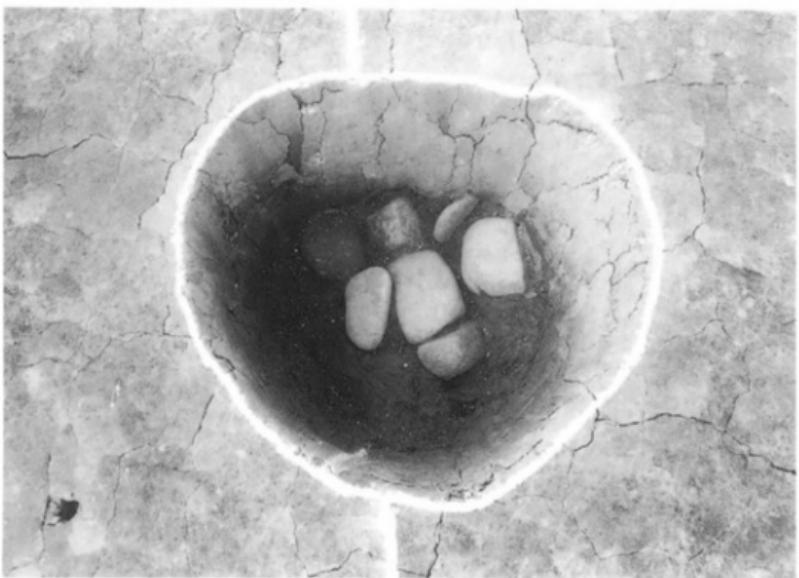
(1) S B 34全景（北から）



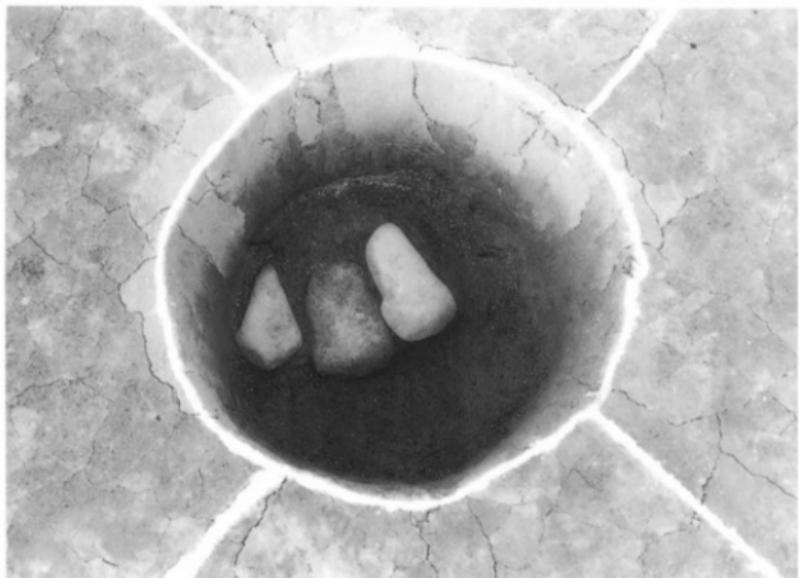
(2) S B 34全景（南から）



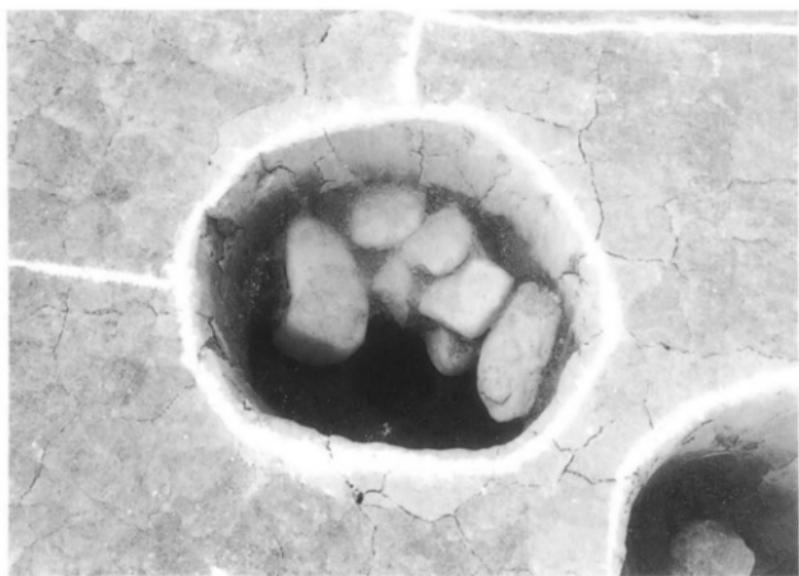
(1) S B 13柱穴根石



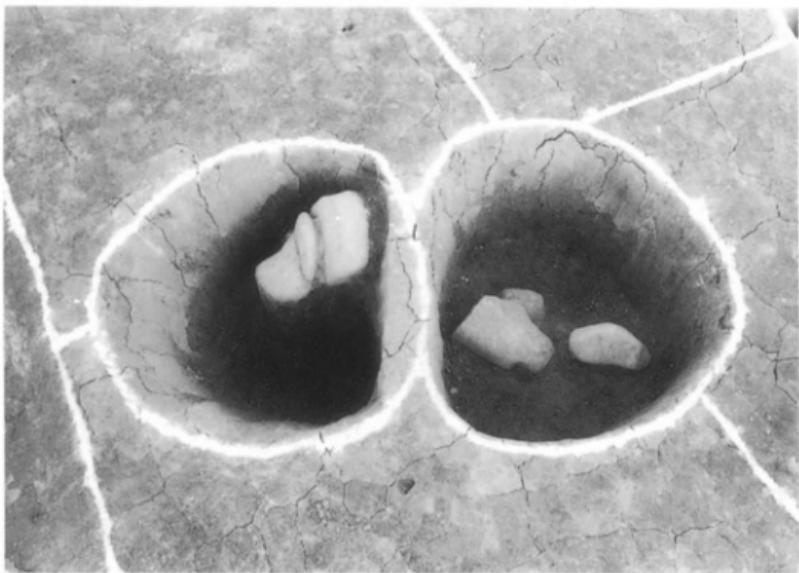
(2) S B 09柱穴根石



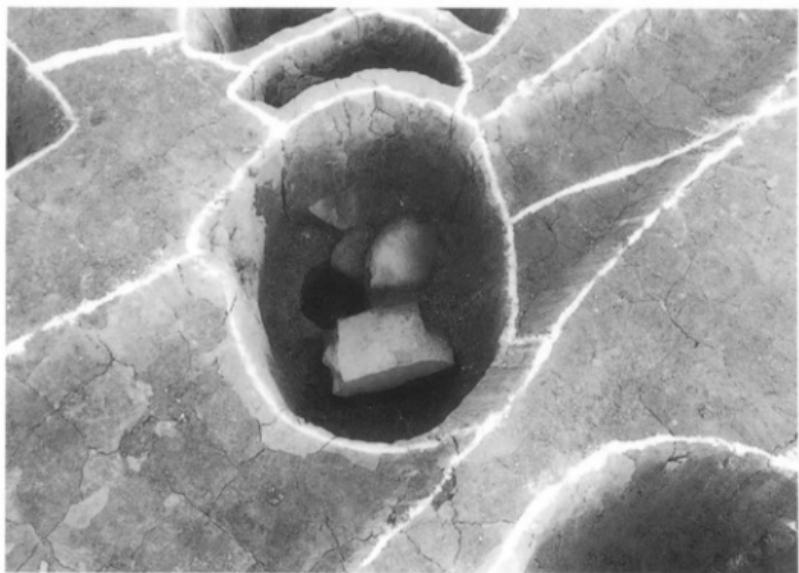
(1) S B 08柱穴根石



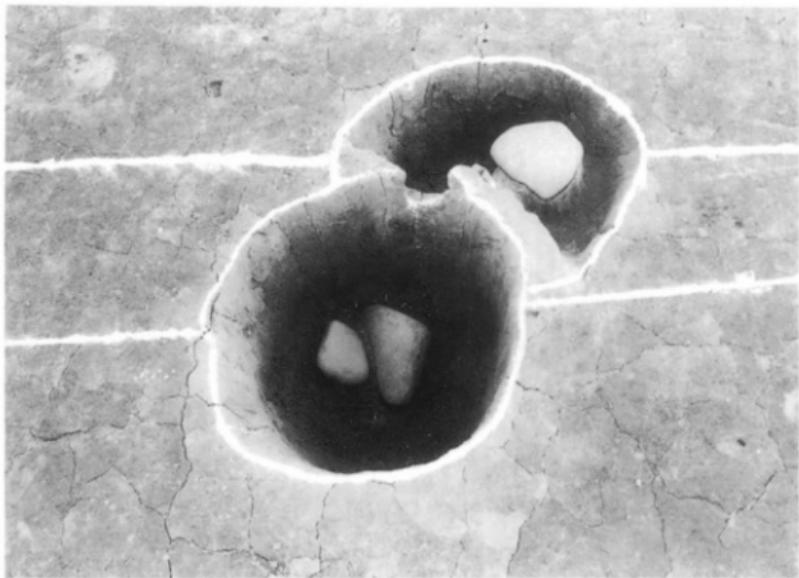
(2) S B 07柱穴詰石（南から）



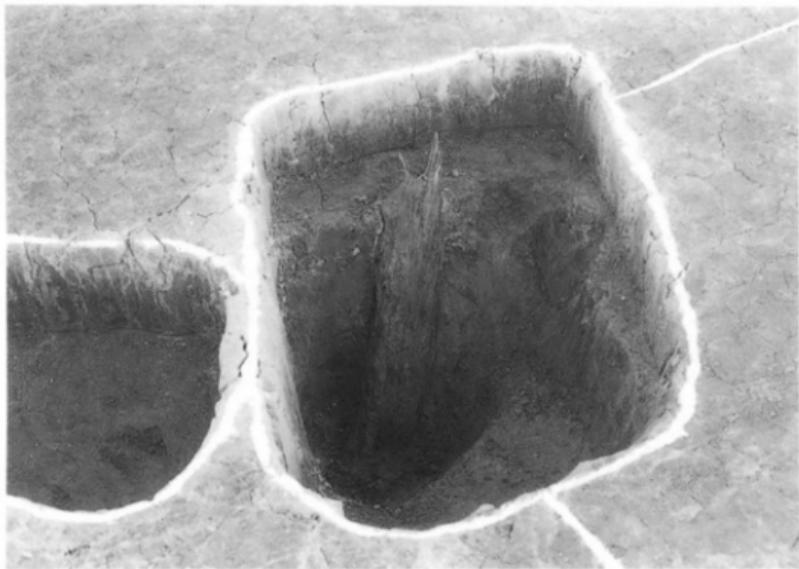
(1) S B 08・09柱穴詰石（西から）



(2) S B 24柱穴詰石（西から）



(1) S B 08・09柱穴詰石（北から）



(2) S B 25柱痕検出状況（西から）



(1) SK 01 (北から)



(2) SK 26 (西から)